

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価																																										
						説明																																															
第1 中期目標の期間 平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間とする。	第1 中期計画の期間 平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間とする。	-		-	-																																																
第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項 県立病院機構は、定款で定める業務について、質の向上に取り組む、多様化する県民の医療ニーズへの対応に努めること。また、その成果を県民や他の医療機関と共有できるよう、県民視点での情報発信に努めるほか、患者や家族の立場に立ち、その満足度が高められるよう、創意工夫に取り組むこと。	第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 県立病院では、県民の医療需要に的確に対応し、安全で質の高い医療の提供を図る。このためには、医療の品質管理が必要である。この医療の質を向上させるため、定量的目標を定め、適切な医療の提供を行い、県立病院にふさわしい優秀な人材の確保と育成、医療に関する調査及び研究、地域への支援、県民の安心、安全を守るための災害等における医療救護体制の整備に努める。	第1 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																																																			
1 医療の提供 医療機関として求められる基本的な診療理念や県立病院が担う医療を明確にし、他の医療機関との機能分担や連携のもと、医療の質の向上に努め、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。	1 医療の提供 県立病院機構の職員は、県立病院が担う役割と責任を認識するとともに、医療機関に求められる基本的な診療理念を理解し、医療の提供に当たってはそれを実践する。	1 医療の提供																																																			
(1) 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者が最良の治療効果を得られるよう、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づく最適な医療を患者への十分な説明と同意のもとに安全に提供すること。	(1) 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者自らが選択し納得できるよう、患者への十分な説明など、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づく医療を安全に提供するため、医療技術の向上、チーム医療の推進、医療安全対策の充実などに取り組む。	(1) 基本的な診療理念 各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。 ①患者への十分な説明と同意の徹底 ②医療技術の向上 ③チーム医療の推進 ④医療安全対策の充実 ⑤患者満足度の向上	-	-	-																																																
			1	①患者の適切な医療が受けられる権利を尊重し、セカンドオピニオンを実施する。	セカンドオピニオン数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>115</td> <td>90</td> <td>112</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>各病院</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>このも</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>74</td> <td>48</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> セカンドオピニオン用情報提供料算定件数 (総合) (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療情報提供料(II)</td> <td>145</td> <td>150</td> <td>116</td> <td>116</td> <td>111</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合	115	90	112	114	114	38	各病院	-	-	-	-	-	-	このも	58	58	48	74	48	23	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	診療情報提供料(II)	145	150	116	116	111	54	A	令和4年度についても、患者の適切な医療が受けられる権利を尊重し、セカンドオピニオンを実施した。				・総合病院的セカンドオピニオン件数(他医療機関から紹介された件数)及び情報提供料算定件数(他医療機関へ紹介した件数)はやや減少する見込みであるが、患者からの求めに適切に対応するとともに、他医療機関との信頼関係も構築できている。 ・今後も引き続き、患者への十分な説明と同意のもと、信頼関係に基づく安全・最適な医療を提供することが求められる。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																															
総合	115	90	112	114	114	38																																															
各病院	-	-	-	-	-	-																																															
このも	58	58	48	74	48	23																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																															
診療情報提供料(II)	145	150	116	116	111	54																																															
			2	①②③運用実績などのエビデンスに基づくクリニカルパスの新規作成や見直しを行う。	クリニカルパス管理委員会において、新規作成及び修正に係る審議、承認を行った。 クリニカルパスの新規作成、適用率等実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規作成(件)</td> <td>15</td> <td>34</td> <td>9</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>修正(件)</td> <td>130</td> <td>253</td> <td>103</td> <td>225</td> <td>66</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>適用率(%)</td> <td>62.6</td> <td>63.3</td> <td>63.9</td> <td>68.3</td> <td>68.8</td> <td>68.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	新規作成(件)	15	34	9	23	17	4	修正(件)	130	253	103	225	66	26	適用率(%)	62.6	63.3	63.9	68.3	68.8	68.4	A	クリニカルパスに関する運用・管理について、医療の質の向上や業務の効率化に繋がるよう、医療従事者が定期的に議論を行っている。 令和4年度は次期電子カルテ更新に伴い、パスの修正増加に向けた、患者の状態変化における評価・統計等の分析が容易となるBOM導入準備を進めている。 ※BOM: 日本クリニカルパス学会の患者アウトカム用語基本マスター			・クリニカルパス管理委員会を毎月開催し、新規作成だけでなく既存パスを随時見直す体制がとられている。 ・クリニカルパスの新規作成・修正件数は、令和3年度に比べては減少しているが、適用率は高い水準を維持している。															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																															
新規作成(件)	15	34	9	23	17	4																																															
修正(件)	130	253	103	225	66	26																																															
適用率(%)	62.6	63.3	63.9	68.3	68.8	68.4																																															
			3	①②③入院における患者の負担軽減及び計画的でわかりやすい医療を提供するため、精神科に適したクリニカルパスを作成し導入する。	令和4年度末現在 稼働クリニカルパス 4件 (m-ECT、転倒転落、鑑定入院、クロザピン) 稼働クリニカルパス件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働クリニカルパス</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	稼働クリニカルパス	4	4	4	4	4	4	A	この医療センターにおいて導入可能なクリニカルパス4件を導入済みである。今後、必要に応じ新規クリニカルパス作成もしくは既存クリニカルパスの見直しを行い、患者の負担軽減に努め、より良い医療を提供していく。			・稼働クリニカルパス数は導入可能なものについては導入済みであるため、令和3年度と同水準である。 ・精神科医療では個々の病状に合わせた診療となるケースが多く、パスを適用できるケースは限られるが、m-ECT、転倒転落、鑑定入院、クロザピンに導入されており、患者の負担軽減と計画的な医療の提供に努めている。																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																															
稼働クリニカルパス	4	4	4	4	4	4																																															
			4	①②③入院における患者の負担軽減及び計画的でわかりやすい医療を提供するため、小児科に適したクリニカルパスを作成し導入する。	稼働クリニカルパス件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働クリニカルパス</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>52</td> <td>61</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> ※令和3年度は病棟改修に伴い、一時的に稼働させたクリニカルパスがあり件数が増加した。	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	稼働クリニカルパス	48	51	51	52	61	48	A	クリニカルパスについては、導入可能なものに関して、積極的に導入し、新規クリニカルパス作成、既存クリニカルパスの見直しを行い、患者の負担軽減に努め、より良い医療を提供していく。 令和3年度は病棟改修工事という特殊事情があったため、件数が一時的に増加したが、令和4年度は例年並みの件数となっている。			・稼働クリニカルパス数は令和3年度と比べて減少する見込みであるが、引き続きクリニカルパスの積極的な導入を行い、小児患者の負担軽減に配慮した計画的な医療が提供されている。 ・成人の場合と異なり、小児の場合は、薬剤の量など患者の体重別に細分化するなどきめ細かな対応が必要であり、患者に配慮した計画的な医療が提供されている。																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																															
稼働クリニカルパス	48	51	51	52	61	48																																															

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			5	③チーム医療を推進し、多職種による病院横断的な活動を通して、質の高い医療を提供する。	<p>チーム医療の推進（カンファレンスの開催） 4年度9月末時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>チーム名</th> <th>開催頻度</th> <th>主要メンバー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">総合</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>2回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師</td> </tr> <tr> <td>感染制御チーム</td> <td>院内52回 院外4回/年</td> <td>医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師</td> </tr> <tr> <td>抗がん薬適正使用支援チーム</td> <td>毎日</td> <td>医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回/月</td> <td>医師、看護師、栄養士</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、臨床工学技師、理学療法士</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師</td> </tr> <tr> <td>精神科リエゾンチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士</td> </tr> <tr> <td>難病関連診療診療チーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、栄養士</td> </tr> <tr> <td>排尿ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>週1回</td> <td>医師・看護・栄養等</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>院内52回 院外4回/年</td> <td>医師・看護・薬剤・臨床検査</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回/月</td> <td>医師・看護・薬剤・栄養</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">こども</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>週1回</td> <td>医師・看護・精神保健福祉士等</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>院内52回 院外4回/年</td> <td>医師・看護・薬剤・臨床検査</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師・看護・薬剤・臨床心理士・栄養</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策部会</td> <td>1回/週</td> <td>医師・看護</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション</td> <td>週1回 （週1回程度）</td> <td>医師・看護・理学療法等</td> </tr> </tbody> </table> <p>チーム医療に対する診療報酬上の評価加算の状況 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="6">29年度</th> <th colspan="6">30年度</th> <th colspan="6">元年度</th> <th colspan="6">2年度</th> <th colspan="6">3年度</th> <th colspan="2">4年度9月末</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">総合</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>1,345</td><td>1,154</td><td>904</td><td>1,246</td><td>1,092</td><td>382</td> <td>75,792</td><td>93,168</td><td>92,879</td><td>86,309</td><td>86,701</td><td>124,507</td> <td>—</td><td>15,985</td><td>19,122</td><td>17,563</td><td>17,643</td><td>—</td> <td>3,905</td><td>4,815</td><td>2,085</td><td>755</td><td>1,630</td><td>1,725</td> <td>59</td><td>1</td><td>92</td><td>143</td><td>224</td><td>86</td> <td>6,248</td><td>4,452</td><td>4,456</td><td>4,445</td><td>4,287</td><td>2,349</td> <td>—</td><td>—</td><td>1743</td><td>2,316</td><td>4,164</td><td>1,953</td> <td>—</td><td>3163</td><td>20,389</td><td>17,965</td><td>20,600</td><td>9,672</td> <td>263</td><td>508</td><td>998</td><td>431</td><td>235</td><td>42</td> <td>2</td><td>200</td><td>212</td><td>388</td><td>536</td><td>218</td> <td>87,614</td><td>123,456</td><td>142,880</td><td>131,561</td><td>137,112</td><td>140,934</td> <td>380</td><td>352</td><td>368</td><td>290</td><td>347</td><td>179</td> <td>380</td><td>352</td><td>368</td><td>290</td><td>347</td><td>179</td> <td>—</td><td>2</td><td>8</td><td>40</td><td>20</td><td>10</td> <td>18,880</td><td>27,610</td><td>27,460</td><td>25,090</td><td>23,660</td><td>15,790</td> <td>2,725</td><td>2,200</td><td>2,535</td><td>2,550</td><td>2,470</td><td>720</td> <td>—</td><td>—</td><td>136</td><td>590</td><td>310</td><td>260</td> <td>56,527</td><td>52,394</td><td>58,836</td><td>59,137</td><td>72,397</td><td>38,124</td> <td>78,132</td><td>82,206</td><td>88,975</td><td>87,407</td><td>98,857</td><td>54,904</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>感染防止対策チーム</td> <td>380</td><td>352</td><td>368</td><td>290</td><td>347</td><td>179</td> <td>380</td><td>352</td><td>368</td><td>290</td><td>347</td><td>179</td> <td>—</td><td>2</td><td>8</td><td>40</td><td>20</td><td>10</td> <td>18,880</td><td>27,610</td><td>27,460</td><td>25,090</td><td>23,660</td><td>15,790</td> <td>2,725</td><td>2,200</td><td>2,535</td><td>2,550</td><td>2,470</td><td>720</td> <td>—</td><td>—</td><td>136</td><td>590</td><td>310</td><td>260</td> <td>56,527</td><td>52,394</td><td>58,836</td><td>59,137</td><td>72,397</td><td>38,124</td> <td>78,132</td><td>82,206</td><td>88,975</td><td>87,407</td><td>98,857</td><td>54,904</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>—</td><td>2</td><td>8</td><td>40</td><td>20</td><td>10</td> <td>18,880</td><td>27,610</td><td>27,460</td><td>25,090</td><td>23,660</td><td>15,790</td> <td>2,725</td><td>2,200</td><td>2,535</td><td>2,550</td><td>2,470</td><td>720</td> <td>—</td><td>—</td><td>136</td><td>590</td><td>310</td><td>260</td> <td>56,527</td><td>52,394</td><td>58,836</td><td>59,137</td><td>72,397</td><td>38,124</td> <td>78,132</td><td>82,206</td><td>88,975</td><td>87,407</td><td>98,857</td><td>54,904</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>87,614</td><td>123,456</td><td>142,880</td><td>131,561</td><td>137,112</td><td>140,934</td> <td>380</td><td>352</td><td>368</td><td>290</td><td>347</td><td>179</td> <td>380</td><td>352</td><td>368</td><td>290</td><td>347</td><td>179</td> <td>—</td><td>2</td><td>8</td><td>40</td><td>20</td><td>10</td> <td>18,880</td><td>27,610</td><td>27,460</td><td>25,090</td><td>23,660</td><td>15,790</td> <td>2,725</td><td>2,200</td><td>2,535</td><td>2,550</td><td>2,470</td><td>720</td> <td>—</td><td>—</td><td>136</td><td>590</td><td>310</td><td>260</td> <td>56,527</td><td>52,394</td><td>58,836</td><td>59,137</td><td>72,397</td><td>38,124</td> <td>78,132</td><td>82,206</td><td>88,975</td><td>87,407</td><td>98,857</td><td>54,904</td> </tr> </tbody> </table>	区分	チーム名	開催頻度	主要メンバー	総合	栄養サポートチーム	2回/週	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師	感染制御チーム	院内52回 院外4回/年	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師	抗がん薬適正使用支援チーム	毎日	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師	褥瘡対策チーム	1回/月	医師、看護師、栄養士	呼吸ケアチーム	1回/週	医師、看護師、臨床工学技師、理学療法士	認知症ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師	精神科リエゾンチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師	緩和ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士	難病関連診療診療チーム	1回/週	医師、看護師、栄養士	排尿ケアチーム	1回/週	医師、看護師	こころ	栄養サポートチーム	週1回	医師・看護・栄養等	感染防止対策チーム	院内52回 院外4回/年	医師・看護・薬剤・臨床検査	褥瘡対策チーム	1回/月	医師・看護・薬剤・栄養	こども	栄養サポートチーム	週1回	医師・看護・精神保健福祉士等	感染防止対策チーム	院内52回 院外4回/年	医師・看護・薬剤・臨床検査	緩和ケアチーム	1回/週	医師・看護・薬剤・臨床心理士・栄養	褥瘡対策部会	1回/週	医師・看護	リハビリテーション	週1回 （週1回程度）	医師・看護・理学療法等	病院	項目	29年度						30年度						元年度						2年度						3年度						4年度9月末		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	総合	栄養サポートチーム	1,345	1,154	904	1,246	1,092	382	75,792	93,168	92,879	86,309	86,701	124,507	—	15,985	19,122	17,563	17,643	—	3,905	4,815	2,085	755	1,630	1,725	59	1	92	143	224	86	6,248	4,452	4,456	4,445	4,287	2,349	—	—	1743	2,316	4,164	1,953	—	3163	20,389	17,965	20,600	9,672	263	508	998	431	235	42	2	200	212	388	536	218	87,614	123,456	142,880	131,561	137,112	140,934	380	352	368	290	347	179	380	352	368	290	347	179	—	2	8	40	20	10	18,880	27,610	27,460	25,090	23,660	15,790	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720	—	—	136	590	310	260	56,527	52,394	58,836	59,137	72,397	38,124	78,132	82,206	88,975	87,407	98,857	54,904	こころ	感染防止対策チーム	380	352	368	290	347	179	380	352	368	290	347	179	—	2	8	40	20	10	18,880	27,610	27,460	25,090	23,660	15,790	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720	—	—	136	590	310	260	56,527	52,394	58,836	59,137	72,397	38,124	78,132	82,206	88,975	87,407	98,857	54,904	こども	—	2	8	40	20	10	18,880	27,610	27,460	25,090	23,660	15,790	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720	—	—	136	590	310	260	56,527	52,394	58,836	59,137	72,397	38,124	78,132	82,206	88,975	87,407	98,857	54,904	計	87,614	123,456	142,880	131,561	137,112	140,934	380	352	368	290	347	179	380	352	368	290	347	179	—	2	8	40	20	10	18,880	27,610	27,460	25,090	23,660	15,790	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720	—	—	136	590	310	260	56,527	52,394	58,836	59,137	72,397	38,124	78,132	82,206	88,975	87,407	98,857	54,904	<p>SARS-CoV-2(以下、「新型コロナウイルス」という。)感染症への対応のため、多職種による院内感染対策のチームを創設し、感染防止の取組、情報収集などを行っている。</p> <p>令和4年度についても、総合病棟の新型コロナウイルス感染症専門病棟では、各部署から医師、看護師等を派遣し、多職種が対応に当たった。</p> <p>各病院では、最良の医療を提供するため、診療科の枠を越えた多職種カンファレンスを実施した。</p> <p>特に総合病院では、精神科医師の着任により、緩和ケアチーム及び精神科リエゾンチームによる診療報酬上の評価加算が高い水準で推移しており、収益面においても大きく貢献している。</p> <p>多職種による病院横断的な活動体制が上記の成果に結びついている。</p> <p>総合病院では、精神科医師の着任以降、精神科リエゾンチームと認知症ケアチームが協働し、精神疾患と身体疾患を併せ持つ身体合併症等に対して包括的な医療を提供している。</p> <p>令和4年度は、精神科リエゾンチーム及び認知症ケアチームが中心となって精神・身体合併症に対する医療ニーズを踏まえ、精神科病棟(精神科身体合併症病棟)を開棟する準備を進めている。</p> <p>令和5年4月の開棟に向け、認知症や精神科患者の身体合併症等に対して適切な医療を提供できる体制を確保していく。</p>	<p>各病院とも多職種によるチーム医療が推進されており、患者の状況に的確に対応できる体制が確保されている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応に当たっては、令和2年度から継続して総合病院に感染症対策室を中心とした院内感染対策チームを設置しており、各病院においても多職種からなるチームが感染防止の取組や情報収集を行うなど、院内感染対策に取り組みながら、県立病院として、本県の新型コロナウイルス感染症対策において重要な役割を果たし、医療提供体制の確保に貢献している。</p> <p>診療報酬上の評価加算も堅調に増加しており、令和元年7月に施設基準を取得した、総合病院の精神科リエゾンチームの算定件数は令和4年度も引き続き高い水準を維持するなど、収益面においても貢献している。</p> <p>令和4年度は、県立病院機構精神科あり方検討ワーキンググループを開催しているほか、総合病院の精神科リエゾンチーム及び認知症ケアチームが中心となって、総合病院に県内初となる精神身体合併症病棟を設置する体制の整備を進めている。</p>	14		☆
区分	チーム名	開催頻度	主要メンバー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
総合	栄養サポートチーム	2回/週	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	感染制御チーム	院内52回 院外4回/年	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	抗がん薬適正使用支援チーム	毎日	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	褥瘡対策チーム	1回/月	医師、看護師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	呼吸ケアチーム	1回/週	医師、看護師、臨床工学技師、理学療法士																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	認知症ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	精神科リエゾンチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	緩和ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	難病関連診療診療チーム	1回/週	医師、看護師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	排尿ケアチーム	1回/週	医師、看護師																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
こころ	栄養サポートチーム	週1回	医師・看護・栄養等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	感染防止対策チーム	院内52回 院外4回/年	医師・看護・薬剤・臨床検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	褥瘡対策チーム	1回/月	医師・看護・薬剤・栄養																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
こども	栄養サポートチーム	週1回	医師・看護・精神保健福祉士等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	感染防止対策チーム	院内52回 院外4回/年	医師・看護・薬剤・臨床検査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	緩和ケアチーム	1回/週	医師・看護・薬剤・臨床心理士・栄養																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	褥瘡対策部会	1回/週	医師・看護																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	リハビリテーション	週1回 （週1回程度）	医師・看護・理学療法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
病院	項目	29年度						30年度						元年度						2年度						3年度						4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
総合	栄養サポートチーム	1,345	1,154	904	1,246	1,092	382	75,792	93,168	92,879	86,309	86,701	124,507	—	15,985	19,122	17,563	17,643	—	3,905	4,815	2,085	755	1,630	1,725	59	1	92	143	224	86	6,248	4,452	4,456	4,445	4,287	2,349	—	—	1743	2,316	4,164	1,953	—	3163	20,389	17,965	20,600	9,672	263	508	998	431	235	42	2	200	212	388	536	218	87,614	123,456	142,880	131,561	137,112	140,934	380	352	368	290	347	179	380	352	368	290	347	179	—	2	8	40	20	10	18,880	27,610	27,460	25,090	23,660	15,790	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720	—	—	136	590	310	260	56,527	52,394	58,836	59,137	72,397	38,124	78,132	82,206	88,975	87,407	98,857	54,904																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	こころ	感染防止対策チーム	380	352	368	290	347	179	380	352	368	290	347	179	—	2	8	40	20	10	18,880	27,610	27,460	25,090	23,660	15,790	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720	—	—	136	590	310	260	56,527	52,394	58,836	59,137	72,397	38,124	78,132	82,206	88,975	87,407	98,857	54,904																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		こども	—	2	8	40	20	10	18,880	27,610	27,460	25,090	23,660	15,790	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720	—	—	136	590	310	260	56,527	52,394	58,836	59,137	72,397	38,124	78,132	82,206	88,975	87,407	98,857	54,904																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		計	87,614	123,456	142,880	131,561	137,112	140,934	380	352	368	290	347	179	380	352	368	290	347	179	—	2	8	40	20	10	18,880	27,610	27,460	25,090	23,660	15,790	2,725	2,200	2,535	2,550	2,470	720	—	—	136	590	310	260	56,527	52,394	58,836	59,137	72,397	38,124	78,132	82,206	88,975	87,407	98,857	54,904																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				6	④医療安全室及び感染対策委員会等を中心に、マニュアルの見直しや研修会を通して院内感染防止対策・医療安全対策を実施する。	<p>3病院で、以下のとおり研修等を実施し安全・安心な医療の提供に対する職員への意識づけと、体制整備を行っている。</p> <p>医療安全対策、院内感染対策研修等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="6">集団感染数(件)</th> <th colspan="2">院内感染対策研修</th> <th colspan="2">医療安全対策研修</th> </tr> <tr> <th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th> <th>研修数(回)</th><th>参加者数(人)</th> <th>研修数(回)</th><th>参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>10</td> <td>1</td><td>1,327</td> <td>4</td><td>1,030</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td> <td>1</td><td>208</td> <td>3</td><td>181</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>3</td><td>4</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td> <td>1</td><td>596</td> <td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td> <td>3</td><td>2,131</td> <td>7</td><td>1,211</td> </tr> </tbody> </table> <p>※院内感染対策研修・医療安全対策研修ともに法定回数は2回</p>	区分	集団感染数(件)						院内感染対策研修		医療安全対策研修		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	総合	0	0	1	0	1	10	1	1,327	4	1,030	こころ	0	1	0	0	0	1	1	208	3	181	こども	3	4	0	1	0	1	1	596	0	0	計	3	5	1	1	1	11	3	2,131	7	1,211	<p>A</p> <p>各病院では、感染対策委員会や医療安全委員会を行う他、研修についても法定回数を上回る実績を積んでいる等、継続的な対策研修の実施体制が確立している。</p> <p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の院内感染対策として、感染対策室を中心とした中核要員によるチームが感染防止に関する取組や情報収集などを担い、県との調整のうえ患者の受入を適切に行っている。</p> <p>また、総合病院では令和4年度中に新型コロナウイルスクラスターを9件、パンコマイシン耐性腸球菌(以下、VREという)の集団感染を1件確認している。</p>	<p>院内感染対策・医療安全対策研修を継続的に実施しており、安全・安心な医療の提供に関する職員への意識付けが行われている。</p> <p>令和4年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた内容を扱い、法定回数をはるかに超える回数を実施している。</p> <p>総合病院においては、新型コロナウイルス感染症対策に特化した院内感染対策チームが、県や市保健所等との情報共有や患者受入れに関する調整などを行っている。令和4年度には、院内におけるVREや新型コロナウイルス感染症のクラスターの発生があったものの、感染対策室をはじめとするチームにより対応している。県立病院として、本県の新型コロナウイルス対策において重要な役割を果たし、地域医療の確保に貢献している。</p>	14		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	区分	集団感染数(件)						院内感染対策研修		医療安全対策研修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	総合	0	0	1	0	1	10	1	1,327	4	1,030																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	こころ	0	1	0	0	0	1	1	208	3	181																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	こども	3	4	0	1	0	1	1	596	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
計	3	5	1	1	1	11	3	2,131	7	1,211																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			7	④⑤固定チームナーシングによる看護提供を行うことで、看護の継続性を図り、患者の安心を高める。	<p>「患者様の声」の推移(看護師) (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ご意見</td> <td>92</td> <td>85</td> <td>81</td> <td>53</td> <td>79</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>感謝</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>患者満足度調査 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>98.2</td> <td>98.9</td> <td>98.0</td> <td>98.2</td> <td>97.6</td> <td>集計中</td> <td>90以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	ご意見	92	85	81	53	79	97	感謝	28	29	40	34	37	21	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	集計中	90以上	<p>A</p> <p>令和4年度の看護師に対する「患者様の声」の件数は、令和3年度実績値を上回った。</p> <p>今後も寄せられた意見を参考に質の高い看護を提供できるよう努める。</p>	<p>「患者様の声」の件数は、令和4年度上半期時点で令和3年度実績を上回った。</p> <p>固定したチームメンバーで受け持ち患者を分担して看護を行う「固定チームナーシング方式」のもと、入院から退院まで看護が展開されている。</p> <p>看護師メンバーが固定されることで、患者に寄り添った質の高い看護の提供が可能となり、患者との間に信頼関係が強くなるものと考えられる。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ご意見	92	85	81	53	79	97																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
感謝	28	29	40	34	37	21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	集計中	90以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			8	⑤患者の視点に立った質の高い医療の提供を目指し、患者満足度調査を行い、患者満足度の改善につなげる。	<p>患者満足度調査 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="6">29年度</th> <th colspan="6">30年度</th> <th colspan="6">元年度</th> <th colspan="6">2年度</th> <th colspan="6">3年度</th> <th colspan="2">4年度9月末</th> <th rowspan="2">4目標</th> </tr> <tr> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th> <th>1</th><th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>入院</td> <td>98.2</td><td>98.9</td><td>98.0</td><td>98.2</td><td>97.6</td> <td>94.0</td><td>94.3</td><td>93.6</td><td>94.3</td><td>95.6</td> <td>94.4</td><td>91.0</td><td>95.7</td><td>92.7</td><td>100.0</td> <td>97.5</td><td>96.1</td><td>99.0</td><td>95.3</td><td>100.0</td> <td>99.3</td><td>98.9</td><td>98.1</td><td>96.5</td><td>97.3</td> <td>集計中</td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>85以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こころ</td> <td>入院</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>90以上</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>90以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こども</td> <td>入院</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>90以上</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> <td>—</td><td>90以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度						30年度						元年度						2年度						3年度						4年度9月末		4目標	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	総合	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	94.0	94.3	93.6	94.3	95.6	94.4	91.0	95.7	92.7	100.0	97.5	96.1	99.0	95.3	100.0	99.3	98.9	98.1	96.5	97.3	集計中	90以上	外来	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	85以上	こころ	入院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90以上	外来	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90以上	こども	入院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90以上	外来	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90以上	<p>—</p> <p>各病院の満足度は令和3年度まで高い水準を維持している。</p> <p>令和4年度についても、各病院で患者満足度の向上に努めているが、満足度調査は9月末時点で実施中である。</p>	<p>患者満足度調査を毎年実施し、調査結果をもとに患者サービスの向上につながるよう、きめ細かい改善策が講じられている。</p> <p>令和4年度の患者満足度は、上半期時点では集計中であるため、今回は未評価とする。</p>	1	1	—																																																																																																																																																				
区分	29年度						30年度						元年度						2年度						3年度						4年度9月末		4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
総合	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	94.0	94.3	93.6	94.3	95.6	94.4	91.0	95.7	92.7	100.0	97.5	96.1	99.0	95.3	100.0	99.3	98.9	98.1	96.5	97.3	集計中	90以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	外来	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	85以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
こころ	入院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	外来	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
こども	入院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	外来	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価									
						説明														
(2) 県立病院が担う役割 他の医療機関では対応困難な高度・特殊医療など、県の保健医療施策として求められている医療を誠実に提供するとともに、地域連携に努め、県内医療機関の中核病院としての役割を果たすこと。また、医療技術の進展等に対応し、高度・専門医療等の更なる充実・強化に努めること。	(2) 県立病院が担う役割 他の医療機関では対応困難な高度・専門・特殊医療が確実に提供できるように、先進的技術・治療法の導入に努める。情報通信技術を活用した医療連携や疾患ごとの地域連携を推進する。県内医療機関の中核病院として、緊急時における後方病床の確保や人材育成などの支援体制の整備を行うとともに、地域の医療機関との機能分担や紹介率・逆紹介率の向上により、地域連携の強化を図る。 【目標値】 ・紹介率(総合、こころ、こども) ・逆紹介率(総合、こころ、こども)	県内の中核的病院として高度・専門・特殊医療を提供するため、地域の医療機関との機能分担を推進し、地域の医療機関との連携を強化する。 ①紹介・逆紹介の推進 ②地域連携クリニカルパスの推進 ③かかりつけ医との診療情報の共有化の推進 ④ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル(ふじのくにねっと)の推進	-	-	-	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価									
						①かかりつけ医との連携により、機能分担体制を推進する。地域の医療機関との連携強化を図る	総合					紹介率・逆紹介率実績 (単位: %)	A	紹介先、逆紹介先となる地域のクリニックとの情報共有、広報及び訪問等を積極的に図っている。 ・地域医療支援病院の承認基準である紹介率80%を大きく上回っており、逆紹介率も非常に高く、県内医療機関の中核病院として、地域の医療機関との連携が積極的に図られている。 ・逆紹介率は、従前から取り組んでいた診療所訪問等により病診連携が進んだことで、目標値を上回っている。						
							①地域の医療機関との連携を強化し、医療支援体制や救急・急性期、重症患者の受入など連携・機能分担体制を推進する。					こころ			紹介率・逆紹介率実績 (単位: %)	B	目標値には達していないものの、前年度に比べ「新規患者が増加傾向にあることから」紹介率・逆紹介率ともに上回っている。 ・こころの医療センターは、他の医療機関では対応が困難な患者を受け入れており、継続して治療を続ける患者が多いため、逆紹介率が伸びにくい。 ・近年の紹介率・逆紹介率は新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向にあったが、令和4年度は新規患者の増加傾向により、紹介率・逆紹介率ともに目標値には届かないものの、令和3年度と比べて増加している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響はやむを得ないものであるが、精神科患者の地域移行に引き続き努め、高度精神科医療を担う県立病院としての役割を果たすことを期待する。			
												こころ			このころの医療センターの精神科医師の総合病院への配置状況 (単位: 人)			2	1	○
												こころ			このころの医療センターから総合病院への身体合併症による搬送件数 (単位: 人)					
①地域の医療機関との機能分担を推進するため、紹介予約制を維持するとともに、積極的に逆紹介を行う。	こころ	紹介率・逆紹介率実績 (単位: %)	B	令和4年度は、紹介率・逆紹介率とも前年と同水準の数値で推移している。紹介率・逆紹介率ともに地域医療支援病院の承認基準を満たしており、地域医療支援病院として機能を果たしている。 ただし、目標数値には達していないため、今後も地域医療機関との連携及び入院支援センターの活動を通じた退院支援を図ることにより、紹介予約制を維持するとともに積極的に逆紹介を行っていく。																
②心疾患、脳卒中、がん、慢性腎臓病、大腿骨頭頸部骨折等の地域連携クリニカルパスを活用し、かかりつけ医やリハビリテーション病院との機能分担を推進する。	総合	地域連携クリニカルパス (単位: 件)	A	令和4年度も、地域の医療機関等との連携により、地域連携クリニカルパスの適用を推進し、円滑な運用に努めた。 ・地域連携クリニカルパスの適用患者数は、令和3年度並みの件数を維持する見込みであり、かかりつけ医やリハビリテーション病院などの機能分担に努めている。																
③④地域医療ネットワークシステムを整備・活用する。	各病院	ネットワーク実績 (単位: 件)	A	令和3年度に、ネットワーク参画医療機関が一体となって、連携医療機関等に参画の呼びかけ及び広報を行っており、この結果、令和4年4月に静岡市清水区の桜ヶ丘病院が開示施設として参画した。 ・協賛会は、参加医療機関からの利用料の徴収し、自律的な運営体制が確立されている。開示件数は堅調な増加傾向にあり、システムの有効性を認めている医療機関には積極的に活用されている。 ・参加医療機関にとっては、利用料に見合う利用価値が得られるかどうか重要となるため、協議会事務局として、地域特性に応じた優良な活用事例の横展開等による更なる参加促進、ネットワークの利用価値を高めていくことが期待される。																

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																																																																		
						説明																																																																																																																																																							
(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 県立総合病院においては、先端医学棟の設備・機能を最大限に活用し、3大疾患(がん、脳血管疾患、心疾患)を中心に高度・専門医療や急性期医療等を提供すること。また、高度救命救急センターの運用による広範囲熱傷等の特殊疾病患者の受入れ等、高度救急医療を継続して提供するほか、広域的な救急医療の提供への対応を図ること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率90%以上、入院患者満足度90%以上、外来患者満足度85%以上の達成を目指すこと。 県立こころの医療センターにおいては、精神科救急・急性期医療の提供や他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図るほか、多様な精神疾患への対応や早期入院・早期社会復帰を支援する医療提供体制の充実を図ること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率85%以上、外来患者満足度85%以上の達成を目指すこと。 県立こども病院においては、小児重症心疾患患者やハイリスク胎児・妊婦、新生児に対する高度・先進医療を提供すること。また、小児がん拠点病院としての機能強化、高度な小児救急医療の充実及び児童精神科の医療の充実を図るほか、患者の円滑な退院・在宅移行を支援する体制整備に努めること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率75%以上、入院患者満足度90%以上、外来患者満足度90%以上の達成を目指すこと。 さらに、県立3病院は、結核、エイズ等の感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療等を提供すること。また、認知症をはじめとした精神科患者の身体合併症、周産期医療における産科合併症以外の合併症及び二次的障害を含む発達障害への対応など、一病院では対応が困難な分野においては、県立3病院のそれぞれの特性を活かし、相互に連携を取り、適切な対応を図ること。 その他、移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題に取り組む。今後の疾病構造や県民の医療ニーズの変化等に対応し、県が求める政策医療に協力すること。また、医療施設や機器の整備については計画的に実施するとともに、県民の医療ニーズの変化や医療技術の進展に応じ、機動的な対応を行うこと。	(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 県が掲げる6疾病5事業を念頭に、各県立病院が専門性を活かしつつ、県立病院間や地域の医療機関との連携を強化して、病態に即した的確な医療を提供する。特に、全国的な課題とされている救急医療や急性期医療の充実に重点的に取り組む。	(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 各県立病院は、県が求める政策医療を念頭に、それぞれの特性を生かし、以下の医療に重点的に取り組む。	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																		
												ア	循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こども病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。	循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こども病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。	各病院	児童の措置入院等、こども病院での受入れが困難な場合はこころの医療センターにて受入れている。 周産期医療における搬送実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども一総合</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>総合→こども</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> こころの医療センターの精神科医師の総合病院への配置状況 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ一総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> こころの医療センターから総合病院への身体合併症による搬送件数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ一総合</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こども一総合	7	8	7	3	3	3	総合→こども	15	13	13	13	9	6	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こころ一総合	0	0	1	2	2	2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こころ一総合	4	9	6	4	8	9	A	3病院1法人のメリットを活かし、患者の搬送、医師の応援体制等病院間の連携協力体制を構築している。 総合病院に常勤の精神科医師を5名配置し、精神科医療体制の構築に向けた連携を実施しており、来年度、精神科患者の身体合併症に対応した病棟開棟に向けて準備を進めている。 こころの医療センターとこども病院の精神科医師が定期的に合同症例検討会については、感染対策の面から個別のカンファレンスを控えていることもあって令和4年度においても未だ開催が見送られているが、必要に応じて患者や症例の相談を電話により行っている。 こども病院から総合病院に母体搬送が行われている。同一法人のメリットを活かし、搬送時のスムーズな医師の応援派遣や設備の有効活用が図られている。 今後、総合病院精神科病棟の整備にあたり、精神科医師が中心となり、機構における精神科医療のあり方や役割分担を含めた検討を進めている。	14	○																																																																																								
												区分	29年度	30年度			元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																									
こども一総合	7	8	7	3	3	3																																																																																																																																																							
総合→こども	15	13	13	13	9	6																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																							
こころ一総合	0	0	1	2	2	2																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																							
こころ一総合	4	9	6	4	8	9																																																																																																																																																							
イ	周産期医療における産科合併症及び脳卒中等産科以外の疾患による合併症や精神科患者の身体合併症などについては、各県立病院が連携して取り組む。	周産期医療における産科合併症及び脳卒中等産科以外の疾患による合併症や精神科患者の身体合併症などについては、各県立病院が連携して取り組む。	総合・こころ・こども	(総合) 結核病棟は50床で運用している。 エイズ拠点病院としてエイズ患者の受入体制を整えている。 入院患者数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エイズ</td> <td></td> <td></td> <td>非公開</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>結核</td> <td>108</td> <td>111</td> <td>92</td> <td>95</td> <td>85</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> 移植実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎移植</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>造血幹細胞移植</td> <td>8</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>強角膜片作成</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> (こども) 造血幹細胞移植実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>骨髄移植</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臍帯血</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>自家末梢血</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>同種末梢血</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> アレルギー疾患に関する研修会・講演会開催件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> アレルギー教室開催実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> ・腎臓移植は、令和2年度以降は行われていない。 新型コロナウイルス感染症受入体制(9月末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病床数</th> <th>時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>16床</td> <td>令和4年7月～</td> <td>6A病棟 最大16床</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>4床</td> <td>令和2年4月～</td> <td>2床はスタッフ用</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>20床</td> <td>令和4年8月～</td> <td>PICU、MFICU、NICU、北4病棟、CCU</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	エイズ			非公開				結核	108	111	92	95	85	28	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	腎移植	18	14	17	12	10	6	造血幹細胞移植	8	17	14	13	12	6	強角膜片作成	4	2	3	1	0	1	計	30	33	34	26	22	13	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	骨髄移植	2	5	2	8	3	2	臍帯血	1	3	3	2	2	0	自家末梢血	7	4	4	1	1	6	同種末梢血	0	2	1	1	0	0	計	10	14	10	12	6	8	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合	-	1	1	0	1	0	こども	4	4	3	2	2	2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	3	3	3	1	2	2		病床数	時期	備考	総合	16床	令和4年7月～	6A病棟 最大16床	こころ	4床	令和2年4月～	2床はスタッフ用	こども	20床	令和4年8月～	PICU、MFICU、NICU、北4病棟、CCU	S	(総合) 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症に係る院内検査及び患者受入体制の充実に努めた。 特に、令和4年7月～8月にかけて新型コロナウイルス第7波の拡大により、令和4年7月以降は最大16床(本館6A 16床)を確保していたが、それを大きく上回る患者を受け入れることとなった。 結核病棟については、結核病棟を有する病院の多くが新型コロナウイルス感染症病床へ切り替える状況において、当院は50床を維持し、県内における結核患者の8割以上を受入可能な体制を整えている。 移植については、生体移植を含めた腎移植、造血幹細胞移植、強角膜片作成を実施している。令和4年度の移植件数は、令和3年度実績と同数程度となった。 (こころ) 県の要請により新型コロナウイルス感染症に対応する病床を4床(うち2床をスタッフ用)を整備し、令和2年4月から運用している。令和4年度は9月末現在で新型コロナウイルス感染症患者を2名、延14日間受け入れた。 こども) 新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和4年9月末時点で、PICU2床、MFICU1床、NICU1床、北4病棟14床、CCU2床を確保し、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている。 また、移植医療に関しては、適用患者の数に変動はあるため、実績値の増減はあるが先進的医療である造血幹細胞移植に継続して取り組んでいる。 また、アレルギー疾患に関する県民向け・医療者向けの講習会を実施し、地域のアレルギー疾患医療のレベルアップを図っており、令和4年度は9月末時点で2回開催している。	14	☆
区分	29年度	30年度			元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
エイズ					非公開																																																																																																																																																								
結核	108	111	92	95	85	28																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																							
腎移植	18	14	17	12	10	6																																																																																																																																																							
造血幹細胞移植	8	17	14	13	12	6																																																																																																																																																							
強角膜片作成	4	2	3	1	0	1																																																																																																																																																							
計	30	33	34	26	22	13																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																							
骨髄移植	2	5	2	8	3	2																																																																																																																																																							
臍帯血	1	3	3	2	2	0																																																																																																																																																							
自家末梢血	7	4	4	1	1	6																																																																																																																																																							
同種末梢血	0	2	1	1	0	0																																																																																																																																																							
計	10	14	10	12	6	8																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																							
総合	-	1	1	0	1	0																																																																																																																																																							
こども	4	4	3	2	2	2																																																																																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																							
件数	3	3	3	1	2	2																																																																																																																																																							
	病床数	時期	備考																																																																																																																																																										
総合	16床	令和4年7月～	6A病棟 最大16床																																																																																																																																																										
こころ	4床	令和2年4月～	2床はスタッフ用																																																																																																																																																										
こども	20床	令和4年8月～	PICU、MFICU、NICU、北4病棟、CCU																																																																																																																																																										
ウ	結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療に着実に取り組む。	結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療に着実に取り組む。 特に、SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)など新興感染症については、感染拡大防止のため、県との連携・協力体制を整備し、診療機能の強化に努める。 【総】・結核病棟を維持する。また各種感染症や難病、アレルギー疾患医療は県内医療機関との連携・協力関係を進める。 ・新興感染症について、県と連携・協力して病床を確保するなど拡大防止に対応できる体制を充実し、県の中核病院としての役割を果たす。 【総・子】・腎臓移植、造血幹細胞移植、強角膜片作成(総合病院のみ)等への取組みを継続する。 【子】・アレルギー疾患拠点病院として、講習会の実施等の取組みを継続する。	総合・こころ・こども	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																			
エ	循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こども病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。	循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こども病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。									-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																																																																	
	エ	エ	16 ～ 18	【総】・リハビリテーション、相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。 【心】・患者の地域での生活を支援するため、訪問看護を充実させる。 【子】・言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他充実を図る。	<p>患者サポートセンター退院調整件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>3,217</td><td>6,810</td><td>5,217</td><td>6,007</td><td>6,517</td><td>3,450</td></tr> </table> <p>退院支援関係診療報酬算定件数実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>退院調整加算(旧)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>退院支援加算1.(新)</td><td>1,879</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>入退院支援加算1次</td><td>—</td><td>4,816</td><td>3,987</td><td>5,403</td><td>6,008</td><td>3,090</td></tr> <tr><td>退院時リハビリテーション指導料</td><td>705</td><td>530</td><td>1,113</td><td>3,529</td><td>2,957</td><td>1,457</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,584</td><td>5,346</td><td>5,100</td><td>8,932</td><td>8,965</td><td>4,547</td></tr> </table> <p>リハビリテーション活動及び訪問看護を通じて、患者の社会復帰を支援している。また、在宅においてよりの確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加えて精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数訪問の積極的な実施に努めている。</p> <p>リハビリテーション活動実施件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>精神科作業療法</td><td>5,992</td><td>5,494</td><td>4,483</td><td>5,427</td><td>4,561</td><td>2,151</td></tr> <tr><td>デイケア</td><td>5,955</td><td>6,023</td><td>4,462</td><td>2,653</td><td>1,388</td><td>650</td></tr> <tr><td>計</td><td>11,947</td><td>11,517</td><td>8,945</td><td>8,080</td><td>5,949</td><td>2,801</td></tr> </table> <p>訪問看護実施件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>訪問看護実施件数</td><td>4,068</td><td>3,996</td><td>3,704</td><td>3,841</td><td>3,643</td><td>1,823</td></tr> <tr><td>(うち複数訪問)</td><td>76</td><td>31</td><td>38</td><td>46</td><td>37</td><td>36</td></tr> </table> <p>リハ実施実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>理学療法</td><td>18,944</td><td>17,309</td><td>22,829</td><td>22,985</td><td>24,683</td><td>11,775</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>作業療法</td><td>6,656</td><td>6,039</td><td>4,546</td><td>3,813</td><td>7,794</td><td>5,889</td><td>—</td></tr> <tr><td>言語聴覚療法</td><td>7,306</td><td>7,901</td><td>9,744</td><td>10,162</td><td>10,045</td><td>4,695</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td>32,906</td><td>31,249</td><td>37,119</td><td>36,960</td><td>42,522</td><td>22,359</td><td>—</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	3,217	6,810	5,217	6,007	6,517	3,450	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	退院調整加算(旧)	—	—	—	—	—	—	退院支援加算1.(新)	1,879	—	—	—	—	—	入退院支援加算1次	—	4,816	3,987	5,403	6,008	3,090	退院時リハビリテーション指導料	705	530	1,113	3,529	2,957	1,457	計	2,584	5,346	5,100	8,932	8,965	4,547	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	精神科作業療法	5,992	5,494	4,483	5,427	4,561	2,151	デイケア	5,955	6,023	4,462	2,653	1,388	650	計	11,947	11,517	8,945	8,080	5,949	2,801	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	訪問看護実施件数	4,068	3,996	3,704	3,841	3,643	1,823	(うち複数訪問)	76	31	38	46	37	36	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	理学療法	18,944	17,309	22,829	22,985	24,683	11,775	15,000	作業療法	6,656	6,039	4,546	3,813	7,794	5,889	—	言語聴覚療法	7,306	7,901	9,744	10,162	10,045	4,695	—	計	32,906	31,249	37,119	36,960	42,522	22,359	—	<p>説明</p> <p>A 患者サポートセンターの看護師、MSWや理学療法士等が中心となり、入院早期から退院調整を積極的に支援している。</p> <p>B 令和4年度も、感染対策のため入院患者と外部の者との接触を控えているため、入院患者に対する病棟外作業療法は参加人数を絞ったうえでリモートで行う等工夫しながら実施している。 外来のデイケア活動は、6月から昼食を跨がないショートケアのみを再開しているが、最大10人までに絞っての開催ということもあって、患者数が伸び悩んでいる。</p> <p>A 令和4年度リハビリ実施件数は、過去実績を大きく上回った前年度実績と同水準で推移している。特に作業療法は、令和4年9月末時点で、前年度実績の75%の件数となっている。 今後もさらなる質の向上を図っていく。</p>	<p>R4暫定県評価</p> <p>・入院調整の窓口である地域医療ネットワークセンターにおいては、各種会議・勉強会への参加、地域連携バスの運用などを通じて地域の医療機関との顔の見える関係を構築している。 ・退院調整件数や診療報酬算定件数としての入退院支援加算は令和3年度並みを維持することが見込まれる。</p> <p>・リハビリ実施件数は、近年、新型コロナウイルス感染拡大以前から減少傾向にある。特に精神科作業療法は主に入院患者を対象としたものであるが、入院患者数の減少や重症患者の比率増加により、年々件数が減少してきている。 ・特にデイケアは、新型コロナウイルス感染状況に応じて、参加人数を制限して実施しているため、令和4年度の実施件数は令和3年度と同程度に落ち込んでいる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける中で、リモートでの活動や感染リスクの低い野外での活動を継続、段階的に再開することで、利用者とのつながりの維持に努め、患者の社会復帰を支援している。 ・また、平均在院日数を短縮し、社会復帰に向けたリハビリや地域での生活を支援する訪問看護も重要であり、訪問看護実施件数は令和3年度並みを維持している。 ・精神疾患患者の社会復帰と在宅医療の支援について、デイケアの新規利用者増加や訪問看護の拡充に向けた取組を期待する。</p>	15		△
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
件数	3,217	6,810	5,217	6,007	6,517	3,450																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
退院調整加算(旧)	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																					
退院支援加算1.(新)	1,879	—	—	—	—	—																																																																																																																																																					
入退院支援加算1次	—	4,816	3,987	5,403	6,008	3,090																																																																																																																																																					
退院時リハビリテーション指導料	705	530	1,113	3,529	2,957	1,457																																																																																																																																																					
計	2,584	5,346	5,100	8,932	8,965	4,547																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
精神科作業療法	5,992	5,494	4,483	5,427	4,561	2,151																																																																																																																																																					
デイケア	5,955	6,023	4,462	2,653	1,388	650																																																																																																																																																					
計	11,947	11,517	8,945	8,080	5,949	2,801																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
訪問看護実施件数	4,068	3,996	3,704	3,841	3,643	1,823																																																																																																																																																					
(うち複数訪問)	76	31	38	46	37	36																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																				
理学療法	18,944	17,309	22,829	22,985	24,683	11,775	15,000																																																																																																																																																				
作業療法	6,656	6,039	4,546	3,813	7,794	5,889	—																																																																																																																																																				
言語聴覚療法	7,306	7,901	9,744	10,162	10,045	4,695	—																																																																																																																																																				
計	32,906	31,249	37,119	36,960	42,522	22,359	—																																																																																																																																																				
	オ	オ	19	・遺伝子診療に関して、体制の整備・充実を図る。	<p>遺伝子診療科受診者数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>受診者数</td><td>86</td><td>101</td><td>146</td><td>227</td><td>233</td><td>136</td></tr> </table> <p>【参考】エキスパートパネル実施件数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>受診者数</td><td>38</td><td>46</td><td>23</td></tr> </table> <p>【参考】遺伝カウンセリング件数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>受診者数</td><td>227</td><td>233</td><td>136</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	受診者数	86	101	146	227	233	136	区分	2年度	3年度	4年度9月末	受診者数	38	46	23	区分	2年度	3年度	4年度9月末	受診者数	227	233	136	<p>A 臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラーを始めとする遺伝分野の専門スタッフを配置したゲノム医療センターでは、令和3年度には臨床遺伝専門医を1名増員するなど体制を強化し、がんゲノム関連検査、遺伝性腫瘍症候群、遺伝性疾患等の診療を行っている。 遺伝診療に関する診療は増加傾向にあり、令和4年度の受診者数は、令和3年度実績を上回る見込み。また、エキスパートパネルや遺伝カウンセリングの件数についても増加している。特に静岡がんセンターの連携病院(中部地区で唯一の施設)として令和2年度から実施しているエキスパートパネルの件数は、増加している。</p>	<p>・平成27年度の遺伝診療科開設以降、平成30年3月のがんゲノム医療連携拠点病院指定、令和元年9月のゲノム医療センター新設等の体制強化に加え、令和元年6月からのがん遺伝子パネル検査の保険適用開始も影響し、遺伝診療科受診者数は年々増加している。 ・がんゲノム医療連携病院として、令和2年度から静岡がんセンターと連携してエキスパートパネル(がん遺伝子パネル検査の結果を医学的に解釈するための多職種による検討会)を開始している。 ・令和3年度には、ゲノム医療センターにおける臨床遺伝専門医を1人増員し、更なる体制強化を図った。 ・遺伝診療科受診者数、エキスパートパネル、遺伝カウンセリングの件数は増加傾向にあり、遺伝子解析・診断を活用した相談支援の充実による効果が現れている。</p>	16		○																																																																																																																			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
受診者数	86	101	146	227	233	136																																																																																																																																																					
区分	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																								
受診者数	38	46	23																																																																																																																																																								
区分	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																								
受診者数	227	233	136																																																																																																																																																								
	カ	カ	20 ～ 22	【総】・こころの医療センター、こども病院と連携し、精神科身体合併症病棟を設置する。 ・鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、認知症ケアチームの介入、専門医療相談等を推進する。 ・精神科リエゾンチームの運営を開始し、精神科外来の業務を確立する。 【心】・症状が重篤な認知症患者を受け入れるための、精神科救急・急性期医療体制を確保する。 【心】・老年期特有の専門外来(老年期こころと物忘れ外来)により専門的な医療相談を実施する。 【子】・発達障害については、従来からの新生児退院診療や、新生児包括外来における低体重出生児の発達フォローを継続し、保護者向けのペアレントトレーニングについても継続して取り組む。	<p>脳FDG-PET (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>実施件数</td><td>147</td><td>161</td><td>160</td><td>128</td><td>142</td><td>75</td></tr> </table> <p>認知症ケア及び精神科リエゾンチームに係る加算 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>認知症ケア</td><td>10,494</td><td>8,306</td><td>7,163</td><td>6,202</td><td>5,246</td><td>2,733</td></tr> <tr><td>精神科リエゾンチーム</td><td>—</td><td>—</td><td>1,743</td><td>2,316</td><td>1,671</td><td>300</td></tr> <tr><td>計</td><td>—</td><td>—</td><td>8,906</td><td>8,518</td><td>6,917</td><td>3,033</td></tr> </table> <p>認知症入院患者件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>認知症入院患者</td><td>11</td><td>9</td><td>6</td><td>6</td><td>12</td><td>8</td></tr> </table> <p>老年期こころと物忘れ外来実施件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>老年期こころと物忘れ外来実施件数</td><td>441</td><td>483</td><td>387</td><td>303</td><td>340</td><td>197</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	実施件数	147	161	160	128	142	75	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	認知症ケア	10,494	8,306	7,163	6,202	5,246	2,733	精神科リエゾンチーム	—	—	1,743	2,316	1,671	300	計	—	—	8,906	8,518	6,917	3,033	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	認知症入院患者	11	9	6	6	12	8	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	老年期こころと物忘れ外来実施件数	441	483	387	303	340	197	<p>A 令和4年度は、精神科病棟の整備に関する基本設計・実施設計に基づいて、改修工事を実施している。 脳疾患(てんかん、認知症)及び脳腫瘍の診断等に用いる脳FDG-PETの実施件数は年間150件程度であるが、令和4年度は令和2年度・令和3年度の減少分が戻ってきている。 認知症ケア加算と精神科リエゾンチーム加算の算定件数の計については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、令和4年度も引き続き精神科リエゾンチーム加算を中心にやや減少が続く見込みである。</p> <p>A 令和4年度のこころと物忘れ外来の件数は9月末現在で197件である。また、認知症を主たる要因として入院となった患者数は8人であった。</p>	<p>・認知症の鑑別に有用とされる脳FDG-PETの実施件数は、令和3年度並みを維持する見込みである。 ・令和4年度は精神科医を5名配置し、認知症の周辺症状と身体合併症にかかる専門医療相談等に対応している。 ・総合病院では認知症ケアチームが週1回カンファレンスを実施し、早期介入を行うことで認知症の悪化予防に取り組んでいる。 ・認知症ケア加算と精神科リエゾンチーム加算の算定件数は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減少傾向にあるものの、高齢化を背景に今後も増加が見込まれる認知症患者に対して、各病院が連携して早期発見・早期対応に努めるとともに、地域の医療機関との連携や医療従事者の育成等も期待される。</p> <p>・症状が重篤な認知症患者を受け入れる体制や、老年期特有の専門外来として、老年期こころと物忘れ外来を設置し、精神科救急における県立病院としての責務を果たしている。 ・認知症については、診断や専門医療相談のニーズが高まっている一方、静岡医療圏における相談窓口の多様化や、一般外来を受診する高齢患者の増加などにより、老年期こころと物忘れ外来の外来件数は減少傾向にある。こころの医療センターにおいては、認知症を取り巻く状況の変化に対応した医療体制を検討していくことが求められる。</p>																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
実施件数	147	161	160	128	142	75																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
認知症ケア	10,494	8,306	7,163	6,202	5,246	2,733																																																																																																																																																					
精神科リエゾンチーム	—	—	1,743	2,316	1,671	300																																																																																																																																																					
計	—	—	8,906	8,518	6,917	3,033																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
認知症入院患者	11	9	6	6	12	8																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
老年期こころと物忘れ外来実施件数	441	483	387	303	340	197																																																																																																																																																					
				発達障害児を持つ保護者を対象に、医師や保育士を中心にペアレント・トレーニングを例年行っているが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で実施していない。 中期計画期間中、新生児退院診療を実施している。また、新生児包括外来における低出生体重児の発達フォローを隔週1回実施している。	<p>発達小児科外来患者数等 (単位: 人、件数)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>発達小児科外来延患患者数</td><td>3,871</td><td>4,014</td><td>4,233</td><td>4,272</td><td>4,439</td><td>2,007</td></tr> <tr><td>ペアレントトレーニング等件数</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>新生児包括外来実績 (単位: 件数)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>低出生体重児への発達フォロー件数</td><td>170</td><td>207</td><td>207</td><td>175</td><td>184</td><td>90</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	発達小児科外来延患患者数	3,871	4,014	4,233	4,272	4,439	2,007	ペアレントトレーニング等件数	10	10	10	0	0	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	低出生体重児への発達フォロー件数	170	207	207	175	184	90	<p>A 発達小児科による家族へのペアレントトレーニングは、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったが、外来延患患者数は例年と同水準で推移している。発達障害者へのニーズの高まりに対し、現行体制で可能な限りの取組を行っている。 また、新生児科では、新生児包括外来における低出生体重児への発達フォローを実施しており、例年と同水準で推移している。</p>	<p>・乳幼児健診の早期スクリーニングの効果により、発達障害を疑われる児が増加している。一方で、発達障害を扱う診療所等の医師が非常に少なく、県東部地域を中心に診断・検査を行う小児専門医療機関の確保が十分でないため、障害の程度を問わず、こども病院に患者が集中している。 ・発達障害に対しては、スクリーニングや一般的な検査等を行う一次的な医療機関と、診断や専門的検査、薬物療法など高度な診療を行う医療機関との間の機能分化が望ましいが、特に県東部地域においては実現できていない。 ・こども病院の発達小児科においては、医師3人体制で週5日(各日午前・午後の2診体制)の専門外来を設け、現行体制で可能な限りの実績を上げており、県立病院としての役割を十分に果たしている。 ・県東部地域については、かかりつけ医等がこども病院など専門的医療機関での初診に陪席し診療方法を学習する研修事業を、県から委託している。なお、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県が研修の受入機関を県東部地区に絞ったため、こども病院での実施ができていない状況にある。 ・こども病院においても、更なる専門医師の確保に努めるとともに、県と連携して、地域の関係機関との機能分化の実現を目指すことが期待される。</p>	16		○																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
発達小児科外来延患患者数	3,871	4,014	4,233	4,272	4,439	2,007																																																																																																																																																					
ペアレントトレーニング等件数	10	10	10	0	0	0																																																																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																					
低出生体重児への発達フォロー件数	170	207	207	175	184	90																																																																																																																																																					

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																												
	キ 移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	キ 移行期医療支援センターの運用などによる移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	23	各病院 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスなどの感染症について、県と連携、協力して拡大防止に対応できる体制を整備する。 ・機構内各病院や他医療機関、県などと連携して移行期医療及び成人期医療を提供する。 ・【こころ】総合病院、こども病院と連携した県立3病院の精神科医療体制構築を進める。 ・【子】県担当課と協議しつつ、受託した移行期医療支援センターの運営を行い、業務内容の充実を図る。 	移行期医療件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども→総合</td> <td>650</td> <td>610</td> <td>666</td> <td>995</td> <td>1,367</td> <td>612</td> </tr> <tr> <td>こども→こころ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> 関連するカンファレンス等の開催実績 (単位: 回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table> ※ 令和2年度に短期入所事業者の指定を受け、令和4年度より入所している。 移行期医療センターに関する委員会等の実施回数 (単位: 件数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行期医療センターに関する委員会等の実施回数</td> <td>-</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こども→総合	650	610	666	995	1,367	612	こども→こころ	-	-	19	18	15	14	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こころ・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績	-	2	5	0	0	0	移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数	-	1	6	4	3	1	医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数	-	5	3	6	6	※	区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	移行期医療センターに関する委員会等の実施回数	-	11	18	3	A 新型コロナウイルス感染症への対応については、総合病院及びこども病院が県から重点医療機関に指定されており、各病院において患者受入体制を整備し、県と調整のうえ患者の受入を行ってきた。 移行期医療への対応については、機構内における医療情報システム(電子カルテシステム)の統合を予定している。これにより、患者情報の病院間の相互参照が可能となり、医療サービスの向上が期待される。 (総合) 令和2年2月に開設した成人先天性心疾患科では、こども病院循環器科との連携により、先天性心疾患や遺伝性心疾患を持つ患者を対象に診察を行っている。 (令和4年度)の受診者数は、令和3年度実績と同程度を維持している。 (こころ) こころの医療センターとこども病院の精神科医師が定期的に実施している合同症例検討会については、感染対策の面から個別のカンファレンスを控えていることもあって令和4年度においても未だ開催が見送られているが、必要に応じて患者や症例の相談を電話により行っている。 令和4年度において開催されている「県立病院機構精神科あり方ワーキンググループ」において検討されている県立3病院の精神科医療のあり方を踏まえ、時代のニーズに応えた医療提供体制の整備に取り組んでいく。 (こども) 県から移行期医療支援センター運営事業を受託し、県と連携して移行期医療支援体制の推進に取り組んでいる。 令和4年4月に移行期医療推進協議会を開催し、年度内を目標に医療機関連携マップを作成することを確認した。また、こども病院として、患者の自立を促すための診療科ごとの支援プログラムの作成や静岡市医師会と重症心身障がい児の移行のためのカンファレンスを行っている。 在宅移行の推進や在宅移行後の医療的ケア児への対応について、令和2年度に指定障害福祉サービスによる、短期入所事業者の指定を受け、令和4年度は9月末時点で3人(延人数)の利用があった。今後も、受入れ体制の整備を図っていく。 加えて、引続き関係福祉機関、教育機関等における講習や会議への医師や看護師の出席等を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の発達により、小児期の慢性疾患による死亡率が減少する一方で、原疾患治療や合併症への対応が長期化し、思春期・成人期を迎える患者が増えているが、小児期と成人期の診療科・医療機関の連携は十分ではない。 ・国は、移行期医療に対応可能な医療機関情報を把握・公表し、小児期と成人期の医療機関等の連絡調整・連携支援、患者の自律支援等を担う総合的なセンター機能を、各都道府県に1箇以上設置することを求めている。 ・移行期医療は、小児診療科から成人診療科に完全に移行する疾病、両方でケアが必要な疾病、小児診療科で継続してケアが必要な疾病と、疾病の種類や状況に応じて、求められる診療体制が異なる点が特徴である。 ・また、成人期医療においては小児慢性特定疾病への対応や患者の就学・就労支援等に課題が、小児診療科においては生活習慣病等への対応等に課題がある。 	15		○																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																
こども→総合	650	610	666	995	1,367	612																																																																																
こども→こころ	-	-	19	18	15	14																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																
こころ・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績	-	2	5	0	0	0																																																																																
移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数	-	1	6	4	3	1																																																																																
医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数	-	5	3	6	6	※																																																																																
区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																		
移行期医療センターに関する委員会等の実施回数	-	11	18	3																																																																																		
	ク 高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術・放射線治療等の拡充など、高度な治療への対応の強化や適切な治療の提供に取り組む。また、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設や設備等の充実を努める。	ク 高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術・放射線治療等の拡充など、高度な治療への対応の強化や適切な治療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システム統合をはじめとした医療情報の共有化に取り組む。	24	各病院・本部(経営) <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画に記載した施設及び機器等の整備を計画的に実施する。 ・3病院の医療情報システム統合を実施し、セキュリティを強化した上で、地域医療連携などICTを利用したサービスの向上を目指す。 施設及び機器等の整備状況 (単位: 万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">施設整備</th> <th colspan="4">器械備品等</th> </tr> <tr> <th>元年度(実績)</th> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>4年度(9月末)</th> <th>元年度(実績)</th> <th>2年度(実績)</th> <th>3年度(実績)</th> <th>4年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>16,132</td> <td>1,091</td> <td>1,472</td> <td>1,866</td> <td>137</td> <td>4,566</td> <td>6,788</td> <td>706</td> <td>894</td> <td>708</td> <td>564</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>992</td> <td>129</td> <td>246</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>390</td> <td>169</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1,764</td> <td>148</td> <td>829</td> <td>190</td> <td>2</td> <td>1,169</td> <td>1,824</td> <td>308</td> <td>747</td> <td>567</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>78</td> <td>395</td> <td>7</td> <td>480</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>44</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18,887</td> <td>1,379</td> <td>2,625</td> <td>2,456</td> <td>146</td> <td>6,606</td> <td>8,791</td> <td>1,045</td> <td>1,716</td> <td>1,283</td> <td>586</td> </tr> </tbody> </table> 医療情報システム統合の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月にこころの医療センターにサーバー機が完成した。 ・質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムを統合し、医療情報の共有化を進めている。 	区分	施設整備				器械備品等				元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(9月末)	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(9月末)	総合	16,132	1,091	1,472	1,866	137	4,566	6,788	706	894	708	564	こころ	992	129	246	5	0	390	169	31	31	8	2	こども	1,764	148	829	190	2	1,169	1,824	308	747	567	20	本部	0	0	78	395	7	480	0	0	44	0	0	合計	18,887	1,379	2,625	2,456	146	6,606	8,791	1,045	1,716	1,283	586	A 令和4年度の減価償却費は36.8億円を見込む。(前年度比+0.9億円)。 質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムの統合を進めており、令和5年度の稼働を見込んでいることなどから、令和5年度以降は更に減価償却費が増加する見込みである。引き続き経営状況を見ながら適切に投資判断を行っていく。 令和3年にこころの医療センターにサーバー機が完成しており、質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムを統合し、医療情報の共有化を進めている。 総合病院では、北館1階へ移設した高度救命救急センターの跡地(循環器病センター1階)に中央処置室をリニューール整備し、令和3年7月から運用している。 こころの医療センターでは、外来患者の利便性の向上のため、机を購入して外来受付を拡張した。 こども病院では、昇降機改修工事(令和3年11月～令和5年11月)を執行中で、令和4年9月末現在、H棟1号機、2号機の改修工事が完了し、J・K棟3号機、4号機を施工中である。	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画策定時の施設整備計画について、状況変化に柔軟に対応しながら、施設・設備整備を実施している。 ・第3期においては、総合病院における既存棟の耐震化を含む改築工事やこどもの本館老朽化に伴う改築工事等の大型投資が実施されており、期間中合計で約260億円の事業計画がある。 ・令和4年度においては、約83億円の施設及び機器等の整備を実施予定であり、高度な治療への対応強化や療養環境の向上に取り組んでいる。 ・令和4年度の主な事業として、質の高い医療の提供と効率的な病院運営のため、3病院の医療情報システムを統合した電子カルテの導入を行う。なお、令和3年度には3病院共通のサーバー機を建設した。 ・医療機器の購入においては、機器購入委員会を開き、優先順位の高い機器から購入を行うなど、適切な管理がされている。令和4年度はこども病院でCT装置、総合病院で手術支援ロボットを購入する。 ・減価償却費の増加は、手術件数増加や重症系病棟稼働率の向上、在院日数の短縮等による医療収益の増加でカバーしていく予定であるが、今後、設備投資による減価償却費等の増加が経営状況に及ぼす影響を注視していくことが求められる。 	17		○
区分	施設整備					器械備品等																																																																																
	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(9月末)	元年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(9月末)																																																																														
総合	16,132	1,091	1,472	1,866	137	4,566	6,788	706	894	708	564																																																																											
こころ	992	129	246	5	0	390	169	31	31	8	2																																																																											
こども	1,764	148	829	190	2	1,169	1,824	308	747	567	20																																																																											
本部	0	0	78	395	7	480	0	0	44	0	0																																																																											
合計	18,887	1,379	2,625	2,456	146	6,606	8,791	1,045	1,716	1,283	586																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																																				
						説明																																																																																																																									
	各県立病院は、質の高い医療を継続的に提供するため、次々とおり重点的に取り組む。	各県立病院は医療の提供に当たり、次々とおり重点的に取り組む。	-	-	-	-	-																																																																																																																								
	県立総合病院	<p>県立総合病院診療事業</p> <p>県内医療機関の中核的病院として、各疾患に対する総合的な医療をはじめ、3大疾患(心疾患、脳血管疾患、がん疾患)に対する高度・専門医療や救急・急性期医療等を提供する。</p> <p>各診療事業を推進するため、医師・看護師確保に取り組む。</p> <p>県民に提供する医療</p> <p><業務予定量></p> <p>病床数 712床 一般病床 662床 結核病床 50床 外来患者 454,534人 入院患者 224,978人</p>	25		<p>入院・外来患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>232,585</td> <td>233,305</td> <td>225,595</td> <td>203,298</td> <td>207,398</td> <td>100,815</td> <td>224,978</td> </tr> <tr> <td>(うち結核病床)</td> <td>6,580</td> <td>6,406</td> <td>4,967</td> <td>5,223</td> <td>4,918</td> <td>1,880</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>430,118</td> <td>436,699</td> <td>448,945</td> <td>425,092</td> <td>455,056</td> <td>230,344</td> <td>454,534</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	232,585	233,305	225,595	203,298	207,398	100,815	224,978	(うち結核病床)	6,580	6,406	4,967	5,223	4,918	1,880	-	外来患者数	430,118	436,699	448,945	425,092	455,056	230,344	454,534	B				<p>入院患者数については、新型コロナウイルス感染症専用病床の確保のほか、院内でのVRE発生に伴い、一部の病床をVRE専用病床とした影響により、目標値を下回る見込みである。</p> <p>一方、外来患者数は、令和3年度に引き続き、令和元年度および目標値を上回る見込みである。</p> <p>新規患者獲得に向けて地域の医療機関等との連携を強化することにより、患者数の増加と病床稼働率の向上に取り組んでいる。</p>	3	1	○																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																								
入院患者数	232,585	233,305	225,595	203,298	207,398	100,815	224,978																																																																																																																								
(うち結核病床)	6,580	6,406	4,967	5,223	4,918	1,880	-																																																																																																																								
外来患者数	430,118	436,699	448,945	425,092	455,056	230,344	454,534																																																																																																																								
	急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患において、常時高度な専門的治療を提供する。加えて、生活習慣病としての危険因子を管理するため、地域の医療機関との連携を強化する。	<p>○循環器疾患患者に対して循環器病センター機能を活かした常時高度な専門的治療を提供する体制の充実</p> <p>①重症心不全疾患の患者に対して冠動脈疾患集中治療室(CCU/ICU)機能を最大限に活かした高度な専門的治療の提供</p> <p>②急性心筋梗塞、脳卒中発症患者に対応する常時救急受入体制の強化</p> <p>③循環器関連診療科の有機的な連携によるチーム医療の推進</p> <p>④ハイブリッド手術室の使用による経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)、ステントグラフト内挿術、経皮的僧帽弁接合不全修復術(Mitra Clip)等の低侵襲かつ高度な手術の実施</p>	26	①冠動脈疾患集中治療室(CCU/ICU)を中心に常時対応できる体制を構築し、高度専門診療を提供する。	<p>CCU/ICUは平成30年9月より14床で運用している。</p> <p>CCU/ICU稼働率 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>113.1</td> <td>119.1</td> <td>100.3</td> <td>88.6</td> <td>95.7</td> <td>88.6</td> </tr> <tr> <td>入室患者数(人)</td> <td>780</td> <td>771</td> <td>866</td> <td>802</td> <td>925</td> <td>413</td> </tr> <tr> <td>1日平均(人)</td> <td>13.6</td> <td>14.3</td> <td>14.0</td> <td>12.4</td> <td>13.4</td> <td>12.4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	稼働率(%)	113.1	119.1	100.3	88.6	95.7	88.6	入室患者数(人)	780	771	866	802	925	413	1日平均(人)	13.6	14.3	14.0	12.4	13.4	12.4	A				<p>ICU/CCUの稼働率及び1日平均入室患者数は、新型コロナウイルス感染症の重症化に伴い、一時的に稼働の制限を行っており、令和3年度を下回る患者数となっている。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、稼働率の向上及び特定集中治療室管理料の算定率向上に努める。</p>	3		○																																																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																									
稼働率(%)	113.1	119.1	100.3	88.6	95.7	88.6																																																																																																																									
入室患者数(人)	780	771	866	802	925	413																																																																																																																									
1日平均(人)	13.6	14.3	14.0	12.4	13.4	12.4																																																																																																																									
			27	②脳卒中発症患者に対する急性期医療の提供体制を整備するとともに、在宅医療への情報提供等、在宅復帰に向けた取り組みを推進する。	<p>脳卒中地域連携クリニカルパス適用患者数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>42</td> <td>62</td> <td>83</td> <td>102</td> <td>92</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>超急性期脳卒中加算 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>27</td> <td>16</td> <td>35</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	算定件数	42	62	83	102	92	30	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	算定件数	27	16	35	28	32	12	A				<p>脳卒中地域連携クリニカルパス適用患者数について、令和4年度は令和3年度実績をやや下回る結果となった。引き続き、地域の医療機関等との連携に伴い、高い稼働率で治療が行われている。</p> <p>また、今後も、MRI、CT、血管造影の3種類のハイブリッド手術室を最大限に活用し、脳卒中発症患者に対して高度な専門的治療を提供する。</p>																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																									
算定件数	42	62	83	102	92	30																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																									
算定件数	27	16	35	28	32	12																																																																																																																									
			28	③生活習慣病を心血管疾患の発症危険因子としてとらえ、循環器内科、神経内科、腎臓内科、心臓血管外科等が有機的に連携して、チーム医療の推進を図る。	<p>糖尿病透析予防指導管理料 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>75</td> <td>145</td> <td>285</td> <td>123</td> <td>67</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎代替療法指導管理料</td> <td>211</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	算定件数	75	145	285	123	67	12	区分	3年度	4年度9月末	腎代替療法指導管理料	211	97	A				<p>糖尿病透析予防指導管理料は糖尿病・内分泌内科外来、そらまめ外来、透析室における指導により算定する。</p> <p>令和4年度の算定件数は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、人員配置の変更、診療報酬改定で新設された腎代替療法指導管理料との対象患者の重複により、令和2年度実績を下回るが、腎代替療法指導管理料の算定件数は97件であり、合算した算定件数は令和3年度を上回っている。</p>																																																																																																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																									
算定件数	75	145	285	123	67	12																																																																																																																									
区分	3年度	4年度9月末																																																																																																																													
腎代替療法指導管理料	211	97																																																																																																																													
	がん患者に対し、地域がん診療連携拠点病院として、最新・最良の診断、ロボット支援手術などの先進的手術及び化学療法、放射線治療を組み合わせた高度な集学的治療や予防医療を提供する体制を整備し、地域との連携を強化する。	<p>○がん疾患患者に対して地域がん診療連携拠点病院(高度型)としての高度な集学的治療を提供する体制の充実及び地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療の提供</p> <p>①先端医療棟の設備・機能を最大限に活用し、手術、放射線治療、化学療法に係るがん診療体制の充実</p> <p>②地域の医療機関等との連携による緩和ケアや終末期ケアの推進</p> <p>③がん相談及び情報提供機能の強化</p> <p>④ロボット支援手術の活用</p>	30	①がん患者が速やかに検査や治療を受けられる体制を構築し、手術件数の増加に努める。	<p>ハイブリッド手術室稼働状況 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイブリッド手術室使用件数</td> <td>479</td> <td>706</td> <td>496</td> <td>494</td> <td>512</td> <td>255</td> <td>400以上</td> </tr> <tr> <td>TAVI実施件数 等上記の内数</td> <td>67</td> <td>74</td> <td>67</td> <td>65</td> <td>105</td> <td>48</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ステントグラフト挿入等上記の内数</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>125</td> <td>76</td> <td>99</td> <td>60</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Mitra Clip件数 等上記の内数</td> <td>-</td> <td>12</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI</td> <td>447</td> <td>450</td> <td>368</td> <td>363</td> <td>349</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>アブレーション</td> <td>256</td> <td>253</td> <td>284</td> <td>267</td> <td>305</td> <td>132</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	ハイブリッド手術室使用件数	479	706	496	494	512	255	400以上	TAVI実施件数 等上記の内数	67	74	67	65	105	48	-	ステントグラフト挿入等上記の内数	91	91	125	76	99	60	-	Mitra Clip件数 等上記の内数	-	12	24	14	21	1	-	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	PCI	447	450	368	363	349	176	アブレーション	256	253	284	267	305	132	A				<p>MRIハイブリッド手術室は、手術室にMRI検査室を併設しており、主に脳神経外科の脳腫瘍切除術に使用される。CTハイブリッド手術室は、手術室にCT検査装置を併設しており、主に脳神経外科の脳血管障害や脳腫瘍の手術に使用される。血管造影ハイブリッド手術室は、手術室にX線血管造影装置を併設しており、主に心臓血管外科、循環器内科のTAVI、ステントグラフト内挿術、Mitra Clip等の手術に使用される。</p> <p>ハイブリッド手術室の稼働状況は、毎年下半期における循環器疾患及び脳疾患患者数の増加に比例して稼働率が上昇する傾向である。</p> <p>令和4年度の稼働状況については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、TAVI、ステントグラフト挿入術、MitraClipの実施件数は令和3年度実績と同程度を維持している。</p>	3	1	○																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																								
ハイブリッド手術室使用件数	479	706	496	494	512	255	400以上																																																																																																																								
TAVI実施件数 等上記の内数	67	74	67	65	105	48	-																																																																																																																								
ステントグラフト挿入等上記の内数	91	91	125	76	99	60	-																																																																																																																								
Mitra Clip件数 等上記の内数	-	12	24	14	21	1	-																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																									
PCI	447	450	368	363	349	176																																																																																																																									
アブレーション	256	253	284	267	305	132																																																																																																																									
				④がん患者が速やかに検査や治療を受けられる体制を構築し、手術件数の増加に努める。	<p>がん手術件数 (単位:件、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>183</td> <td>340</td> <td>366</td> <td>351</td> <td>351</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>287</td> <td>687</td> <td>696</td> <td>759</td> <td>776</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>115</td> <td>366</td> <td>260</td> <td>328</td> <td>255</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>胆がん</td> <td>149</td> <td>134</td> <td>104</td> <td>213</td> <td>180</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>352</td> <td>449</td> <td>511</td> <td>440</td> <td>454</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,240</td> <td>1,241</td> <td>1,259</td> <td>1,255</td> <td>1,530</td> <td>638</td> </tr> <tr> <td>がん手術合計</td> <td>2,276</td> <td>3,217</td> <td>3,576</td> <td>3,446</td> <td>3,646</td> <td>1,630</td> </tr> <tr> <td>手術全体</td> <td>8,498</td> <td>8,651</td> <td>8,225</td> <td>8,513</td> <td>8,708</td> <td>4,139</td> </tr> <tr> <td>がん手術割合</td> <td>27.1</td> <td>37.2</td> <td>43.4</td> <td>40.5</td> <td>41.9</td> <td>39.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度より放射線治療管理料算定件数とする。</p> <p>内規検査・処置 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>1.内規検査</th> <th>2.内規処置</th> <th>3.検査</th> <th>4.処置</th> <th>5.その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>10,489</td> <td>2,812</td> <td>445</td> <td>390</td> <td>50</td> <td>14,186</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>9,817</td> <td>2,774</td> <td>404</td> <td>291</td> <td>38</td> <td>13,324</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>10,540</td> <td>2,742</td> <td>420</td> <td>350</td> <td>54</td> <td>14,116</td> </tr> </tbody> </table> <p>放射線治療 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>15,795</td> <td>15,772</td> <td>1,100</td> <td>1,104</td> <td>1,257</td> <td>556</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	胃がん	183	340	366	351	351	260	大腸がん	287	687	696	759	776	334	肝がん	115	366	260	328	255	120	胆がん	149	134	104	213	180	70	乳がん	352	449	511	440	454	199	その他	1,240	1,241	1,259	1,255	1,530	638	がん手術合計	2,276	3,217	3,576	3,446	3,646	1,630	手術全体	8,498	8,651	8,225	8,513	8,708	4,139	がん手術割合	27.1	37.2	43.4	40.5	41.9	39.4	年度	1.内規検査	2.内規処置	3.検査	4.処置	5.その他	合計	元年度	10,489	2,812	445	390	50	14,186	令和3年度	9,817	2,774	404	291	38	13,324	令和4年度	10,540	2,742	420	350	54	14,116	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	15,795	15,772	1,100	1,104	1,257	556	1,000	A				<p>がん手術件数については、他施設での対応が困難な難症例の受入もっており、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けやや減少している。</p> <p>放射線治療件数については、リニアックを3台体制による高度変調放射線治療(IMRT)を始めとする高精度な治療を実施しているものの、令和4年度は令和3年度実績と同程度を維持し、目標値については達成可能となる見込みである。</p>	4	1	○
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																									
胃がん	183	340	366	351	351	260																																																																																																																									
大腸がん	287	687	696	759	776	334																																																																																																																									
肝がん	115	366	260	328	255	120																																																																																																																									
胆がん	149	134	104	213	180	70																																																																																																																									
乳がん	352	449	511	440	454	199																																																																																																																									
その他	1,240	1,241	1,259	1,255	1,530	638																																																																																																																									
がん手術合計	2,276	3,217	3,576	3,446	3,646	1,630																																																																																																																									
手術全体	8,498	8,651	8,225	8,513	8,708	4,139																																																																																																																									
がん手術割合	27.1	37.2	43.4	40.5	41.9	39.4																																																																																																																									
年度	1.内規検査	2.内規処置	3.検査	4.処置	5.その他	合計																																																																																																																									
元年度	10,489	2,812	445	390	50	14,186																																																																																																																									
令和3年度	9,817	2,774	404	291	38	13,324																																																																																																																									
令和4年度	10,540	2,742	420	350	54	14,116																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																								
件数	15,795	15,772	1,100	1,104	1,257	556	1,000																																																																																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																														
			31	①外来化学療法センターの環境整備を行い、化学療法の充実を図る。	<p>外来化学療法加算 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>11,680</td> <td>12,159</td> <td>12,707</td> <td>12,660</td> <td>12,812</td> <td>6,826</td> <td>12,000以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	11,680	12,159	12,707	12,660	12,812	6,826	12,000以上	S		4	1	☆																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																	
件数	11,680	12,159	12,707	12,660	12,812	6,826	12,000以上																																																																	
			32	②地域の医療機関等と連携し、緩和ケアや終末期ケアを推進する。	<p>緩和ケアチーム介入症例数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>389</td> <td>418</td> <td>527</td> <td>482</td> <td>548</td> <td>211</td> </tr> </tbody> </table> <p>緩和ケア診療加算算定件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>—</td> <td>812</td> <td>5249</td> <td>4,417</td> <td>5,308</td> <td>2,494</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	症例数	389	418	527	482	548	211	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	—	812	5249	4,417	5,308	2,494	A																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																		
症例数	389	418	527	482	548	211																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																		
件数	—	812	5249	4,417	5,308	2,494																																																																		
			33	③がん相談支援センターの機能を増強し、がんに関する相談支援、情報の提供に努める。	<p>がん相談件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談</td> <td>5,896</td> <td>4,374</td> <td>4,742</td> <td>4,458</td> <td>3,493</td> <td>1,318</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	がん相談	5,896	4,374	4,742	4,458	3,493	1,318	A																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																		
がん相談	5,896	4,374	4,742	4,458	3,493	1,318																																																																		
			34	④手術支援ロボットを増設するなど、高度・先進医療に対応できる手術体制の充実を図り、質の高い医療の提供を行う。	<p>ダ・ヴィンチ使用手術件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>122</td> <td>112</td> <td>104</td> <td>135</td> <td>132</td> <td>61</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>婦人科</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消化器外科</td> <td>30</td> <td>83</td> <td>70</td> <td>82</td> <td>92</td> <td>68</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>156</td> <td>213</td> <td>199</td> <td>243</td> <td>261</td> <td>144</td> <td>230以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ダ・ヴィンチ使用術者数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>23</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	泌尿器科	122	112	104	135	132	61	—	婦人科	4	18	25	23	25	9	—	消化器外科	30	83	70	82	92	68	—	心臓血管外科	—	—	—	3	12	6	—	計	156	213	199	243	261	144	230以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	人数	7	11	12	16	23	18	S		4	1	☆
診療科	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																	
泌尿器科	122	112	104	135	132	61	—																																																																	
婦人科	4	18	25	23	25	9	—																																																																	
消化器外科	30	83	70	82	92	68	—																																																																	
心臓血管外科	—	—	—	3	12	6	—																																																																	
計	156	213	199	243	261	144	230以上																																																																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																		
人数	7	11	12	16	23	18																																																																		
			No.20	・認知症や精神科患者の身体合併症などに対応できる体制を整備する。	○認知症や精神科患者の身体合併症などに対応できる体制の整備 ①認知症や精神科患者の身体合併症に対応する施設整備(精神科身体合併症病棟)など医療提供体制の充実																																																																			
			35		○認知症や精神科患者の身体合併症などに対応できる体制の整備 ①認知症や精神科患者の身体合併症に対応する施設整備(精神科身体合併症病棟)など医療提供体制の充実																																																																			
				・先端医学棟に整備した各種ハイブリッド手術室や放射線治療室の運用により、適切な治療を提供していく。	○先端医学棟に整備した各種ハイブリッド手術室や放射線治療室の運用による適切な治療の提供 ①ハイブリッド手術室を活用した高度専門医療の推進 ②高度放射線治療の推進																																																																			
			36		先端医学棟の設備・機器を最大限に活用する ①No.29 ②No.30																																																																			
				・高度救命救急センターとして一層の充実を図り、広範囲熱傷等の特殊疾病患者に対応していく。	○重篤な救急患者に対応する高度救命救急センターの運営 ①高度救命救急センター運営に必要な専門スタッフの確保・育成 ②集中治療専門医の確保 ③救急搬送患者の受入体制の充実																																																																			
			37		①②医師の増員を図るとともに、働きやすさに配慮した変則勤務が可能な体制を維持する。																																																																			
					医師の変則勤務試行状況 (単位: %)																																																																			
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当者(人)</td> <td>1,722</td> <td>1,717</td> <td>1,784</td> <td>1,893</td> <td>1,838</td> <td>1,902</td> </tr> <tr> <td>利用者(人)</td> <td>889</td> <td>966</td> <td>1,047</td> <td>1,224</td> <td>1,139</td> <td>1,266</td> </tr> <tr> <td>利用率(%)</td> <td>51.6</td> <td>56.3</td> <td>58.7</td> <td>64.7</td> <td>61.9</td> <td>66.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※該当者: 変則勤務を行うことが可能な延べ医師数 ※利用者: 変則勤務を行った延べ医師数</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	該当者(人)	1,722	1,717	1,784	1,893	1,838	1,902	利用者(人)	889	966	1,047	1,224	1,139	1,266	利用率(%)	51.6	56.3	58.7	64.7	61.9	66.6	A		5	1	○																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																		
該当者(人)	1,722	1,717	1,784	1,893	1,838	1,902																																																																		
利用者(人)	889	966	1,047	1,224	1,139	1,266																																																																		
利用率(%)	51.6	56.3	58.7	64.7	61.9	66.6																																																																		
					医師の変則勤務試行状況 (単位: %)																																																																			
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当者(人)</td> <td>1,722</td> <td>1,717</td> <td>1,784</td> <td>1,893</td> <td>1,838</td> <td>1,902</td> </tr> <tr> <td>利用者(人)</td> <td>889</td> <td>966</td> <td>1,047</td> <td>1,224</td> <td>1,139</td> <td>1,266</td> </tr> <tr> <td>利用率(%)</td> <td>51.6</td> <td>56.3</td> <td>58.7</td> <td>64.7</td> <td>61.9</td> <td>66.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※該当者: 変則勤務を行うことが可能な延べ医師数 ※利用者: 変則勤務を行った延べ医師数</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	該当者(人)	1,722	1,717	1,784	1,893	1,838	1,902	利用者(人)	889	966	1,047	1,224	1,139	1,266	利用率(%)	51.6	56.3	58.7	64.7	61.9	66.6	A		6		○																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																		
該当者(人)	1,722	1,717	1,784	1,893	1,838	1,902																																																																		
利用者(人)	889	966	1,047	1,224	1,139	1,266																																																																		
利用率(%)	51.6	56.3	58.7	64.7	61.9	66.6																																																																		

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																									
			38	③救急車の受入を確実にできる診療体制を維持する。 ・ドクターカーの運用に関して、出勤可能な市町の拡大に努める。	救急車受入率 (単位:%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>当番日</td><td>94.6</td><td>97.1</td><td>90.9</td><td>87.7</td><td>94.4</td><td>94.5</td><td></td></tr> <tr><td>全日</td><td>94.9</td><td>97.4</td><td>92.3</td><td>92.5</td><td>94.4</td><td>94.9</td><td></td></tr> </table> 特殊疾病患者受入数 (単位:件) <table border="1"> <tr><th>疾病名</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>真面目傷</td><td>12</td><td>14</td><td>11</td><td>9</td><td>4</td><td>4</td><td></td></tr> <tr><td>重症外傷</td><td>539</td><td>378</td><td>380</td><td>431</td><td>335</td><td>144</td><td></td></tr> <tr><td>急性中風</td><td>18</td><td>30</td><td>46</td><td>26</td><td>39</td><td>35</td><td></td></tr> <tr><td>病院外心停止</td><td>207</td><td>186</td><td>174</td><td>201</td><td>182</td><td>84</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>776</td><td>608</td><td>611</td><td>667</td><td>560</td><td>267</td><td></td></tr> </table> ドクターカー出勤状況 (単位:件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>件数</td><td>10</td><td>12</td><td>12</td><td>8</td><td>11</td><td>3</td><td></td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	当番日	94.6	97.1	90.9	87.7	94.4	94.5		全日	94.9	97.4	92.3	92.5	94.4	94.9		疾病名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	真面目傷	12	14	11	9	4	4		重症外傷	539	378	380	431	335	144		急性中風	18	30	46	26	39	35		病院外心停止	207	186	174	201	182	84		計	776	608	611	667	560	267		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	10	12	12	8	11	3		救急科医師9人体制で稼働 【参考】救急患者数 令3:10,997人、令4:6,607人(9月末) 【参考】救急車受入件数 令3:5,524件、令4:3,472件(9月末)	A	救急科医師数に変化はない。救急当直体制の見直しを行っているが、現在も医師数が充足しているとは言えない状況である。 令和4年度の救急患者数及び救急車受入件数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、令和3年度実績を上回ると見込まれる。特殊疾患患者も積極的に受け入れ、高度救命救急センターとしての機能を果たしている。ドクターカーは事故による重症外傷や胸痛等の循環器疾患が疑われる病態に対して出勤している。令和4年度の出動件数は、令和3年度実績を下回る見込みである。	6		○
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																												
当番日	94.6	97.1	90.9	87.7	94.4	94.5																																																																																													
全日	94.9	97.4	92.3	92.5	94.4	94.9																																																																																													
疾病名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																												
真面目傷	12	14	11	9	4	4																																																																																													
重症外傷	539	378	380	431	335	144																																																																																													
急性中風	18	30	46	26	39	35																																																																																													
病院外心停止	207	186	174	201	182	84																																																																																													
計	776	608	611	667	560	267																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																												
件数	10	12	12	8	11	3																																																																																													
			39	①No.36 ②効率的な病院運営を行い、高い病床稼働率を維持する ③No.8	病床稼働率 (単位:%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>一般病床</td><td>93.5</td><td>93.9</td><td>91.1</td><td>84.8</td><td>88.2</td><td>82.2</td><td>90以上</td></tr> <tr><td>全体</td><td>89.5</td><td>89.8</td><td>86.6</td><td>80.7</td><td>83.7</td><td>77.4</td><td>-</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	一般病床	93.5	93.9	91.1	84.8	88.2	82.2	90以上	全体	89.5	89.8	86.6	80.7	83.7	77.4	-	令和4年度も、一般病床の一部を新型コロナウイルス感染症専門病床・VRE専門病床として運用しており、一般病床稼働率は目標値90%を下回った。新型コロナウイルス・VRE感染患者が一時的に激増し、今年度の稼働率は過去最低となったが、重症感染患者を多く受け入れており、地域医療に大きく貢献した。	B	令和4年度も、一般病床の一部を新型コロナウイルス感染症専門病床・VRE専門病床として運用しており、一般病床稼働率は目標値90%を下回った。新型コロナウイルス・VRE感染患者が一時的に激増し、今年度の稼働率は過去最低となったが、重症感染患者を多く受け入れており、地域医療に大きく貢献した。	3	1	△																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																												
一般病床	93.5	93.9	91.1	84.8	88.2	82.2	90以上																																																																																												
全体	89.5	89.8	86.6	80.7	83.7	77.4	-																																																																																												
			-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																									
	県立こころの医療センター	県立こころの医療センター診療事業 県内精神医療の中核病院として、総合的・専門的な精神科医療を提供するとともに、精神科救急・急性期医療や、他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図る。県民に提供する医療 <業務予定量> 病床数 280床 精神病床 280床 外来患者 39,975人 入院患者 54,546人	40	-	入院・外来患者数 (単位:人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>55,144</td><td>57,217</td><td>54,037</td><td>53,246</td><td>49,296</td><td>24,689</td><td>54,546</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>41,140</td><td>42,454</td><td>39,647</td><td>37,285</td><td>36,692</td><td>18,337</td><td>39,975</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	入院患者数	55,144	57,217	54,037	53,246	49,296	24,689	54,546	外来患者数	41,140	42,454	39,647	37,285	36,692	18,337	39,975	新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の発生による感染拡大の中で院内へのウイルスの持ち込みに十分注意しながら診療を実施していること、及び他の病院での受診が困難な患者を当院で受け入れるケースが増加したことにより、運用可能な個室病床が減少し、特に4床室の利用が難しい対応困難な患者の受入調整が難しいこともあって、入院患者数は前年度より伸び悩んでいる。外来患者数は、引き続きデイケア活動が制限されていることもあって、同様に伸び悩んでいる。 7月以降は徐々に増加傾向にあるので、引き続き、感染症対策を講じながら、他の医療機関では対応困難な重症患者などを積極的に受け入れ、県内精神医療の中核病院としての役割を果たしていく。	B	県内全域の精神科医療ニーズに適切に対応しているが、新型コロナウイルス感染症患者受入のための病床確保や、デイケアの受入制限等の影響により、入院・外来患者数は目標値を下回る見込みである。 ・特にデイケアについては、新型コロナウイルス感染症対策として、昼食を跨がないショートケアのみ、かつ、最大10人までの人数制限で行っていたため、外来患者数減の要因となっている。 ・新型コロナウイルス感染症対策による患者数の減少はやむを得ないが、今後も感染症対策を継続しつつ県内精神医療の中核病院として、総合的・専門的な精神科医療、精神科救急医療、司法精神医療を提供していくことを期待する。	7	1	○																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																												
入院患者数	55,144	57,217	54,037	53,246	49,296	24,689	54,546																																																																																												
外来患者数	41,140	42,454	39,647	37,285	36,692	18,337	39,975																																																																																												
		・常時精神科救急医療相談に応じ、患者の支援体制の充実を図る。 ・救急患者を受け入れ、新たな入院患者が早期に退院し社会復帰できるよう支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の充実を図る。	41	①②24時間体制で精神科救急医療相談に応じ患者を受け入れるとともに、新たな入院患者が90日以内に退院し社会復帰できるよう支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備を図る。	平成15年4月より、県の委託事業として県内全域を対象とする「精神科救急ダイヤル」を敷設し、24時間体制で救急医療相談に対応している。年4回発行し、関係機関、公的機関及び就労支援施設等に配布する当センター広報誌「ぬくもり」や、当センターホームページへ「精神科救急ダイヤル」に関する情報を登録し、周知を図っている。 精神科救急ダイヤル件数 (単位:件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>急相談件数</td><td>3,020</td><td>2,718</td><td>3,957</td><td>3,649</td><td>1,857</td><td>1,133</td><td></td></tr> <tr><td>うち時間外</td><td>2,365</td><td>1,482</td><td>2,153</td><td>2,678</td><td>1,288</td><td>786</td><td></td></tr> </table> 時間外における救急診療件数 (単位:件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>件数</td><td>270</td><td>331</td><td>390</td><td>335</td><td>313</td><td>127</td><td>300以上</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	急相談件数	3,020	2,718	3,957	3,649	1,857	1,133		うち時間外	2,365	1,482	2,153	2,678	1,288	786		区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	件数	270	331	390	335	313	127	300以上	24時間365日対応可能な相談・診療体制を整え、県との委託契約により全県の精神科救急の窓口となる「精神科救急ダイヤル」を運営している。幅広く相談に対応しており、令和4年度の救急ダイヤルの相談件数は前年度を上回るペースとなっている。 引き続きダイヤルの周知・普及に努め、必要時に必要な相談を受け、必要な診療を実施出来る体制の維持とダイヤルの周知に努めている。	A	24時間365日対応可能な相談・診療体制を整え、県との委託契約により全県の精神科救急の窓口となる「精神科救急ダイヤル」を運営している。幅広く相談に対応しており、令和4年度の救急ダイヤルの相談件数は前年度を上回るペースとなっている。 引き続きダイヤルの周知・普及に努め、必要時に必要な相談を受け、必要な診療を実施出来る体制の維持とダイヤルの周知に努めている。	7	1	○																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																												
急相談件数	3,020	2,718	3,957	3,649	1,857	1,133																																																																																													
うち時間外	2,365	1,482	2,153	2,678	1,288	786																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																												
件数	270	331	390	335	313	127	300以上																																																																																												
		①新たな入院患者が90日以内に退院できるよう促進し、精神科救急入院料の施設基準を維持する。	42	早期治療、早期退院の実践により、救急病床(南2・北2)における「新規患者率」、「新規患者3ヶ月以内在宅移行率」はそれぞれの施設基準を満たしている。 新規患者率 (単位:%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>施設基準</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>救急南2</td><td>40%以上</td><td>72.6</td><td>71.3</td><td>73.4</td><td>61.7</td><td>68.7</td><td>74.2</td></tr> <tr><td>救急北2</td><td>40%以上</td><td>74.7</td><td>72.4</td><td>64.8</td><td>60.8</td><td>67.4</td><td>67.6</td></tr> </table> 新規患者3ヶ月以内在宅移行率 (単位:%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>施設基準</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>救急南2</td><td>60%以上</td><td>72.9</td><td>73.0</td><td>78.7</td><td>89.4</td><td>82.9</td><td>91.5</td></tr> <tr><td>救急北2</td><td>60%以上</td><td>87.4</td><td>85.4</td><td>79.7</td><td>86.7</td><td>86.3</td><td>77.1</td></tr> </table>	区分	施設基準	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	救急南2	40%以上	72.6	71.3	73.4	61.7	68.7	74.2	救急北2	40%以上	74.7	72.4	64.8	60.8	67.4	67.6	区分	施設基準	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	救急南2	60%以上	72.9	73.0	78.7	89.4	82.9	91.5	救急北2	60%以上	87.4	85.4	79.7	86.7	86.3	77.1	令和4年度の新規患者率は前年度を上回るペースとなっており、新規患者3か月以内在宅移行率も基準を満たしている。救急病床や急性期治療病床の役割を適切に果たすとともに、精神科救急入院料の施設基準を維持することができている。	A	令和4年度の新規患者率は前年度を上回るペースとなっており、新規患者3か月以内在宅移行率も基準を満たしている。救急病床や急性期治療病床の役割を適切に果たすとともに、精神科救急入院料の施設基準を維持することができている。																																												
区分	施設基準	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																												
救急南2	40%以上	72.6	71.3	73.4	61.7	68.7	74.2																																																																																												
救急北2	40%以上	74.7	72.4	64.8	60.8	67.4	67.6																																																																																												
区分	施設基準	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																												
救急南2	60%以上	72.9	73.0	78.7	89.4	82.9	91.5																																																																																												
救急北2	60%以上	87.4	85.4	79.7	86.7	86.3	77.1																																																																																												
		・他の医療機関では対応困難な精神疾患患者への先進的治療に積極的に取り組む。	43	①薬物療法による治療効果が低い重症患者に対する治療法として、m-ECT(修正型電気けいれん療法)を積極的に実施する。 高度・専門医療の積極的な実施	m-ECTの治療を令和4年度も継続して積極的に実施している。 m-ECT実施件数 (単位:人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>延件数(件)</td><td>693</td><td>832</td><td>870</td><td>737</td><td>827</td><td>334</td><td>700以上</td></tr> <tr><td>実患者数</td><td>60</td><td>66</td><td>70</td><td>59</td><td>56</td><td>29</td><td>-</td></tr> <tr><td>中部地区</td><td>54</td><td>58</td><td>62</td><td>55</td><td>53</td><td>27</td><td>-</td></tr> <tr><td>(静岡市)</td><td>40</td><td>43</td><td>50</td><td>45</td><td>43</td><td>23</td><td>-</td></tr> <tr><td>東部地区</td><td>3</td><td>3</td><td>5</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td><td>-</td></tr> <tr><td>西部地区</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>-</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>-</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	延件数(件)	693	832	870	737	827	334	700以上	実患者数	60	66	70	59	56	29	-	中部地区	54	58	62	55	53	27	-	(静岡市)	40	43	50	45	43	23	-	東部地区	3	3	5	3	1	1	-	西部地区	3	4	2	1	2	1	-	その他	0	1	1	0	0	0	-	m-ECT治療については、令和4年度は9月末現在で334件の治療を実施している。	A	m-ECT治療については、令和4年度は9月末現在で334件の治療を実施している。	7	1	○																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																												
延件数(件)	693	832	870	737	827	334	700以上																																																																																												
実患者数	60	66	70	59	56	29	-																																																																																												
中部地区	54	58	62	55	53	27	-																																																																																												
(静岡市)	40	43	50	45	43	23	-																																																																																												
東部地区	3	3	5	3	1	1	-																																																																																												
西部地区	3	4	2	1	2	1	-																																																																																												
その他	0	1	1	0	0	0	-																																																																																												

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価
			44	①先端薬物療法(クロザピンなど)を積極的に実施する。	平成23年度に作成したクリニカルパスに基づき治療を開始し、令和4年9月末現在65名に対して継続投与中である。 クロザピンによる治療体制が整い、平成22年4月27日、クロザリン適正使用委員会において、C PMS (クロザリン患者モニタリングサービス) 登録機関として承認された。 静岡県内では、浜松医科大学医学部付属病院、聖隷三方原病院に次いで3番目の登録である。	令和4年度の投与患者数は77人となり、年度目標を大きく上回っている。 また、実施にあたっては、院内で患者の副作用のモニタリングを行い薬品の適正使用に取組み、治療効果と安全性の向上に努めている。 診療に当たることの出来る医療機関は、精神科病棟を有する病院の血液内科の医師という条件を満たす必要があり、現在は静岡市立病院との提携のみとなっているが今後県立総合病院において精神科病棟が設置された後には、血液内科との連携も検討していく。	7	1	○	
			45	①心理・社会的治療についての取組を積極的に実施する。	平成22年度から取組を始めた認知行動療法プロジェクトを、心理・社会的治療プロジェクトに発展し、認知行動療法に加え、新たに心理教育・家族教室への取り組みを実施している。また、心理教育に関する院内外研修会を開催し、スタッフのレベルアップに努めている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴って外部活動が縮小となり、研修参加者数はほぼ前年並となった。 効果的な研修の実施に努め、高度医療への積極的な取組の実施に対する意識の高揚に努めている。				
			46	①在宅医療支援部を中心とした包括的在宅ケア(ACT)チームによる退院支援と手厚い24時間365日サポート体制による退院後の地域生活を支援する。	平成21年度に作成したガイドラインに沿って、ACTによる支援を実施している。平成22年2月の支援開始以来延べ27名の支援活動を実施している。令和4年度9月末現在で、入院患者1名及び外来患者3名の支援を継続している。	令和4年度9月末現在で、入院患者1名及び外来患者3名の外来患者に対して実施している。 今後の感染状況を踏まえつつ、患者の地域への移行を進めていく必要がある。	8		○	
			47	①医療観察法による入院処遇対象者を受け入れ、指定医療機関としての機能を最大限に発揮する。	令和4年度は、精神保健福祉法上の病床を医療観察法上の病床に一時転用する特定病床への受入患者を含め、2名の退院、2名の新規入院があり、100%を超える稼働率となっている。	令和4年度は、特定病床による患者の受入れが年間を通じて続いており、使用病床は12床から14床で推移している。	9		○	
			48	①総合病院における身体合併症患者への精神科医療の提供体制を整備する。	令和2年4月より総合病院へ精神科医師1名を追加配置し、医師2名の体制とし、身体合併症の精神科リエン機能を強化するとともに、病棟整備に向けた検討会に参画している。 令和4年度は、「県立病院機構精神科あり方ワーキンググループ」を開催し、県立3病院の精神科医療のあり方を検討している。	令和2年4月以降、総合病院の精神科医が2名体制となり、身体合併症の精神科リエン機能がより強化された。 令和4年度は、「県立病院機構精神科あり方ワーキンググループ」を開催し、県立3病院の精神科医療のあり方を検討し、時代のニーズに応じた医療提供体制の整備に取り組んで行く。	16		○	
			49	①No.48 ②No.44 ③常時、救急患者を受け入れる体制の維持と、多職種連携による早期退院促進による効率的な病院運営に努める。	病床稼働率 (単位:%)	新型コロナウイルス感染症の新たな変異株の発生による感染拡大の中で院内へのウイルスの持ち込みに十分注意しながら診療を実施していること、及び他の病院での受診が困難な患者を当院で受け入れるケースが増加したことにより、運用可能な個室病床が減少し、特に4床室の利用が難しい対応困難な患者の受入調整が難しいこともあって、入院患者数は前年度より伸び悩んでいる。	7	1	△	
			50	①No.8	入院・外来患者数 (単位:人)	令和4年度の入院患者数は、目標値には届かない見込みだが、徐々に回復しており、令和3年度実績は上回る見込みである。一方で、外来患者数は過去実績を大きく上回った前年度と同水準で推移しており、目標を上回る見込みである。	10	1	○	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価
	・小児重症心疾患患者に対してハイブリッド手術室等の先進設備を活用し、常時高度な先進的治療を提供する。小児心疾患治療の先進的施設として専門医等の育成に努める。	○小児重症心疾患患者に対し、常時高度な専門的治療を提供する体制の充実及び小児心疾患治療の先進的施設としての専門医等の育成 ①小児重症心疾患患者へ常時対応による専門的治療の提供体制の充実 ②小児循環器疾患治療スタッフに対する教育体制の充実や小児集中治療室(PICU)及び新生児集中治療室(NICU)及び循環器集中治療室(CCU)の相互研修の実施を通じた治療レベルの向上による循環器センターの機能を強化 ③小児用補助人工心臓装置の活用 ④心エコー画像のリアルタイム遠隔診断の実施 ⑤血管造影装置の2台化による循環器治療の提供体制の充実検討	51	①心臓血管外科、循環器科の連携による専門治療と、術後の集中治療を行うCCUを加えた循環器センターの体制を維持・充実させる。 ②新生児科(NICU)・小児集中治療科(PICU)と共同でカンファレンスを実施し、より研修効果をあげ、治療レベルの向上を図る。 ③補助人工心臓装置の活用を図る。 ④心エコー画像の遠隔診断を継続実施する。 ⑤カテーテル室の2室化工事の実施。	平成28年に循環器病棟に設置した準重症患者対応病室は、順調に運用されている。今後も効果的な運用を継続していく。 心臓カテーテル治療実績 (単位: 件) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 4目標 実施件数 200 179 206 192 204 96 200以上 ハイブリッド手術実績 (単位: 件) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 件数 6 8 5 8 6 1 CCU稼働率 (単位: 人、%) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院延患者数 2,939 3,063 3,176 3,021 3,011 1,981 病床稼働率 80.5 83.9 86.8 82.8 71.7 90.2 循環器センターにおける研修医の人数 (単位: 人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 人数 6 5 9 7 9 8 小児用補助人工心臓装置の使用状況 (単位: 件) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 件数 1 1 0 0 0 0 心エコー画像遠隔診断実績 (単位: 件) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 症例数 1 3 3 0 2 3	A	・小児重症心疾患患者に対して、専門治療や術後の集中管理により、24時間を通して高度な先進的医療を提供するとともに、専門医育成を図っている。 ・スタッフ教育に関しては、循環器センター所属医師による合同カンファレンスや勉強会等の開催、循環器科・心臓血管外科・循環器集中治療科をローテートする「循環器センター総合研修医」の育成など、高度な循環器疾患医療の専門医を育成している。 ・CCUでは、重症患者が多く在院日数の長期化により、特定入院科(特定集中治療室加算)の非算定患者が多くなってしまふ課題があった。 ・令和3年6月からPICUとCCUを統合しており、患者の一元管理による治療の効率化が期待される。 ・令和4年度の心臓カテーテル治療実績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、目標値と同水準となる見込みである。 ・ハイブリッド手術実績の件数自体は多くないが、小児医療領域では適用患者が限られている上、カテーテル治療や検査を安全に実施することを主な目的として設置された経緯もあり、有効に活用されている。	10	1	○
	・地域との医療機関と連携して、ハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの構築に努めるほか、新生児に対して、高度な先進的治療を提供するための体制を拡充する。	○地域との医療機関と連携したハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの維持・充実と新生児に対しての高度な専門的治療を提供する体制の拡充 ①先天異常の出生前超音波診断や、出生後の管理・処置のための機器整備 ②新生児集中治療室(NICU)における低侵襲手術の実施	52	①最新式の超音波診断装置を導入する。 ②必要に応じてNICU内での手術を継続実施する。	産科入院患者数 (単位: 人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院患者数 6,395 5,890 5,810 4,461 4,823 2,003 周産期医療に係る地域医療機関向け研修会等開催実績 (単位: 回、人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 研修会等回数 9 8 9 8 2 0 参加者数 439 373 377 255 155 0 NICU診療実績 (単位: 人、%) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院延患者数 6,311 5,519 5,250 5,029 5,094 2,541 病床稼働率 96.1 84.0 79.7 76.5 77.5 77.1 GCU診療実績 (単位: 人、%) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院延患者数 4,536 4,646 4,723 4,685 4,978 2,535 病床稼働率 69 70.7 71.7 71.3 75.8 77 MFICU診療実績 (単位: 人、%) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院延患者数 2,068 1,879 1,907 1,517 1,433 660 病床稼働率 94.4 85.8 86.8 69.3 65.4 60.1 新生児出生体重別入院患者実績 (単位: 人) 体重(g) 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 500未満 3 4 8 4 6 1 500 1,000 28 29 41 19 22 11 1,000 1,500 28 26 25 28 15 12 1,500以上 143 165 139 168 248 105 合計 202 224 213 219 291 129 血液腫瘍科延患者数実績 (単位: 人) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 入院 7,977 8,656 7,849 7,335 4,810 3,147 外来 3,711 3,601 3,713 3,298 3,665 1,749	A	・総合周産期母子医療センターの指定を受け、周産期医療の中核を担っている。 ・令和4年度も他の医療機関では対応が困難な超低出生体重児、極低出生体重児を受け入れながらも、効果的・効率的なベドコントロールに努め、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、高い診療実績を上げている。 ・NICU(新生児集中治療室)の運用にあたっては、重症患者における新生児特定集中治療室管理料の算定期間の超過が課題であったが、転床可能な患者については積極的な転床できるよう、病院全体で取り組んでおり、算定率も改善の方向にある。 ・この課題には、ハイリスク妊婦・胎児を早期に把握し治療を開始できるよう、役割分担や連携体制を常日頃から確保しておくなど、地域との医療機関との連携体制のシステム化も重要となる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、開催回数が減少しているものの、中部地区の参加医師を交えた症例検討会や、看護師・助産師を対象にしたスキルアップレクチャー等を通じて、医療技術向上と連携の強化を図っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、下半期に開催を予定している。	11		○
	・本県における小児がんの拠点機能を有する病院として、高度な集学的治療に積極的に取り組む。	○小児がん拠点病院(厚生労働省指定)として、高度な集学的治療への積極的な取組 ①小児がんの集学的治療推進、セカンドオピニオンの受入れなど、がん診療の機能強化 ②院内がん登録の推進 ③県立静岡がんセンターとの連携強化 ④AYA世代がん診療の連携等を推進 ⑤がん公開講座や研修会(脳腫瘍関連)等の開催	53	小児がん拠点病院として、整備した施設及び体制の活用により、小児がん診療の更なる充実を行う。 ①②静岡県小児がん拠点病院(厚生労働省指定)として血液腫瘍科に対しては、骨髄・末梢血幹細胞・臍帯血移植などの治療法を利用して対応する。 ②③小児がん連携拠点病院の指定を念頭に置き、小児がん診療の更なる充実を図る。 ④AYA世代がん診療の連携等を推進 ⑤がん公開講座や研修会(脳腫瘍関連)等の開催	造血幹細胞移植実績 (単位: 件) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 骨髄移植 2 5 2 8 3 2 臍帯血 1 3 3 2 2 0 自家末梢血 7 4 4 1 1 6 同種末梢血 0 2 1 1 0 0 計 10 14 10 12 6 8 小児がん登録件数 (単位: 件) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 4目標 登録件数 58 47 56 55 53 12 45 がんセンターとの共同カンファレンス回数 (単位: 回) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 回数 2 3 3 7 3 6 AYA世代がん研修会実施回数 (単位: 回) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 回数 1 1 4 2 2 0 がん公開講座件数 (単位: 回) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 件数 - - 1 0 1 0 【参考】北5病棟改修にかかる打ち合わせ回数 (単位: 回) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 回数 - - - - 17 25 令和3年度7月に完成済 研修会(脳腫瘍関係) (単位: 回) 区 分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 開催回数 - - - - 1 0 参加人数 - - - - 64 0	A	・小児がんは、14歳以下の小児に発生する悪性新生物であり、白血病や脳(脊髄)腫瘍が多数を占める。 ・成人がんに多い臓器がんとは異なる疾患構成や、未分化で急速に進行する腫瘍が多いこと、発育途中である故の発症後における合併症等が特徴であり、継続した治療、移行期医療が重要となる。 ・こども病院は、国の指定する小児がん拠点病院として、小児がんに対する集学的な治療を行っている。令和4年度上半期の小児がん登録件数は12件となっているが、年度末時点では例年並みの件数となる見込みである。 ・医療従事者や患者家族等に対してAYA世代がんの治療方法をテーマとした研修会を開催し、AYA世代患者への相談対応の強化に取り組んでいる。 ・研修会や公開講座は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえて開催時期を検討しており、令和4年度は下半期に開催予定である。 ・令和3年度の北5病棟におけるクリーン度アップや学習スペースの整備により、入院患者のオンライン学習の拡充など、小児がん拠点病院として、療養環境の向上に取り組んでいる。 ・また、がんゲノム医療連携病院として、令和4年度も引き続きがん遺伝子パネル検査を実施している。 ・今後も、小児がん拠点病院として、院内がん登録中級認定者資格を有する専任職員の確保に努め、診療体制の整備、地域医療機関との連携、AYA世代の成人移行・長期フォローアップへの対応など、更なる機能強化を図ることが期待される。	12	1	○

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																									
	<p>・重篤な小児救命救急患者を常時受け入れ可能な体制を維持・強化し、救急医療全般にわたって地域の医療機関と連携して受け入れる体制を整備する。</p>	<p>○重篤な小児救命救急患者を常時受け入れ可能な体制を維持・強化し、救急医療全般にわたって地域の医療機関と連携して受け入れる体制を整備する。</p> <p>①院内各専門領域のバックアップによる、小児救命救急センター・小児集中治療センターを中心とした小児救命救急医療全般にわたる受入体制の強化、拡充 ②小児救命救急センターとしてメディカルコントロール体制整備への協力 ③小児救命救急専門スタッフの教育の充実</p>	54	<p>①PICU(小児集中治療センター)・救急総合診療科を中心とした小児救命救急医療体制の強化を図る。</p> <p>①小児救命救急センター・小児集中治療センターを中心とした、365日24時間小児救命救急患者の受け入れ可能な体制を維持、充実させる。</p> <p>③院内の小児救命救急専門スタッフ(医師、看護師)育成に努める。</p>	<p>小児救命救急センターの患者数 (単位:人、%)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>5,409</td><td>5,661</td><td>5,916</td><td>3,619</td><td>4,612</td><td>2,420</td></tr> </table> <p>PICU診療実績 (単位:人、%)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>2,390</td><td>2,539</td><td>2,416</td><td>2,083</td><td>2,949</td><td>1,959</td></tr> <tr><td>病床稼働率</td><td>81.8</td><td>87.0</td><td>82.5</td><td>71.3</td><td>73.4</td><td>84.7</td></tr> </table> <p>ER診療実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>1,299</td><td>1,386</td><td>1,695</td><td>1,254</td><td>1,504</td><td>710</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>4,110</td><td>4,275</td><td>4,221</td><td>2,365</td><td>3,108</td><td>1,710</td></tr> </table> <p>ドクターヘリ搬送実績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>回数</td><td>34</td><td>41</td><td>33</td><td>22</td><td>19</td><td>17</td></tr> </table> <p>ドクターカー出動実績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>回数</td><td>268</td><td>274</td><td>291</td><td>193</td><td>212</td><td>118</td></tr> </table> <p>PICU配置医師・看護師 (年平均:人)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>医師(有期含む)</td><td>11</td><td>8</td><td>9</td><td>8</td><td>10</td><td>13</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>32</td><td>30</td><td>29</td><td>33</td><td>43</td><td>46</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	入院患者数	5,409	5,661	5,916	3,619	4,612	2,420	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	入院患者数	2,390	2,539	2,416	2,083	2,949	1,959	病床稼働率	81.8	87.0	82.5	71.3	73.4	84.7	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	入院患者数	1,299	1,386	1,695	1,254	1,504	710	外来患者数	4,110	4,275	4,221	2,365	3,108	1,710	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	回数	34	41	33	22	19	17	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	回数	268	274	291	193	212	118	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	医師(有期含む)	11	8	9	8	10	13	看護師	32	30	29	33	43	46	<p>小児救命救急センターの指定を受けているPICU(小児集中治療室)と小児救命救急センターを中心に、24時間365日を通して小児救命救急患者を受け入れている。</p> <p>令4年度は、小児救命救急センターの指定を受けているPICUと小児救命救急センター(ER)を中心に、24時間365日を通して、軽症から重症まで小児救命救急患者を多く受け入れた。</p> <p>令4年度のPICU患者数は、令3年6月に実施したICUの統合(PICUとCCUの統合)等により増加しており、前年度実績を上回る見込みである。</p> <p>また、ER患者数も前年度と同水準で推移している。ER開設以降、富士富士宮、志太棟原等の救急患者が増加しており、地域で不足する小児救命救急体制を補完している。</p> <p>PICU病棟の医師確保に努め、専門スタッフを配置し、小児救命救急体制の充実を図っている。</p>	<p>・小児救命救急センターの指定を受けているPICU(小児集中治療室)と小児救命救急センターを中心に、24時間365日を通して小児救命救急患者を受け入れている。</p> <p>・ドクターカー・ドクターヘリの出動・搬送は、交通事故による負傷、病態の急変による搬送などのほか、産科クリニック等で出生した重篤な状況の新生児のことも病院への搬送等での使用が多い。</p> <p>・令3年度のPICUとCCUの統合により、令4年度はPICU診療実績が増加している。</p> <p>・医師の時間外労働規制が導入される令6年度やさらにその先を見据えた救急医療体制の確保に向けて、更なる医療従事者の確保と勤務環境改善のための制度・工夫の充実が求められる。</p>	13		○
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
入院患者数	5,409	5,661	5,916	3,619	4,612	2,420																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
入院患者数	2,390	2,539	2,416	2,083	2,949	1,959																																																																																																													
病床稼働率	81.8	87.0	82.5	71.3	73.4	84.7																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
入院患者数	1,299	1,386	1,695	1,254	1,504	710																																																																																																													
外来患者数	4,110	4,275	4,221	2,365	3,108	1,710																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
回数	34	41	33	22	19	17																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
回数	268	274	291	193	212	118																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
医師(有期含む)	11	8	9	8	10	13																																																																																																													
看護師	32	30	29	33	43	46																																																																																																													
	<p>・重篤な小児救命救急患者を常時受け入れ可能な体制を維持・強化し、救急医療全般にわたって地域の医療機関と連携して受け入れる体制を整備する。</p>	<p>○重篤な小児救命救急患者を常時受け入れ可能な体制を維持・強化し、救急医療全般にわたって地域の医療機関と連携して受け入れる体制を整備する。</p> <p>①院内各専門領域のバックアップによる、小児救命救急センター・小児集中治療センターを中心とした小児救命救急医療全般にわたる受入体制の強化、拡充 ②小児救命救急センターとしてメディカルコントロール体制整備への協力 ③小児救命救急専門スタッフの教育の充実</p>	54	<p>②地域の医療・消防機関で構成されるメディカルコントロール協議会に参加するとともに、PICUの主催により、救急医療・救急(消防)業務従事者向けの研究会、実習講習を行う。</p>	<p>各地域の医療機関、消防機関が参加するメディカルコントロール協議会に参加しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。</p> <p>救急関係研修会等開催実績 (人)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>対象</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>小児救命救急研究会</td><td>救急医療従事者</td><td>135</td><td>161</td><td>86</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>救急救命士再教育病院実習</td><td>救急救命士</td><td>10</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	区分	対象	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	小児救命救急研究会	救急医療従事者	135	161	86	0	0	0	救急救命士再教育病院実習	救急救命士	10	6	0	0	0	0	<p>例年、救急隊員を対象とした研修会等を定期的に行っているが、県下の小児救命救急医療の質の向上を図っているものの、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていない。</p> <p>重篤な小児患者の受け入れ等救急体制については、継続的に体制の整備を図っていく。</p>	<p>・メディカルコントロール協議会は、救急現場から医療機関等へ搬送されるまでの間に救急隊員が行う応急処置等の質を確保するため、医学的見地から助言・指導・事後検証・再教育等の充実を図る体制である。</p> <p>・例年は地域のメディカルコントロール協議会に参加し、その開催要請等に促され、小児・救急医療関係者を対象とした研修を定期的に開催して関係者のスキルアップに貢献している。</p> <p>・令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により開催要請等がなく、小児救命救急研究会・救急救命士再教育病院実習ともに実施することができなかった。</p> <p>・本研修の実施見送りはやむを得ないものであり、中期目標で示した「高度な救急医療の充実」に向けて、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた今後の活動を期待する。</p>																																																																																				
区分	対象	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																												
小児救命救急研究会	救急医療従事者	135	161	86	0	0	0																																																																																																												
救急救命士再教育病院実習	救急救命士	10	6	0	0	0	0																																																																																																												
	<p>・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。</p>	<p>○子どものこころの診療分野について、総合病院、こころの医療センターとの連携を図り、県内の児童精神医療に貢献</p> <p>①子どもの精神科専門病棟を有するこども病院として、成人移行を見据え、総合病院、こころの医療センターとの連携体制強化 ②「子どもの心の診療ネットワーク事業」の拠点病院として、教育・福祉・医療機関の連携ネットワークの更なる拡大、充実 ③臨床研修の充実による児童精神科医の継続的育成</p>	56	<p>①児童精神科医療について、県立病院機構精神科あり方検討を踏まえ、総合病院、こころの医療センターなどと連携し、体制の見直し・充実を図る。</p>	<p>こころの診療科診療実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>10,864</td><td>10,011</td><td>9,445</td><td>7,890</td><td>10,353</td><td>5,642</td></tr> <tr><td>入院新患者数</td><td>58</td><td>57</td><td>50</td><td>63</td><td>71</td><td>34</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>12,607</td><td>12,376</td><td>11,604</td><td>11,416</td><td>13,211</td><td>6,186</td></tr> <tr><td>外来初診患者数</td><td>602</td><td>466</td><td>514</td><td>579</td><td>617</td><td>294</td></tr> </table> <p>こころの診療科地域別患者数実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>東部</td><td>766</td><td>779</td><td>759</td><td>744</td><td>829</td><td>646</td></tr> <tr><td>中部</td><td>1,157</td><td>1,190</td><td>1,227</td><td>1,329</td><td>1,423</td><td>1,174</td></tr> <tr><td>西部</td><td>59</td><td>56</td><td>59</td><td>56</td><td>53</td><td>39</td></tr> <tr><td>県外</td><td>15</td><td>10</td><td>14</td><td>13</td><td>13</td><td>8</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,997</td><td>2,035</td><td>2,059</td><td>2,142</td><td>2,318</td><td>1,867</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	入院患者数	10,864	10,011	9,445	7,890	10,353	5,642	入院新患者数	58	57	50	63	71	34	外来患者数	12,607	12,376	11,604	11,416	13,211	6,186	外来初診患者数	602	466	514	579	617	294	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	東部	766	779	759	744	829	646	中部	1,157	1,190	1,227	1,329	1,423	1,174	西部	59	56	59	56	53	39	県外	15	10	14	13	13	8	合計	1,997	2,035	2,059	2,142	2,318	1,867	<p>県内の児童精神科医療の中核機関として、中部地域だけでなく、児童精神科の医療機関が少ない東部地域からも多くの患者を受け入れている。</p>	<p>・児童精神科医療に対して、児童精神科病棟(36床)において、外来から入院まで一貫した治療体制を整えている。</p> <p>・県内全域から患者を受け入れており、令和4年度は、こころの診療科における新規患者数は入院・外来ともに令和3年度並みを維持する見込みである。</p> <p>・専門スタッフによるきめ細やかな医療サービスの提供や、急増する子どもの心の問題に関する地域連携の強化に取り組んでいる。</p>																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
入院患者数	10,864	10,011	9,445	7,890	10,353	5,642																																																																																																													
入院新患者数	58	57	50	63	71	34																																																																																																													
外来患者数	12,607	12,376	11,604	11,416	13,211	6,186																																																																																																													
外来初診患者数	602	466	514	579	617	294																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
東部	766	779	759	744	829	646																																																																																																													
中部	1,157	1,190	1,227	1,329	1,423	1,174																																																																																																													
西部	59	56	59	56	53	39																																																																																																													
県外	15	10	14	13	13	8																																																																																																													
合計	1,997	2,035	2,059	2,142	2,318	1,867																																																																																																													
		<p>○重症心身障害児等の医療的ケア児の退院、在宅移行を支援する体制について、県と連携して整備を図る。</p>	<p>○重症心身障害児等の医療的ケア児の退院、在宅移行を支援する体制について、県と連携して整備を図る。</p> <p>①医療的ケア児のレスパイト対応のため、障害者総合支援法に基づく「短期入所サービス」の実施</p>	58	<p>③児童精神科医の育成に努める。</p>	<p>事業を行っている全国19都府県1政令指定都市にある29の拠点病院の一つとして参加し、学校・地域との連携強化を図った。(拠点病院を配置している都府県等) 岩手県、千葉県、東京都、石川県、山梨県、長野県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、沖縄県、札幌市</p> <p>精神保健講座等開催実績</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>精神保健</td><td>156</td><td>111</td><td>159</td><td>10</td><td>11</td><td>49</td></tr> <tr><td>児童養護</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	精神保健	156	111	159	10	11	49	児童養護	11	11	11	11	11	11	<p>急増する子どもの心の問題に関するネットワーク構築のため、学校・地域との連携強化を図り、県内の小児精神保健ネットワークの中核的な役割を果たしている。</p> <p>また、令和4年7月に行われた第23回本事業連絡会議において、当院の教育機関との連携について、取組を報告した。</p> <p>令和4年度、児童養護施設の巡回事業は例年並みに実施している。精神保健講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年9月末時点での開催実績は1回である。</p>	<p>・様々な子どもの心の問題に加え、児童虐待や発達障害に対応するため、国が国立成育医療センターを中央拠点病院として全国的に推進している「子どもの心の診療ネットワーク事業」において、静岡県の拠点病院として業務委託している。</p> <p>・地域医療機関や保健福祉関係機関等からの相談・診療支援に加え、小中学校教諭を対象とした精神保健講座の開催や、児童養護施設巡回相談を実施しており、他の医療機関や保健福祉関係機関と連携した、医学的支援・診療支援が実施されている。</p>																																																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
精神保健	156	111	159	10	11	49																																																																																																													
児童養護	11	11	11	11	11	11																																																																																																													
			59	<p>④言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他の実施を図る。</p> <p>①医療的ケア児の在宅移行支援病棟の設置を検討する。</p> <p>①「短期入所サービス」事業の実施</p>	<p>医療的ケア児に関する検討会開催実績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>回数</td><td>-</td><td>5</td><td>3</td><td>6</td><td>6</td><td>2</td></tr> </table> <p>リハ実施実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td><td>4目標</td></tr> <tr><td>理学療法</td><td>18,944</td><td>17,309</td><td>22,829</td><td>22,985</td><td>24,683</td><td>11,775</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>作業療法</td><td>6,656</td><td>6,039</td><td>4,546</td><td>3,813</td><td>7,794</td><td>5,889</td><td>-</td></tr> <tr><td>言語聴覚療法</td><td>7,306</td><td>7,901</td><td>9,744</td><td>10,162</td><td>10,045</td><td>4,695</td><td>-</td></tr> <tr><td>計</td><td>32,906</td><td>31,249</td><td>37,119</td><td>36,960</td><td>42,522</td><td>22,359</td><td>-</td></tr> </table> <p>短期入所利用者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>29年度</td><td>30年度</td><td>元年度</td><td>2年度</td><td>3年度</td><td>4年度9月末</td></tr> <tr><td>利用者数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>0</td><td>3</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	回数	-	5	3	6	6	2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	理学療法	18,944	17,309	22,829	22,985	24,683	11,775	15,000	作業療法	6,656	6,039	4,546	3,813	7,794	5,889	-	言語聴覚療法	7,306	7,901	9,744	10,162	10,045	4,695	-	計	32,906	31,249	37,119	36,960	42,522	22,359	-	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	利用者数	-	-	-	-	0	3	<p>こども病院では、言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォローなどを図り、令和4年度のR4リハ実施件数は、過去実績を大きく上回った前年度と同水準で推移している。</p> <p>在宅移行の推進や在宅移行後の医療的ケア児への対応については、令和2年度に指定障害福祉サービスによる、短期入所者の指定を受けた。令和4年度は9月末時点で3人(延人数)の利用があり、今後も、受け入れ体制の整備を図っていく。</p> <p>県内唯一の小児専門病院として小児の高度専門医療を担っているが、慢性期医療・福祉の分野となる医療的ケア児については、在宅移行、在宅移行後の患者・家族へのフォローに関して、各分野との関係の整理や、方向性の検討を行っている。</p>	<p>・重症心身障害児は、重度の肢体不自由と知的障害を併せ持ち、経管栄養やたん吸引等の医療的ケアを必要とする。</p> <p>・近年、在宅者の割合が増加していることから、県の支援のあり方も、従来の入所型の重症心身障害児施設等の確保から、在宅における患者や家族の生活支援としてのショートステイ実施施設確保や人材育成等へ移行してきている。</p> <p>・具体的には、医療機関における短期入所サービス提供事業実施の支援、通所施設への看護師配置、家族のレスパイトのための訪問看護に対する支援等が挙げられる。</p> <p>・こども病院においては、県から委託されている移行期医療支援事業の一環として、令和4年度上半期は医療的ケア児に関する検討会を2回実施し、重症心身障害児の在宅以降の移行フォロー等の課題に対して、検討を重ねた。</p> <p>・令和2年度に障害福祉サービス事業所(短期入所者)の指定を受け、医療的ケア児及びその家族への支援体制の強化に努めている。令和4年度上半期には、延3人の利用があった。</p> <p>・在宅移行後のフォローにも取り組んでおり、理学療法件数は、目標値を達成する見込みである。</p>	16	1	○																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
回数	-	5	3	6	6	2																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																												
理学療法	18,944	17,309	22,829	22,985	24,683	11,775	15,000																																																																																																												
作業療法	6,656	6,039	4,546	3,813	7,794	5,889	-																																																																																																												
言語聴覚療法	7,306	7,901	9,744	10,162	10,045	4,695	-																																																																																																												
計	32,906	31,249	37,119	36,960	42,522	22,359	-																																																																																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																													
利用者数	-	-	-	-	0	3																																																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>・効率的な病院運営を図り、また、県民に安全で質の高い医療の提供を行うため、病床稼働率及び入院・外来患者満足度について各事業年度で高い水準を達成する。</p> <p>【目標値】 ・心臓カテーテル治療実績(子ども) ・病床稼働率(子ども) ・患者満足度[入院・外来](子ども)</p>	<p>○効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ①医療安全体制の徹底 ②入院支援センターを活用した患者サービスの向上 ③心臓カテーテル治療数の増加 ④病床稼働率75%以上の維持 ⑤患者満足度(入院・外来)の向上 ⑥遠隔医療の適切な推進</p> <p>【目標値】県立こども病院 ・心臓カテーテル治療実績(子ども) ・病床稼働率(子ども) ・患者満足度[入院・外来](子ども) ・小児がん登録件数(子ども) ・リハ実施件数(子ども)</p>	60	<p>①医療安全体制を徹底し、国際的な医療機能評価であるJCI取得を視野に入れた、院内機能強化を進める ②入院支援センターの業務の推進 ③No.51 ④効率的な病院運営を行い、高い病床稼働率を維持する。 ⑤No.8 ⑥遠隔による外来診療、セカンドオピニオンを実施する</p>	<p>業務の実績(令4)</p> <p>病床稼働率 (単位:%)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>4目標</th> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>76.4</td> <td>76.2</td> <td>76.4</td> <td>66.4</td> <td>76.7</td> <td>76.4</td> <td>75以上</td> </tr> </table> <p>JCIワーキングの設置と開催回数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>病棟運営ワーキング開催回数(入院支援センターに係る検討)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>12</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>入院支援センター設置ワーキング開催実績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>入院支援センター利用者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5,382</td> <td>4,573</td> <td>2,503</td> </tr> </table> <p>遠隔外来患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>117</td> <td>217</td> <td>87</td> </tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	稼働率	76.4	76.2	76.4	66.4	76.7	76.4	75以上	区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開催回数	-	-	3	0	区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開催回数	-	-	12	4	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	回数	-	-	13	12	4	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	利用者数	-	-	-	5,382	4,573	2,503	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	患者数	-	-	-	117	217	87	<p>説明</p> <p>A 病床稼働率については、患者数が増加に転じていること、令和2年度に本格稼働した入院支援センターを活用して効率的な病床稼働を目指していること、令和4年度は目標を上回った前年度と同水準で推移している。また、こども病院は極めて広域性があり、遠方から来院する患者の負担を軽減しながら安全で質の高い医療を提供するため、令和2年9月からオンラインによる外来診療体制を全国に先駆けて構築しており、令和4年度も継続して診療を実施している。国際的な医療機能評価であるJCIの取得に向けた取組として、JCIを取得している聖隷浜松病院を、令和4年5月に視察した。組織作り、徹底方法等、取得のために必要な事項を確認することができ、有意義な視察となった。</p>	<p>R4暫定県評価</p> <p>10</p> <p>1</p> <p>○</p>																																																																																																																																																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																																																																																																																																									
稼働率	76.4	76.2	76.4	66.4	76.7	76.4	75以上																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																												
開催回数	-	-	3	0																																																																																																																																																																																																																																																																																												
区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																												
開催回数	-	-	12	4																																																																																																																																																																																																																																																																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																										
回数	-	-	13	12	4	0																																																																																																																																																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																										
利用者数	-	-	-	5,382	4,573	2,503																																																																																																																																																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																										
患者数	-	-	-	117	217	87																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2	医療従事者の確保及び質の向上	医療従事者の確保及び質の向上	2	医療従事者の確保及び質の向上	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>各病院及び地域の医療水準の維持・向上を図るため、医師、看護師等医療従事者の確保に努めること。また、優秀な人材を育成するため、院内研修及び国内外との交流による研修機能の充実を図ること。さらに、医療従事者が働きやすい環境の整備に努めること。</p>	<p>県立病院が提供する医療の質の向上を図り、最適な医療を安全に提供するため、医療従事者が専門業務に専念できる体制や働きやすい環境の整備に努めることにより、優秀な人材の確保を行う。また、教育研修機能の充実や国内外の医療機関との交流などを推進し、医療従事者の育成に積極的に取り組む。</p>	61	<p>・業務運営に必要な人材の確保に努める。</p> <p>・研修医の確保に努める。</p>	<p>職員の確保状況(各年度4月1日現在) (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職別</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>4年度9月末</th> <th>5年度見込</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td rowspan="12">正規職員</td> <td rowspan="3">総合</td> <td>医師</td> <td>152</td> <td>159</td> <td>173</td> <td>177</td> <td>180</td> <td>185</td> <td>187</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>748</td> <td>757</td> <td>738</td> <td>761</td> <td>754</td> <td>755</td> <td>753</td> <td>799</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>医師</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>113</td> <td>115</td> <td>117</td> <td>120</td> <td>116</td> <td>120</td> <td>121</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こども</td> <td>医師</td> <td>91</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>91</td> <td>92</td> <td>99</td> <td>99</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>419</td> <td>404</td> <td>395</td> <td>398</td> <td>410</td> <td>398</td> <td>399</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計</td> <td>医師</td> <td>254</td> <td>262</td> <td>277</td> <td>281</td> <td>285</td> <td>297</td> <td>297</td> <td>317</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1,290</td> <td>1,276</td> <td>1,290</td> <td>1,279</td> <td>1,280</td> <td>1,273</td> <td>1,273</td> <td>1,310</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">有期職員</td> <td rowspan="3">総合</td> <td>医師</td> <td>93</td> <td>90</td> <td>91</td> <td>96</td> <td>99</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>69</td> <td>68</td> <td>64</td> <td>62</td> <td>61</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>医師</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こども</td> <td>医師</td> <td>49</td> <td>55</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>50</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計</td> <td>医師</td> <td>147</td> <td>148</td> <td>152</td> <td>148</td> <td>155</td> <td>166</td> <td>166</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>94</td> <td>92</td> <td>87</td> <td>88</td> <td>89</td> <td>83</td> <td>83</td> <td>83</td> </tr> </table> <p>※有期職員は、正規職員の状況により必要人員を確保するため、目標は設定しない。 ※正規職員の看護師は、現員から休職者等を除いた実働数を記載している。 ※有期職員は、正規職員の状況により必要人員を確保するため、目標は設定しない。 ※年度計画数値と本表の定数は一致しない。</p>	区分	職別	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末	5年度見込									正規職員	総合	医師	152	159	173	177	180	185	187	202	歯科医師	3	3	4	6	5	6	6	6	看護師	748	757	738	761	754	755	753	799	こころ	医師	11	13	14	13	13	13	12	15	歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-	看護師	113	115	117	120	116	120	121	119	こども	医師	91	90	90	91	92	99	99	100	歯科医師	1	1	1	1	2	2	2	1	看護師	419	404	395	398	410	398	399	392	計	医師	254	262	277	281	285	297	297	317	歯科医師	4	4	5	7	7	8	8	8	看護師	1,290	1,276	1,290	1,279	1,280	1,273	1,273	1,310	有期職員	総合	医師	93	90	91	96	99	110	110	110	歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-	看護師	69	68	64	62	61	60	60	60	こころ	医師	5	3	3	4	6	11	11	11	歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-	看護師	13	11	9	10	10	8	8	8	こども	医師	49	55	58	48	50	45	45	45	歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-	看護師	12	13	14	16	18	15	15	15	計	医師	147	148	152	148	155	166	166	166	歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-	看護師	94	92	87	88	89	83	83	83	<p>A 令和4年度について、医師に関しては、派遣医局等への働きかけ等を行い、専門医確保に向けてホームページにプログラム説明動画を公開し、プログラムの魅力を伝えるなど、確保に努めている。看護師の募集については、修学資金の貸与、養成校訪問など様々な確保対策を進め、採用数の増加を図り、職員を確保している。</p>	<p>18</p> <p>1</p> <p>○</p> <p>(参考)暫定時点の正規職員の比較</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職別</th> <th>3年9月末</th> <th>4年9月末</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>医師・歯科医師</td> <td>189</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>727</td> <td>753</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こころ</td> <td>医師・歯科医師</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>118</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こども</td> <td>医師・歯科医師</td> <td>93</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>404</td> <td>399</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>医師・歯科医師</td> <td>295</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1,249</td> <td>1,273</td> </tr> </table>	区分	職別	3年9月末	4年9月末			総合	医師・歯科医師	189	193	看護師	727	753	こころ	医師・歯科医師	13	12	看護師	118	121	こども	医師・歯科医師	93	101	看護師	404	399	計	医師・歯科医師	295	306	看護師	1,249	1,273			
区分	職別	29年度	30年度	元年度	2年度			3年度	4年度	4年度9月末	5年度見込																																																																																																																																																																																																																																																																																					
正規職員	総合	医師	152	159	173	177	180	185	187	202																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		歯科医師	3	3	4	6	5	6	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		看護師	748	757	738	761	754	755	753	799																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	こころ	医師	11	13	14	13	13	13	12	15																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		看護師	113	115	117	120	116	120	121	119																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	こども	医師	91	90	90	91	92	99	99	100																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		歯科医師	1	1	1	1	2	2	2	1																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		看護師	419	404	395	398	410	398	399	392																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	計	医師	254	262	277	281	285	297	297	317																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		歯科医師	4	4	5	7	7	8	8	8																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		看護師	1,290	1,276	1,290	1,279	1,280	1,273	1,273	1,310																																																																																																																																																																																																																																																																																						
有期職員	総合	医師	93	90	91	96	99	110	110	110																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		看護師	69	68	64	62	61	60	60	60																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	こころ	医師	5	3	3	4	6	11	11	11																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		看護師	13	11	9	10	10	8	8	8																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	こども	医師	49	55	58	48	50	45	45	45																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		看護師	12	13	14	16	18	15	15	15																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	計	医師	147	148	152	148	155	166	166	166																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		歯科医師	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		看護師	94	92	87	88	89	83	83	83																																																																																																																																																																																																																																																																																						
区分	職別	3年9月末	4年9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																													
総合	医師・歯科医師	189	193																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	看護師	727	753																																																																																																																																																																																																																																																																																													
こころ	医師・歯科医師	13	12																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	看護師	118	121																																																																																																																																																																																																																																																																																													
こども	医師・歯科医師	93	101																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	看護師	404	399																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	医師・歯科医師	295	306																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	看護師	1,249	1,273																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			62	<p>・研修医の確保に努める。</p>	<p>初期臨床研修医数(総合病院) (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>22(2)</td> <td>24(3)</td> <td>23(1)</td> <td>20(1)</td> <td>25(3)</td> <td>21(2)</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>21(2)</td> <td>20(2)</td> <td>23(3)</td> <td>19(4)</td> <td>20(1)</td> <td>23(3)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43(4)</td> <td>44(5)</td> <td>46(4)</td> <td>39(5)</td> <td>45(4)</td> <td>44(5)</td> </tr> </table> <p>※()うち自治医大出身者</p> <p>後期臨床研修医数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>50</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>58</td> <td>53</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69</td> <td>62</td> <td>65</td> <td>71</td> <td>68</td> <td>72</td> </tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	1年生	22(2)	24(3)	23(1)	20(1)	25(3)	21(2)	2年生	21(2)	20(2)	23(3)	19(4)	20(1)	23(3)	計	43(4)	44(5)	46(4)	39(5)	45(4)	44(5)	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合	50	46	48	58	53	54	こころ	4	2	2	4	3	10	こども	15	14	15	9	12	8	計	69	62	65	71	68	72	<p>A 総合病院では、対面式の合同説明会が開催され、東京及び大阪並びに浜松で延べ人数87名の医学生に向けて、PR活動を行った。また、専攻医確保活動として、6名の研修医を対象にオンライン会議システムを活用した面接を実施し、PRを行った。見学・実習について、卒業年度の学生に限るなどの制限をすることもあったが、抗原検査の実施や陰性証明を持参してもらい、できるだけ受け入れるように努めた。</p>	<p>18</p> <p>○</p>																																																																																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1年生	22(2)	24(3)	23(1)	20(1)	25(3)	21(2)																																																																																																																																																																																																																																																																																										
2年生	21(2)	20(2)	23(3)	19(4)	20(1)	23(3)																																																																																																																																																																																																																																																																																										
計	43(4)	44(5)	46(4)	39(5)	45(4)	44(5)																																																																																																																																																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																																																										
総合	50	46	48	58	53	54																																																																																																																																																																																																																																																																																										
こころ	4	2	2	4	3	10																																																																																																																																																																																																																																																																																										
こども	15	14	15	9	12	8																																																																																																																																																																																																																																																																																										
計	69	62	65	71	68	72																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			63	<p>・即時的で効果的な人材を確保するため、採用試験を適宜実施する。</p>	<p>看護師については、定時募集に加えて随時募集を実施し、切れ目のない採用試験を実施している。さらに優秀な人材確保のためコマメディカルのアソシエイトの公募試験を実施した。</p> <p>正規職員の確保状況(各年度4月1日現在) (単位:人)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> <tr> <td>医師</td> <td>260</td> <td>269</td> <td>283</td> <td>289</td> <td>293</td> <td>307</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1,370</td> <td>1,370</td> <td>1,366</td> <td>1,398</td> <td>1,403</td> <td>1,398</td> <td>1,376</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>315</td> <td>319</td> <td>333</td> <td>347</td> <td>362</td> <td>369</td> <td>363</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>118</td> <td>126</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>136</td> <td>140</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,067</td> <td>2,088</td> <td>2,112</td> <td>2,174</td> <td>2,201</td> <td>2,223</td> <td>2,192</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">本部</td> <td>医師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>25</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>医師</td> <td>157</td> <td>165</td> <td>179</td> <td>184</td> <td>188</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>804</td> <td>806</td> <td>807</td> <td>820</td> <td>820</td> <td>837</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>208</td> <td>214</td> <td>226</td> <td>237</td> <td>249</td> <td>255</td> </tr> <tr> <td>研究員</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">こころ</td> <td>医師</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>115</td> <td>118</td> <td>120</td> <td>124</td> <td>122</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>166</td> <td>170</td> <td>170</td> <td>176</td> <td>174</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">こども</td> <td>医師</td> <td>91</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>91</td> <td>92</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>449</td> <td>444</td> <td>436</td> <td>444</td> <td>452</td> <td>436</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>82</td> <td>84</td> <td>86</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>650</td> <td>642</td> <td>636</td> <td>648</td> <td>660</td> <td>641</td> </tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	医師	260	269	283	289	293	307	308	歯科医師	4	4	5	7	7	8	8	看護師	1,370	1,370	1,366	1,398	1,403	1,398	1,376	医療技術	315	319	333	347	362	369	363	研究員	-	-	2	2	-	1	1	事務	118	126	123	131	136	140	136	計	2,067	2,088	2,112	2,174	2,201	2,223	2,192	本部	医師	-	-	1	1	-	-	看護師	2	2	3	1	3	3	医療技術	-	-	32	32	31	31	事務	25	32	32	32	32	34	計	27	34	35	34	36	38	総合	医師	157	165	179	184	188	195	歯科医師	3	3	4	6	5	6	看護師	804	806	807	820	820	837	医療技術	208	214	226	237	249	255	研究員	-	-	2	2	-	1	こころ	医師	12	14	14	13	13	13	歯科医師	-	-	-	-	-	-	看護師	115	118	120	124	122	122	医療技術	26	25	25	26	26	27	計	166	170	170	176	174	173	こども	医師	91	90	90	91	92	99	歯科医師	1	1	1	1	2	2	看護師	449	444	436	444	452	436	医療技術	81	80	82	84	86	86	事務	28	27	27	28	28	27	計	650	642	636	648	660	641	<p>A 医師については、専門医確保に向けてホームページにプログラム説明動画を公開し、プログラムの魅力を伝える、募集に努めている。今後、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、医学生向け説明会への参加や病院見学の受入などを行い確保に努める。令和4年度は、看護師募集について、定時募集を第1回から3病院対象に実施し、計3回実施予定。また、経験者を対象とした月次募集により切れ目のない募集を実施している。なお、看護師確保のため、就職説明会への参加や各種広報、養成校訪問に代わるWeb会議など様々な確保対策を進め、採用数の増加に努めている。コマメディカルは、必要な職種について適時、募集を実施しており、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、視能訓練士、言語聴覚士(アソシエイト)、精神保健福祉士について公募試験を実施し優秀な人材の確保に努めている。事務についても、正規職員の公募試験を実施し、優秀な人材の確保に努めている。</p>	<p>18</p> <p>○</p>																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度																																																																																																																																																																																																																																																																																									
医師	260	269	283	289	293	307	308																																																																																																																																																																																																																																																																																									
歯科医師	4	4	5	7	7	8	8																																																																																																																																																																																																																																																																																									
看護師	1,370	1,370	1,366	1,398	1,403	1,398	1,376																																																																																																																																																																																																																																																																																									
医療技術	315	319	333	347	362	369	363																																																																																																																																																																																																																																																																																									
研究員	-	-	2	2	-	1	1																																																																																																																																																																																																																																																																																									
事務	118	126	123	131	136	140	136																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	2,067	2,088	2,112	2,174	2,201	2,223	2,192																																																																																																																																																																																																																																																																																									
本部	医師	-	-	1	1	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	看護師	2	2	3	1	3	3																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	医療技術	-	-	32	32	31	31																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	事務	25	32	32	32	32	34																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	計	27	34	35	34	36	38																																																																																																																																																																																																																																																																																									
総合	医師	157	165	179	184	188	195																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	歯科医師	3	3	4	6	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	看護師	804	806	807	820	820	837																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	医療技術	208	214	226	237	249	255																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	研究員	-	-	2	2	-	1																																																																																																																																																																																																																																																																																									
こころ	医師	12	14	14	13	13	13																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	歯科医師	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	看護師	115	118	120	124	122	122																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	医療技術	26	25	25	26	26	27																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	計	166	170	170	176	174	173																																																																																																																																																																																																																																																																																									
こども	医師	91	90	90	91	92	99																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	歯科医師	1	1	1	1	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	看護師	449	444	436	444	452	436																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	医療技術	81	80	82	84	86	86																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	事務	28	27	27	28	28	27																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	650	642	636	648	660	641																																																																																																																																																																																																																																																																																										

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点 数値 評価																																																																																																																														
			64	<p>・就職説明会への参加、多角的な広報の実施や養成校の訪問などにより、必要な職員の確保を目指す。</p>	<p>看護学生向け就職説明会 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>来場者数</th><th>訪問者数</th><th>受験者数</th></tr> <tr><td>ナース専科(静岡)</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>ナースナビ(浜松)</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>マイナビ(静岡)</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>(沼津)</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>業者計</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>静岡県立大学</td><td>PR動画の提供</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>常葉大学</td><td>未定</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>聖隷クリストファー大学</td><td>未定</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>順天堂大学</td><td>未定</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>静岡市立看護専門学校</td><td>12月開催予定</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>静岡県立看護専門学校</td><td>12月開催予定</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>養成校計</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>※訪問者数は病院間の重複あり</p> <p>看護学生向け就職説明会 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>来場者数</td><td>業者 887</td><td>226</td><td>709</td><td>709</td><td>582</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>養成校 997</td><td>602</td><td>35</td><td>35</td><td>137</td><td></td></tr> <tr><td>訪問者数</td><td>業者 608</td><td>64</td><td>645</td><td>645</td><td>438</td><td>未実施(9月末)</td></tr> <tr><td></td><td>養成校 357</td><td>345</td><td>316</td><td>316</td><td>120</td><td></td></tr> <tr><td>受験者数</td><td>業者 53</td><td>3</td><td>112</td><td>112</td><td>82</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>養成校 64</td><td>73</td><td>92</td><td>92</td><td>72</td><td></td></tr> </table>	区分	来場者数	訪問者数	受験者数	ナース専科(静岡)	1	1	1	ナースナビ(浜松)	2	2	2	マイナビ(静岡)	2	2	2	(沼津)	3	3	3	業者計	0	0	0	静岡県立大学	PR動画の提供			常葉大学	未定			聖隷クリストファー大学	未定			順天堂大学	未定			静岡市立看護専門学校	12月開催予定			静岡県立看護専門学校	12月開催予定			養成校計	0	0	0	計	0	0	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	来場者数	業者 887	226	709	709	582			養成校 997	602	35	35	137		訪問者数	業者 608	64	645	645	438	未実施(9月末)		養成校 357	345	316	316	120		受験者数	業者 53	3	112	112	82			養成校 64	73	92	92	72		<p>令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で今までのような病院見学会やインターンシップの開催ができない中、少しでも学生の知りたい情報を提供するため、積極的に説明会への参加を予定している。</p> <p>看護師確保対策の中でも企業・養成校主催の就職説明会は、看護学生が看護師長や先輩看護師等と直接話ができることから、</p> <p>・就職説明会は、機構の看護師が直接コミュニケーションを図ることで看護学生が知りたい情報を把握できるという利点に併せて、採用後のミスマッチの予防にも効果があるものと考えられる。</p> <p>・例年、下半期に就職説明会への参加や養成校訪問等を行っている。令和4年度も下半期に実施するため、今回は未評価とする。今後も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるが、オンライン等も活用した臨機応変な対応が期待される。</p>	19	-																					
区分	来場者数	訪問者数	受験者数																																																																																																																																			
ナース専科(静岡)	1	1	1																																																																																																																																			
ナースナビ(浜松)	2	2	2																																																																																																																																			
マイナビ(静岡)	2	2	2																																																																																																																																			
(沼津)	3	3	3																																																																																																																																			
業者計	0	0	0																																																																																																																																			
静岡県立大学	PR動画の提供																																																																																																																																					
常葉大学	未定																																																																																																																																					
聖隷クリストファー大学	未定																																																																																																																																					
順天堂大学	未定																																																																																																																																					
静岡市立看護専門学校	12月開催予定																																																																																																																																					
静岡県立看護専門学校	12月開催予定																																																																																																																																					
養成校計	0	0	0																																																																																																																																			
計	0	0	0																																																																																																																																			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																
来場者数	業者 887	226	709	709	582																																																																																																																																	
	養成校 997	602	35	35	137																																																																																																																																	
訪問者数	業者 608	64	645	645	438	未実施(9月末)																																																																																																																																
	養成校 357	345	316	316	120																																																																																																																																	
受験者数	業者 53	3	112	112	82																																																																																																																																	
	養成校 64	73	92	92	72																																																																																																																																	
(1) 医療従事者の確保・育成	(1) 医療従事者の確保・育成	(1) 医療従事者の確保・育成	65	<p>○医師 ①③医師の技術力の向上を目指し、海外研修等を奨励する。 ①③医師の卒後臨床研修等の強化を図り、県立病院に相応しい医療従事者を確実に確保し、充足させる。 ②地域医療連携推進法人ふじのくに社会健康医療連合の円滑な運営に寄与する。</p>	<p>(総合) 海外研修の実績 (4年度9月末時点) (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">内 容</th><th>人数</th></tr> <tr><td>11th CONGRESS OF THE VASCULAR ACCESS SOCIETY</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>AATS 99th Annual Meeting</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>米国胸部疾患学会2019国際会議</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>Jung Conference in Wroclaw 2019</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>24th World Congress of Dermatology Milan 2019</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>SSAL 2019</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>第31回欧州病理学会</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>欧州呼吸器学会国際会議2019</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>9th Congress of the European Society of Surgical Oncology</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>第28回ヨーロッパ皮膚科学・性病学会学術大会</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>ヨーロッパ救急医学会</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>フェスト年次会議2019</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>37th WORLD CONGRESS OF ENDOUROLOGY</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>American Pancreatic Association</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>ANS Kidney Week 2019</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>アジア太平洋呼吸器学会国際会議2019</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>EuroEcho 2019</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>ASCVT2020</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>第109回 USCAP2020</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>臨床研修医 UCL A 研修</td><td></td><td>18</td></tr> <tr><td>2年度</td><td>実績なし</td><td></td></tr> <tr><td>3年度</td><td>実績なし</td><td></td></tr> <tr><td>4年度(9月末)</td><td>オーストラリア交換研修</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>34th European Congress of Pathology</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>欧州呼吸器学会国際会議2022</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>ICS 2022 VIENNA</td><td>3</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>62</td></tr> </table> <p>海外での学会発表実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>総合</td><td>23</td><td>33</td><td>65</td><td>0</td><td>125</td><td>6</td></tr> <tr><td>子ども</td><td>22</td><td>31</td><td>31</td><td>3</td><td>19</td><td>5</td></tr> </table> <p>※3年度のみ現地開催0件のためWEB実績を含む。 例年、海外の学会に治療実績等の発表を行い、技術力の高さを示している。 海外研修の報告は、院内には定例医局会・院内連絡会で打っており、対外的には研修医募集のホームページに掲載している。</p> <p>海外研修の主な実績 (4年度9月末) (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>内 容</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>総合</td><td>ICS 2022 VIENNA</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>その他 海外学会</td><td>4</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>子ども</td><td>アメリカ心エコー学会</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>アメリカ胸部外科学会</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>ヨーロッパ小児科学会学術集会</td><td>0</td></tr> </table>	内 容		人数	11th CONGRESS OF THE VASCULAR ACCESS SOCIETY		2	AATS 99th Annual Meeting		2	米国胸部疾患学会2019国際会議		3	Jung Conference in Wroclaw 2019		1	24th World Congress of Dermatology Milan 2019		1	SSAL 2019		3	第31回欧州病理学会		1	欧州呼吸器学会国際会議2019		3	9th Congress of the European Society of Surgical Oncology		2	第28回ヨーロッパ皮膚科学・性病学会学術大会		1	ヨーロッパ救急医学会		1	フェスト年次会議2019		3	37th WORLD CONGRESS OF ENDOUROLOGY		2	American Pancreatic Association		3	ANS Kidney Week 2019		2	アジア太平洋呼吸器学会国際会議2019		2	EuroEcho 2019		2	ASCVT2020		2	第109回 USCAP2020		1	臨床研修医 UCL A 研修		18	2年度	実績なし		3年度	実績なし		4年度(9月末)	オーストラリア交換研修	1		34th European Congress of Pathology	1		欧州呼吸器学会国際会議2022	2		ICS 2022 VIENNA	3	計		62	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合	23	33	65	0	125	6	子ども	22	31	31	3	19	5	区分	内 容	4年度9月末	総合	ICS 2022 VIENNA	3		その他 海外学会	4	こころ	-	0	子ども	アメリカ心エコー学会	0		アメリカ胸部外科学会	0		ヨーロッパ小児科学会学術集会	0	<p>(総合) 毎月、基礎臨床講座を開催し、各指導医から研修医等へ講義を行っているほか、医療英語・海外学会発表研修など臨床研修機能の充実を図っている。</p> <p>この他、医師の技術力向上を目指し海外研修を奨励している。</p> <p>また、海外学会発表を積極的に進めており、技術力の高さを示している。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた令和2年度及び3年度よりも学会への参加が増加している。</p> <p>静岡県社会健康医学大学院大学の開学式(令和4年3月)において、浙江省衛生健康委員会をはじめとする関係医療機関の幹部を紹介した。</p> <p>浙江大學医学院附属邵逸夫(ショウイフ)医院の新棟竣工式(令和4年4月)において、田中理事長からビデオ祝辞を送付した。</p> <p>また、6月には、静岡県立病院機構及び総合病院の新体制を紹介する目的で、浙江省衛生健康委員会とWEB会談を実施した。</p> <p>(子ども) 令和4年9月末現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、浙江省兒童醫院との医師相互研修や、専攻医のオーストラリアウェストメット小児病院における研修を中止している。</p>	20	○
内 容		人数																																																																																																																																				
11th CONGRESS OF THE VASCULAR ACCESS SOCIETY		2																																																																																																																																				
AATS 99th Annual Meeting		2																																																																																																																																				
米国胸部疾患学会2019国際会議		3																																																																																																																																				
Jung Conference in Wroclaw 2019		1																																																																																																																																				
24th World Congress of Dermatology Milan 2019		1																																																																																																																																				
SSAL 2019		3																																																																																																																																				
第31回欧州病理学会		1																																																																																																																																				
欧州呼吸器学会国際会議2019		3																																																																																																																																				
9th Congress of the European Society of Surgical Oncology		2																																																																																																																																				
第28回ヨーロッパ皮膚科学・性病学会学術大会		1																																																																																																																																				
ヨーロッパ救急医学会		1																																																																																																																																				
フェスト年次会議2019		3																																																																																																																																				
37th WORLD CONGRESS OF ENDOUROLOGY		2																																																																																																																																				
American Pancreatic Association		3																																																																																																																																				
ANS Kidney Week 2019		2																																																																																																																																				
アジア太平洋呼吸器学会国際会議2019		2																																																																																																																																				
EuroEcho 2019		2																																																																																																																																				
ASCVT2020		2																																																																																																																																				
第109回 USCAP2020		1																																																																																																																																				
臨床研修医 UCL A 研修		18																																																																																																																																				
2年度	実績なし																																																																																																																																					
3年度	実績なし																																																																																																																																					
4年度(9月末)	オーストラリア交換研修	1																																																																																																																																				
	34th European Congress of Pathology	1																																																																																																																																				
	欧州呼吸器学会国際会議2022	2																																																																																																																																				
	ICS 2022 VIENNA	3																																																																																																																																				
計		62																																																																																																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																
総合	23	33	65	0	125	6																																																																																																																																
子ども	22	31	31	3	19	5																																																																																																																																
区分	内 容	4年度9月末																																																																																																																																				
総合	ICS 2022 VIENNA	3																																																																																																																																				
	その他 海外学会	4																																																																																																																																				
こころ	-	0																																																																																																																																				
子ども	アメリカ心エコー学会	0																																																																																																																																				
	アメリカ胸部外科学会	0																																																																																																																																				
	ヨーロッパ小児科学会学術集会	0																																																																																																																																				
			66	<p>④メディカルスキルアップセンターの活用を促進を図る。</p>	<p>メディカルスキルアップセンター利用状況 (単位:回、人)</p> <table border="1"> <tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">29年度</th><th colspan="2">30年度</th><th colspan="2">元年度</th><th colspan="2">2年度</th><th colspan="2">3年度</th><th colspan="2">4年度9月末</th></tr> <tr><th>うち外部利用</th><th>うち内部利用</th><th>うち外部利用</th><th>うち内部利用</th><th>うち外部利用</th><th>うち内部利用</th><th>うち外部利用</th><th>うち内部利用</th><th>うち外部利用</th><th>うち内部利用</th><th>うち外部利用</th><th>うち内部利用</th></tr> <tr><td rowspan="2">医師</td><td>開催回数</td><td>488</td><td>44</td><td>617</td><td>31</td><td>775</td><td>45</td><td>1097</td><td>5</td><td>1,773</td><td>5</td><td>466</td></tr> <tr><td>参加人数</td><td>2,713</td><td>197</td><td>2,772</td><td>145</td><td>3,236</td><td>166</td><td>3,488</td><td>16</td><td>3,194</td><td>41</td><td>992</td></tr> <tr><td rowspan="2">看護師</td><td>開催回数</td><td>196</td><td>48</td><td>238</td><td>32</td><td>288</td><td>39</td><td>275</td><td>7</td><td>175</td><td>4</td><td>51</td></tr> <tr><td>参加人数</td><td>3,569</td><td>296</td><td>4,474</td><td>237</td><td>5,867</td><td>291</td><td>4,468</td><td>67</td><td>2,987</td><td>67</td><td>1,329</td></tr> <tr><td rowspan="2">その他</td><td>開催回数</td><td>147</td><td>115</td><td>188</td><td>137</td><td>310</td><td>186</td><td>236</td><td>116</td><td>122</td><td>91</td><td>6</td></tr> <tr><td>参加人数</td><td>2,286</td><td>1,914</td><td>2,560</td><td>1,387</td><td>2,671</td><td>1,123</td><td>1,863</td><td>726</td><td>503</td><td>215</td><td>139</td></tr> <tr><td rowspan="2">計</td><td>開催回数</td><td>831</td><td>207</td><td>1,033</td><td>200</td><td>1,373</td><td>267</td><td>1,610</td><td>138</td><td>2,070</td><td>100</td><td>523</td></tr> <tr><td>参加人数</td><td>8,588</td><td>2,407</td><td>9,806</td><td>1,774</td><td>11,774</td><td>1,579</td><td>9,819</td><td>819</td><td>6,684</td><td>323</td><td>2,490</td></tr> </table>	区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度9月末		うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	医師	開催回数	488	44	617	31	775	45	1097	5	1,773	5	466	参加人数	2,713	197	2,772	145	3,236	166	3,488	16	3,194	41	992	看護師	開催回数	196	48	238	32	288	39	275	7	175	4	51	参加人数	3,569	296	4,474	237	5,867	291	4,468	67	2,987	67	1,329	その他	開催回数	147	115	188	137	310	186	236	116	122	91	6	参加人数	2,286	1,914	2,560	1,387	2,671	1,123	1,863	726	503	215	139	計	開催回数	831	207	1,033	200	1,373	267	1,610	138	2,070	100	523	参加人数	8,588	2,407	9,806	1,774	11,774	1,579	9,819	819	6,684	323	2,490	<p>メディカルスキルアップセンターでは、各種シミュレーターを導入し、研修医を始めとする医師や看護師等の医療従事者によるトレーニングや講習に活用している。外部利用については、医師会主催の研修会や高校生の見学ツアー時の診療体験などで活用されている。</p> <p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により研修会等が中止となったこともあり、利用者数は減少した。</p> <p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により研修会等が中止となったこともあり、利用者数は減少した。</p> <p>今後も院内利用だけでなく、外部利用の拡大に努める。</p>	20	○	
区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度9月末																																																																																																																											
	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用	うち外部利用	うち内部利用																																																																																																																										
医師	開催回数	488	44	617	31	775	45	1097	5	1,773	5	466																																																																																																																										
	参加人数	2,713	197	2,772	145	3,236	166	3,488	16	3,194	41	992																																																																																																																										
看護師	開催回数	196	48	238	32	288	39	275	7	175	4	51																																																																																																																										
	参加人数	3,569	296	4,474	237	5,867	291	4,468	67	2,987	67	1,329																																																																																																																										
その他	開催回数	147	115	188	137	310	186	236	116	122	91	6																																																																																																																										
	参加人数	2,286	1,914	2,560	1,387	2,671	1,123	1,863	726	503	215	139																																																																																																																										
計	開催回数	831	207	1,033	200	1,373	267	1,610	138	2,070	100	523																																																																																																																										
	参加人数	8,588	2,407	9,806	1,774	11,774	1,579	9,819	819	6,684	323	2,490																																																																																																																										

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																													
			67	⑤ラーニングセンターの運用手順を定め、活用の促進を図る。	従来のラーニングセンターは、改修工事で使用できないことから、代替施設(病室等)で研修を実施し、今後の運用方法については検討を行った。検討の結果、院内研修の場所については、L棟3階大会議室とすることが決定した。 ラーニングセンター利用状況 (単位:件) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>12</td> <td>33</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>22</td> </tr> </table> ※各年度とも正確な研修実施回数の集計はできていない。 ※令3、令4はラーニングセンターが使用中止中のため、代替施設(病室等)での研修回数を記す。	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	利用件数	12	33	13	0	18	22	令和2年度以降、従来のラーニングセンターが使用できないことから、令和3、4年度の院内研修は、講義を会議室、シミュレーションを空病床等で実施している。 ラーニングセンターの再開に向けて、令和3年度からワーキンググループを開催しており、令和4年度はこれまでに4回実施した。その結果、L棟3階大会議室をラーニングセンターとして改めて整備することが決定した(令和5年度整備予定)。 改善後のL棟3階大会議室にはシミュレーションに使用する機材を一括管理する実技研修用倉庫を整備し、各病棟での様々な診療を想定した研修を可能にする。また、新たにオンライン配信機能を整備することにより、高度な研修内容を広く院外に発信し、地域医療に貢献することとしている。	・ラーニングセンターにおける研修機能の集約化を目指し、平成30年度以降、運営検討部会を通じて、院内の研修実施状況の調査・把握、問題点の洗い出し、運用手順の策定等を行っており、各病棟や会議室等で実施している研修をラーニングセンターに集約するよう方向で検討を進めている。 ・現在、ラーニングセンター(旧手術室)は、劣化改修や施設配置再編を中心とする本館リニューアル工事期間の備品置き場として、あるいは新型コロナウイルス感染症対策物品の倉庫として使用しており、ラーニングセンターとしての使用を休止している状態にある。 ・院内研修をセンターに集約し研修環境を改善するという当初の方向性を途切れさせることのないよう、令和3年度からワーキンググループを開催してきた。 ・令和4年度のワーキンググループでの検討の結果、L棟3階大会議室をラーニングセンターとして整備することが決定した。(令和5年度に整備、令和6年度に運用開始予定)	20		△																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																	
利用件数	12	33	13	0	18	22																																																																																	
		【目標値】 ・医師数(総合、こころ、こども) ・看護師数(総合、こころ、こども)	68	⑥海外との視察者等の受け入れや派遣など、国際交流の推進を図る。 ⑥静岡社会健康医学大学院大学と連携し、海外大学等との交流を図る。	海外視察・講演等の派遣・受入 (単位:人) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>視察・講演等派遣</td> <td>54</td> <td>60</td> <td>73</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>視察・研修等受入</td> <td>58</td> <td>51</td> <td>35</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> 総合病院では、平成23年度より中国浙江省からの研修受入を行っており、中国浙江省7医院と友好協力協定及び覚書を締結し、研修生を受け入れている。 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により派遣研修及び相互訪問は中止となっているが、オンラインによる学会参加や書籍の往来などを実施した。		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	視察・講演等派遣	54	60	73	0	0	0	視察・研修等受入	58	51	35	0	0	0	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣研修及び相互訪問は中止となったが、オンラインによる学会参加や書籍の往来など、可能な交流を継続的に行った。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度も、海外からの研修生の派遣・受入れを実施していないが、浙江省の学会へのオンライン参加など、良好な友好関係を築いている。																																																											
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																	
視察・講演等派遣	54	60	73	0	0	0																																																																																	
視察・研修等受入	58	51	35	0	0	0																																																																																	
			69	⑦看護師及びその他の医療従事者のスキルアップを図るため、認定看護師の育成のほか医療従事者等の研修等を推進する。 ⑦認定看護師等病院運営に寄与する資格について、取得支援制度を拡充することで、資格取得者の増員を図る。	主な医療職種の資格取得者数 <table border="1"> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>4</td> <td>がん看護、急性・重症患者看護、慢性疾患看護</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>17</td> <td>養老看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>38</td> <td>がん薬物療法認定、感染制御認定、がん専門、病院薬学会認定、認定実務実習指導、認定CRC、薬物療法専門、調剤管理、抗菌薬化学療法認定、緩和薬物療法認定、小児薬物療法認定、がん指導、糖尿病療養指導、薬物療法指導、漢方薬・生薬認定</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>34</td> <td>緊急臨床検査士、認定病理検査技師、細胞検査士、超音波検査士(循環器、消化器)、日本公認超音波学会認定専門技師、N.S.T.専門療法士、日本腫瘍治療指導士</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>29</td> <td>放射線治療専門、放射線治療品質管理、医学物理士、PET認定、救急撮影</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>31</td> <td>糖尿病療養指導、がん病態栄養専門管理栄養士、認定超音波検査師、栄養サポートチーム専門専門理学療法士(運動器、呼吸器、内部障害、循環器)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>150</td> <td></td> </tr> </table> 認定看護師取得者数(4年度9月末時点) (単位:人) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0</td> <td>精神看護(リエンゾ領域)</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>5</td> <td>精神科</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>感染管理</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>専門・認定領域</th> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>2</td> <td>小児看護</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>8</td> <td>皮膚・排泄ケア1名、集中ケア1名、新生児集中ケア1名、がん化学療法1名、感染管理1名、小児救急看護2名、手術室看護1名</td> </tr> </table>	職種	人数	専門・認定領域	専門看護師	4	がん看護、急性・重症患者看護、慢性疾患看護	認定看護師	17	養老看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法	薬剤師	38	がん薬物療法認定、感染制御認定、がん専門、病院薬学会認定、認定実務実習指導、認定CRC、薬物療法専門、調剤管理、抗菌薬化学療法認定、緩和薬物療法認定、小児薬物療法認定、がん指導、糖尿病療養指導、薬物療法指導、漢方薬・生薬認定	検査技師	34	緊急臨床検査士、認定病理検査技師、細胞検査士、超音波検査士(循環器、消化器)、日本公認超音波学会認定専門技師、N.S.T.専門療法士、日本腫瘍治療指導士	放射線技師	29	放射線治療専門、放射線治療品質管理、医学物理士、PET認定、救急撮影	その他	31	糖尿病療養指導、がん病態栄養専門管理栄養士、認定超音波検査師、栄養サポートチーム専門専門理学療法士(運動器、呼吸器、内部障害、循環器)	計	150		区分	人数	専門・認定領域	専門看護師	0	精神看護(リエンゾ領域)	認定看護師	5	精神科		0	感染管理	区分	人数	専門・認定領域	専門看護師	2	小児看護	認定看護師	8	皮膚・排泄ケア1名、集中ケア1名、新生児集中ケア1名、がん化学療法1名、感染管理1名、小児救急看護2名、手術室看護1名	感染管理、集中ケア等、病院全体の質の向上に資する分野の資格者を各病院に配置し、組織横断的に活動することができている。 また、認定看護師等の病院運営に寄与する資格については、資格等取得資金貸付要綱を改定し、取得支援制度を拡充するなど、資格取得者の増員を図った。	・優れた看護技術と知識を備え高水準の看護を実践する専門看護師や認定看護師を育成することは、高度・専門医療を提供する県立病院の医療の質の向上において重要である。 ・令和4年度の看護師の資格者数は、総合21人(専門4人、認定17人)、こころ5人(専門0人、認定5人)、こども10人(専門2人、認定8人)と、育成が図られている。																																			
職種	人数	専門・認定領域																																																																																					
専門看護師	4	がん看護、急性・重症患者看護、慢性疾患看護																																																																																					
認定看護師	17	養老看護、皮膚・排泄ケア、手術看護、乳がん看護、緩和ケア、集中ケア、がん化学療法、感染管理、脳卒中リハビリテーション、慢性呼吸器疾患、認知症看護、がん放射線療法																																																																																					
薬剤師	38	がん薬物療法認定、感染制御認定、がん専門、病院薬学会認定、認定実務実習指導、認定CRC、薬物療法専門、調剤管理、抗菌薬化学療法認定、緩和薬物療法認定、小児薬物療法認定、がん指導、糖尿病療養指導、薬物療法指導、漢方薬・生薬認定																																																																																					
検査技師	34	緊急臨床検査士、認定病理検査技師、細胞検査士、超音波検査士(循環器、消化器)、日本公認超音波学会認定専門技師、N.S.T.専門療法士、日本腫瘍治療指導士																																																																																					
放射線技師	29	放射線治療専門、放射線治療品質管理、医学物理士、PET認定、救急撮影																																																																																					
その他	31	糖尿病療養指導、がん病態栄養専門管理栄養士、認定超音波検査師、栄養サポートチーム専門専門理学療法士(運動器、呼吸器、内部障害、循環器)																																																																																					
計	150																																																																																						
区分	人数	専門・認定領域																																																																																					
専門看護師	0	精神看護(リエンゾ領域)																																																																																					
認定看護師	5	精神科																																																																																					
	0	感染管理																																																																																					
区分	人数	専門・認定領域																																																																																					
専門看護師	2	小児看護																																																																																					
認定看護師	8	皮膚・排泄ケア1名、集中ケア1名、新生児集中ケア1名、がん化学療法1名、感染管理1名、小児救急看護2名、手術室看護1名																																																																																					
			70	⑧臨床現場に即した、より実践的な研修を提供する。	実習・アルバイト研修等の受入れ(4年度9月末) (単位:人) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="5">4年度9月末</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>医師</th> <th>医学生</th> <th>看護師</th> <th>看護学生</th> <th>コメディカル</th> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>46</td> <td>140</td> <td>0</td> <td>279</td> <td>102</td> <td>567</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>273</td> <td>6</td> <td>299</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>73</td> <td>6</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>67</td> <td>151</td> <td>10</td> <td>625</td> <td>114</td> <td>967</td> </tr> </table>	区分	4年度9月末					計	医師	医学生	看護師	看護学生	コメディカル	総合	46	140	0	279	102	567	こころ	15	4	1	273	6	299	こども	6	7	9	73	6	101	計	67	151	10	625	114	967	各病院では、例年医師、医学生、看護師、看護学生等を積極的に受け入れ、メディカルスキルアップセンター等を活用した臨床現場に即した実践的な研修を提供している。 令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、できる限り実習や見学の受け入れを実施してきた。	・医師、医学生、看護師、看護学生、コメディカルの実習やアルバイトを積極的に受け入れ、臨床現場に即した実践的な研修を提供している。 ・令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、できる限り実習や見学の受け入れを実施してきた。																																								
区分	4年度9月末						計																																																																																
	医師	医学生	看護師	看護学生	コメディカル																																																																																		
総合	46	140	0	279	102	567																																																																																	
こころ	15	4	1	273	6	299																																																																																	
こども	6	7	9	73	6	101																																																																																	
計	67	151	10	625	114	967																																																																																	
			71	⑨研修体系プログラムの整備と研修内容の充実を図る。	職員研修参加者数 (単位:人) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> <tr> <td>新規採用職員研修</td> <td>126</td> <td>125</td> <td>139</td> <td>160</td> <td>130</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>新規役付職員研修</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>27</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>新規監督者研修</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>労務管理者研修</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>120</td> <td>96</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>新任管理者・新任監督者研修</td> <td>28</td> <td>35</td> <td>21</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション講座</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーション講座</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ファシリテーション講座</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>コーチング講座</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>29</td> <td>19</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>メンタルサポート講座</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>未実施</td> </tr> </table> ※令和3年度以降は職務級制度の改正により新規約付き職員研修の対象者が増化した。		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	新規採用職員研修	126	125	139	160	130	136	新規役付職員研修	4	6	7	10	27	74	新規監督者研修	18	18	11	16	10	23	労務管理者研修	-	-	-	120	96	78	新任管理者・新任監督者研修	28	35	21	-	-	-	コミュニケーション講座	24	30	19	31	27	24	プレゼンテーション講座	-	-	-	-	-	-	ファシリテーション講座	20	20	25	29	30	26	コーチング講座	18	22	20	29	19	24	メンタルサポート講座	25	14	29	24	21	未実施	令和4年度についても、階層別、業務に必要なスキルを身につける専門研修を実施した。 令和4年度は、引続き働き方改革関連法に対応するための労務管理者研修を実施している。	・全ての職種に共通して必要となるコミュニケーション能力や組織マネジメント能力など、県内医療の中核を担う県立病院の職員として求められる社会的スキルの習得につながる研修や、働き方改革関連法に対応するための研修など、階層や目的に応じた研修が実施されている。			
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																	
新規採用職員研修	126	125	139	160	130	136																																																																																	
新規役付職員研修	4	6	7	10	27	74																																																																																	
新規監督者研修	18	18	11	16	10	23																																																																																	
労務管理者研修	-	-	-	120	96	78																																																																																	
新任管理者・新任監督者研修	28	35	21	-	-	-																																																																																	
コミュニケーション講座	24	30	19	31	27	24																																																																																	
プレゼンテーション講座	-	-	-	-	-	-																																																																																	
ファシリテーション講座	20	20	25	29	30	26																																																																																	
コーチング講座	18	22	20	29	19	24																																																																																	
メンタルサポート講座	25	14	29	24	21	未実施																																																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																																																								
(2) 勤務環境の向上	(2) 勤務環境の向上	(2) 勤務環境の向上	-	-	-	-	-																																																																																																																																											
優秀な医療従事者を確保するため、働きやすく、また、働きがいのある病院となるよう、ワーク・ライフ・バランスの向上の推進や職員の精神面を含めた健康保持に配慮するほか、医師をはじめとした医療従事者の業務負担を行うなど、勤務環境の向上を図ること。	医師をはじめとした医療従事者の業務負担をはじめ、仕事と生活の調和に配慮した雇用形態や勤務時間の設定、時間外勤務の削減、職員の健康保持への配慮や院内保育所の活用など、職員が働きやすく、働きがいを実感できる勤務環境づくりを進める。	①ワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な雇用形態や勤務時間など柔軟な勤務条件の設定 ②医療従事者が本来業務に専念できる環境の整備 ③職員の意欲を高め、勤務実績が的確に反映される人事・給与制度の検討 ④職員が働きやすい施設等の環境整備 ⑤県立病院院内保育所の活用	72	①柔軟な職員採用や多様な雇用形態・勤務条件の設定を図る。	看護師の2交代制勤務については、総合病院18部署、こころの医療センター3部署、こども病院10部署となっている。看護師の夜勤専従について、3病院で試行を行っている。 アソシエイト採用実績（各年度4月1日現在）（単位：人） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	看護師	3	-	1	2	事務	10	3	2	2	コメディカル	3	1	4	7	計	16	4	7	11	A	看護師の2交代制や夜勤専従の取組など、雇用形態の多様化を図っている。看護師や事務職員に続き、コメディカルでもアソシエイト職員を採用し、優秀な人材確保を進めている。 平成29年4月以降、診療賞与の導入により、医師の診療実績を的確に反映する給与体系となっている。	21		○																																																																																																															
区分	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																														
看護師	3	-	1	2																																																																																																																																														
事務	10	3	2	2																																																																																																																																														
コメディカル	3	1	4	7																																																																																																																																														
計	16	4	7	11																																																																																																																																														
			73	②医療従事者の事務的業務の軽減を図り、本来業務に専念できる環境の整備や業務多忙を解消するために、医療秘書・助手等を効果的に配置する。	補助職員の配置状況（各年度4月1日現在）（単位：人） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>73</td> <td>73</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>72</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>74</td> <td>73</td> <td>69</td> <td>61</td> <td>58</td> <td>56</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>165</td> <td>165</td> <td>159</td> <td>151</td> <td>157</td> <td>154</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>46</td> <td>45</td> <td>47</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>95</td> <td>94</td> <td>92</td> <td>95</td> <td>96</td> <td>94</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>医師事務補助</td> <td>104</td> <td>102</td> <td>99</td> <td>92</td> <td>88</td> <td>86</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>31</td> <td>34</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>224</td> <td>223</td> <td>229</td> <td>219</td> <td>217</td> <td>214</td> <td>213</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末	総合	73	73	71	70	70	72	72	医師事務補助	74	73	69	61	58	56	58	コメディカル	18	19	22	20	23	20	22	小計	165	165	159	151	157	154	158	こころ	9	8	8	8	9	9	9	医師事務補助	9	8	8	8	9	9	9	コメディカル	0	0	0	0	0	0	0	小計	13	12	12	13	12	13	12	こども	18	19	19	20	19	20	18	医師事務補助	21	21	20	22	21	21	21	コメディカル	4	4	4	4	4	4	4	小計	44	45	42	46	45	47	45	計	95	94	92	95	96	94	91	医師事務補助	104	102	99	92	88	86	88	コメディカル	25	29	29	28	31	34	30	小計	224	223	229	219	217	214	213	A	医師の事務補助を行う職員の配置については、電子カルテの入力業務等により、医師が診療に専念できる等、事務負担軽減の効果が確認されている。総合病院では、医師の増加、外来診療枠の拡大に応じて、医療従事者が診療に専念できるように医師事務作業補助者を配置しており、令和4年度においても、診療報酬の施設基準上、最上位基準を維持している。 なお、令和4年度より派遣会社を活用した夜間看護補助者の配置を開始し、看護師の負担軽減および診療報酬上の加算も併せて取得することができている。 また、看護助手等の補助職員の配置により、医療従事者が国家資格所有者でなければできない業務に専念できている。	21		○
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4年度9月末																																																																																																																																											
総合	73	73	71	70	70	72	72																																																																																																																																											
医師事務補助	74	73	69	61	58	56	58																																																																																																																																											
コメディカル	18	19	22	20	23	20	22																																																																																																																																											
小計	165	165	159	151	157	154	158																																																																																																																																											
こころ	9	8	8	8	9	9	9																																																																																																																																											
医師事務補助	9	8	8	8	9	9	9																																																																																																																																											
コメディカル	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																											
小計	13	12	12	13	12	13	12																																																																																																																																											
こども	18	19	19	20	19	20	18																																																																																																																																											
医師事務補助	21	21	20	22	21	21	21																																																																																																																																											
コメディカル	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																											
小計	44	45	42	46	45	47	45																																																																																																																																											
計	95	94	92	95	96	94	91																																																																																																																																											
医師事務補助	104	102	99	92	88	86	88																																																																																																																																											
コメディカル	25	29	29	28	31	34	30																																																																																																																																											
小計	224	223	229	219	217	214	213																																																																																																																																											
			74	③全職員を対象とした人事評価制度を円滑に実施する。	県準拠として職員組合と合意し、平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、令和2年度から給与（勤勉手当）に活用、令和3年度の評価から昇給に活用を開始し（令和3年度前期、後期の評価を令和5年1月1日昇給に活用）、全職員（有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く）を対象に実施している。	A	平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、令和2年度から給与（勤勉手当）に活用、令和3年度の評価から昇給に活用を開始し（令和3年度前期、後期の評価を令和5年1月1日昇給に活用）、全職員（有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く）を対象に実施している。	21		○																																																																																																																																								
			75	④就労環境の改善に向けた院内施設、子育て支援や相談など福利厚生の実施を進める。	【総合病院】 ・敷地内保険調剤薬局等整備事業において、令和3年9月にカフェ棟が開業し、令和4年4月に薬局・レストラン棟が開業した。 ・院内保育所については、保育所運営協議会において、事務局、委託先、利用者間の意見交換を行い、院内保育所入所者を対象にインフルエンザ予防接種を令和4年度も実施予定である。 【こころの医療センター】 ・昨年度図書室を移転して新たに整備した研修医用研究室の運用を開始するとともに、外来用の面談室を新たに整備するなど、就労環境を改善した。 【こども病院】 ・業務効率の向上等を目的に、タブレット端末（ipad）を導入し、各種会議で活用している。 ・会議室にZoomRoomsを整備し、オンライン会議への参加や主催を効率的に行っている。	S	総合病院では、敷地内保険調剤薬局等整備事業において、令和3年9月にカフェ棟が開業し、令和4年4月に薬局・レストラン棟が開業した。こころの医療センターでは、昨年度図書室を移転して新たに整備した研修医用研究室の運用を開始するとともに、外来用の面談室を新たに整備するなど、就労環境を改善した。 こども病院では、ペーパーレス化と業務効率の向上を目的に、タブレット端末（ipad）を導入し、各種会議で活用している。また、令和4年3月に会議室に7台整備したZoomRoomsにより、Zoomによる複数人でのオンライン会議への参加や会議の主催について、非常に短時間で対応することができるようになった。 看護師等が離職することを防止するため、こころのケアだけでなく体力低下で看護業務へ支障を来さないよう日常生活相談を含め、心身に対するきめ細かい対応を行い、長期に渡り勤務できる環境を整える取組を行っている。 また、国に先駆けて「就学前児童の養育資金貸付制度」を創設し、独立行政法人ならではの画期的な取組であるとして、全国の自治体から注目を集めた。当機構の制度をモデルケースとして同様の制度が制定される動きが広がっている。 なお、政府が、子育てと職場復帰の両立のための支援のために、育児短時間勤務で働く人向けに、新たな現金給付を創設する方向で検討に入った旨の報道もなされている。 引き続き、院内施設の実施や、就労環境の向上に取り組んでいく。	21		☆																																																																																																																																								
			76	⑤院内保育の活用を図る。	保育所利用者数（単位：人） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">定員</th> <th colspan="6">平均利用者数</th> </tr> <tr> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合「おひさま」</td> <td>100</td> <td>90</td> <td>82</td> <td>75</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>こども「ことり」</td> <td>80</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>180</td> <td>103</td> <td>95</td> <td>91</td> <td>82</td> <td>84</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table>	区分	定員	平均利用者数						29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合「おひさま」	100	90	82	75	65	65	65	こども「ことり」	80	13	13	16	17	19	26	計	180	103	95	91	82	84	91	A	各病院の院内保育所では、育児しながら勤務する医師や看護師の就労環境の向上のため、保育メニュー等の更なる充実を図っている。 総合病院では、二重保育や夜間保育、土日預かり等の多様なメニューを揃え、子育てしながら働きやすい環境を引き続き提供できている。幼保無償化の影響により入所者数が減少しているため、有期コメディカル・正規事務の入所を開始した。また、令和4年11月、12月には院内保育所利用者を対象としたインフルエンザ予防接種を実施予定。 こども病院では、令和元年度から新保育所の運用を開始しており、二重保育や病児保育など新たな保育サービスに対応している。令和4年度は45人を上限に稼働し、今後段階的に増員する予定である。 現状、定員に対し利用者数に開きがあるが、産育休復帰職員の利用の増加による稼働率の上昇を目指し、広報紙の発行や、看護部を通じた産育休取得者への働きかけ等を行っている。	21																																																																																																				
区分	定員	平均利用者数																																																																																																																																																
		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																											
総合「おひさま」	100	90	82	75	65	65	65																																																																																																																																											
こども「ことり」	80	13	13	16	17	19	26																																																																																																																																											
計	180	103	95	91	82	84	91																																																																																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																																																																																						
						説明																																																																																																																																																																											
3	医療に関する調査及び研究	3	医療に関する調査及び研究	3	医療に関する調査及び研究	3	3	3																																																																																																																																																																									
(1) 研究機能の強化	(1) 研究機能の強化	(1) 研究機能の強化	77	①各大学院や研究所等との連携を強化し、病院機構が行う特色ある研究の推進・発展 ②県立総合病院リサーチサポートセンターの臨床研究を行う環境整備及び研究支援体制の充実 ③静岡社会健康医学大学院大学と連携した社会健康医学研究の充実・推進 ④聴覚障害児における言語獲得の研究支援の実施と早期治療体制の構築 ⑤県立総合病院リサーチサポートセンターにおいて、静岡県からの受託研究として、「県民の健康寿命の更なる延伸」に向けた社会健康医学研究の実施 ⑥治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制の整備・充実による受託件数の増加 ⑦県立大学等の研究機関との共同研究	①②臨床研究や疫学研究の充実 ・研究員を確保し、円滑な運用を行う。 ③④⑤研究体制を充実させ、受託研究を円滑に行い、研究成果を体系的に蓄積するとともに、県民へ成果の還元を行う。 ④聴覚障害児における言語獲得の研究支援について、外部機関との連携を推進する。 ④研究体制を充実させ、受託研究を円滑に行い、研究成果を体系的に蓄積するとともに、県民へ成果の還元を行う。 ⑥研究資金となる奨学寄附金を受入れる。 ⑥研究支援室による臨床研究の支援を行う。 ⑦県立大学との共同研究を行う。	臨床研究数 (単位: 件、%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th><th>4目標</th></tr> <tr><td>研究数</td><td>279</td><td>332</td><td>376</td><td>399</td><td>329</td><td>378</td><td>280以上</td></tr> <tr><td>支援研究数</td><td>43</td><td>38</td><td>50</td><td>57</td><td>68</td><td>59</td><td>-</td></tr> <tr><td>支援率</td><td>15.4</td><td>11.4</td><td>13.3</td><td>14.3</td><td>20.7</td><td>15.6</td><td>-</td></tr> </table> 客員研究員受入状況 (単位: 人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>静岡県立大学</td><td>14</td><td>14</td><td>15</td><td>15</td><td>15</td><td>13</td></tr> <tr><td>外部</td><td>9</td><td>11</td><td>22</td><td>25</td><td>16</td><td>16</td></tr> </table> 社会健康医学受託研究の実施状況 (単位: 件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>-</td><td>11</td><td>11</td><td>35</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> 奨学寄附金受入件数・金額 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>寄附者</th><th>目的</th><th>金額(千円)</th></tr> <tr><td rowspan="2">29年度</td><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」「ー」ン「グ」株式会社</td><td>SGLT2阻害薬の食行動に及ぼす影響</td><td>300</td></tr> <tr><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>腎臓支援薬等の研究(20・強弱インテリジェントの有効性)</td><td>500</td></tr> <tr><td colspan="3">合計</td><td>800</td></tr> <tr><td rowspan="2">30年度</td><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>150</td></tr> <tr><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>合計</td><td>150</td></tr> <tr><td rowspan="2">元年度</td><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td colspan="3">合計</td><td>400</td></tr> <tr><td rowspan="3">2年度</td><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>アモリス「ワ」フ「ビ」ュ「ー」ティ「ョ」ウ「ス」株式会社</td><td>遺伝性疾患に関する研究支援</td><td>500</td></tr> <tr><td colspan="3">合計</td><td>1,900</td></tr> <tr><td rowspan="3">3年度</td><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>大正製薬株式会社</td><td>糖尿病疾患の治療に関する研究</td><td>300</td></tr> <tr><td colspan="3">合計</td><td>700</td></tr> <tr><td rowspan="2">4年度(9月末)</td><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>100</td></tr> <tr><td colspan="3">合計</td><td>300</td></tr> </table> 新生児聴覚スクリーニング件数 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>スクリーニング件数</td><td>456</td><td>470</td><td>541</td><td>567</td><td>549</td><td>264</td></tr> </table> 人工内耳埋込術件数 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>12</td><td>15</td><td>13</td><td>9</td><td>13</td><td>13</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	研究数	279	332	376	399	329	378	280以上	支援研究数	43	38	50	57	68	59	-	支援率	15.4	11.4	13.3	14.3	20.7	15.6	-	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	静岡県立大学	14	14	15	15	15	13	外部	9	11	22	25	16	16	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	-	11	11	35	3	3	区分	寄附者	目的	金額(千円)	29年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」「ー」ン「グ」株式会社	SGLT2阻害薬の食行動に及ぼす影響	300	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	腎臓支援薬等の研究(20・強弱インテリジェントの有効性)	500	合計			800	30年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	150	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	合計	150	元年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	呼吸器疾患における研究	200	合計			400	2年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	呼吸器疾患における研究	200	アモリス「ワ」フ「ビ」ュ「ー」ティ「ョ」ウ「ス」株式会社	遺伝性疾患に関する研究支援	500	合計			1,900	3年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	呼吸器疾患における研究	200	大正製薬株式会社	糖尿病疾患の治療に関する研究	300	合計			700	4年度(9月末)	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	呼吸器疾患における研究	100	合計			300	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	スクリーニング件数	456	470	541	567	549	264	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	12	15	13	9	13	13	病院機構では、リサーチサポートセンターを活用した研究に取り組んでおり、令和4年度における文部科学省科学研究費の応募・採択状況は、応募件数2件、採択件数1件(3,250千円)となっている。また、静岡社会健康医学大学院大学との連携も引き続き強化しており、令和5年度の修学に向けて博士前期課程に2名、新たに設置される「博士後期課程」に1名の修学候補者を選定している。きこえことばのセンター(静岡県乳幼児聴覚支援センター)では、令和3年10月にNTTコミュニケーション科学基礎研究所と音声知覚・言語発達メカニズムを解明することを目的に締結した協定により共同研究を実施しているほか、言語聴覚士を増員し療育面でも聴覚障害児を支援している。令和4年度には、これまでの研究成果などを活かし、静岡社会健康医学大学院大学における全国初の「聴覚・言語コース」の認可に貢献している。	22	1	☆
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標																																																																																																																																																																										
研究数	279	332	376	399	329	378	280以上																																																																																																																																																																										
支援研究数	43	38	50	57	68	59	-																																																																																																																																																																										
支援率	15.4	11.4	13.3	14.3	20.7	15.6	-																																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																											
静岡県立大学	14	14	15	15	15	13																																																																																																																																																																											
外部	9	11	22	25	16	16																																																																																																																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																											
件数	-	11	11	35	3	3																																																																																																																																																																											
区分	寄附者	目的	金額(千円)																																																																																																																																																																														
29年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」「ー」ン「グ」株式会社	SGLT2阻害薬の食行動に及ぼす影響	300																																																																																																																																																																														
	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	腎臓支援薬等の研究(20・強弱インテリジェントの有効性)	500																																																																																																																																																																														
合計			800																																																																																																																																																																														
30年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	150																																																																																																																																																																														
	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	合計	150																																																																																																																																																																														
元年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																																														
	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																																														
合計			400																																																																																																																																																																														
2年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																																														
	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																																														
	アモリス「ワ」フ「ビ」ュ「ー」ティ「ョ」ウ「ス」株式会社	遺伝性疾患に関する研究支援	500																																																																																																																																																																														
合計			1,900																																																																																																																																																																														
3年度	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																																														
	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																																														
	大正製薬株式会社	糖尿病疾患の治療に関する研究	300																																																																																																																																																																														
合計			700																																																																																																																																																																														
4年度(9月末)	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																																														
	日本ベ「リソ」ー「ン」グ「ー」ン「グ」株式会社	呼吸器疾患における研究	100																																																																																																																																																																														
合計			300																																																																																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																											
スクリーニング件数	456	470	541	567	549	264																																																																																																																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																											
件数	12	15	13	9	13	13																																																																																																																																																																											
			78	⑤医療水準の向上と院内における医療の質の高度化に資するため、新薬開発や臨床研究などへ参画する。	医薬品受託研究事業費・契約件数 (単位: 千円、件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>総 合</td><td>件数 29</td><td>24</td><td>17</td><td>17</td><td>23</td><td>21</td></tr> <tr><td></td><td>契約額 64,062</td><td>101,428</td><td>42,504</td><td>27,994</td><td>58,794</td><td>31,258</td></tr> <tr><td>こ ころ</td><td>件数 0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>契約額 0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>こ ども</td><td>件数 15</td><td>26</td><td>35</td><td>23</td><td>37</td><td>57</td></tr> <tr><td></td><td>契約額 5,087</td><td>14,018</td><td>29,479</td><td>12,041</td><td>20,531</td><td>2,956</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総 合	件数 29	24	17	17	23	21		契約額 64,062	101,428	42,504	27,994	58,794	31,258	こ ころ	件数 0	0	0	0	0	0		契約額 0	0	0	0	0	0	こ ども	件数 15	26	35	23	37	57		契約額 5,087	14,018	29,479	12,041	20,531	2,956	令和4年度も、製薬会社等からの依頼を受け、新薬開発に係る治験を行った。治験が終了し市販に至った薬品があり、新薬提供の一助となっている。市販薬の市販後調査を適正に実施し、安心安全な医療に寄与している。																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																											
総 合	件数 29	24	17	17	23	21																																																																																																																																																																											
	契約額 64,062	101,428	42,504	27,994	58,794	31,258																																																																																																																																																																											
こ ころ	件数 0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																											
	契約額 0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																											
こ ども	件数 15	26	35	23	37	57																																																																																																																																																																											
	契約額 5,087	14,018	29,479	12,041	20,531	2,956																																																																																																																																																																											
(2) 診療等の情報の活用	(2) 診療等の情報の活用	(2) 診療等の情報の活用	79	①DPCの診療情報に基づき症例分析を行う。	DPCコーディング部会開催実績 (単位: 回、人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>開催回数</td><td>6</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>出席者数</td><td>55</td><td>37</td><td>25</td><td>33</td><td>27</td><td>13</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開催回数	6	4	4	4	4	2	出席者数	55	37	25	33	27	13	DPCデータの分析結果を元に、医局会においてDPC入院期間Ⅱ以内の退院状況や副傷病名の付与率等を報告するとともに、DPCコーディング部会において、毎月報告を行い、平均在院日数の短縮に努めている。	23		○																																																																																																																																																			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																											
開催回数	6	4	4	4	4	2																																																																																																																																																																											
出席者数	55	37	25	33	27	13																																																																																																																																																																											
			80	①DPCの診療情報を分析し、診療ヘアドバックを行う。また、職員の分析にかかわるスキルアップに努める。	DPCデータの分析結果を診療へ活かすとともに適切なコーディングを周知するため、DPC部会兼コード検討委員会を開催した。 DPC部会兼コード検討委員会開催実績 (単位: 回、人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>開催回数</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td></tr> <tr><td>出席者数</td><td>53</td><td>49</td><td>49</td><td>58</td><td>40</td><td>9</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	開催回数	4	4	4	4	4	1	出席者数	53	49	49	58	40	9	早期のデータ入力を継続して促し適切なコーディングを行うことで診療報酬を漏れなく請求することができている。	23		○																																																																																																																																																			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																											
開催回数	4	4	4	4	4	1																																																																																																																																																																											
出席者数	53	49	49	58	40	9																																																																																																																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																						
4	医療に関する地域への支援	4	医療に関する地域への支援	4	医療に関する地域への支援	4	医療に関する地域への支援	4	医療に関する地域への支援	4																																																																						
(1)	地域の医療機関等との連携・支援	(1)	地域の医療機関等との連携・支援	(1)	地域の医療機関等との連携・支援	(1)	地域の医療機関等との連携・支援	(1)	地域の医療機関等との連携・支援	(1)																																																																						
	<p>本県の地域医療の確保のため、県立病院がその支援に大きな役割を果たし、信頼され、必要とされる病院であり続けるよう努めること。</p>	<p>地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、積極的な支援を進める。</p>	<p>地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、積極的な支援を進める。</p>	<p>①県内の医師確保・偏在解消等を県、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学等と連携して実施 ②県の医師派遣事業及び常勤医師の派遣への協力 ③地域医療連携推進法人制度を活用し、本県の医師確保、医師の人材育成及び地域医療構想推進を支援 ④静岡市清水区の桜ヶ丘病院へ医師派遣等を行い、清水区の病院医療の充実を支援 ⑤県内病院への常勤幹部医師の配置 ⑥専門医制度への対応 ⑦医療機器の共同利用の推進 ⑧ICT技術を活用した地域医療機関等との連携及び支援</p>	<p>①②⑤⑥県内の医師確保、偏在解消等を県、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学等と連携して実施するほか、地域医療支援病院としての使命を果たすため医師を確保したうえで、医師不足が顕著な公的病院に医師を派遣する。 ③④⑦⑧地域医療連携推進法人制度を活用して、静岡市清水区の桜ヶ丘病院への医師派遣等を行い、県の地域医療構想を推進することにより、地域において質が高く効率的な医療提供体制を構築する。</p>	<p>業務の実績(令4)</p> <p>医師定数(各年度4月1日現在) (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>定数</td><td>269</td><td>271</td><td>283</td><td>314</td><td>320</td><td>317</td></tr> </table> <p>(総合)</p> <p>医師派遣実績 (単位:機関、科、人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>医療機関等</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>9</td><td>6</td><td>8</td></tr> <tr><td>診療科</td><td>9</td><td>9</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>13</td></tr> <tr><td>延人員数</td><td>577</td><td>513</td><td>752</td><td>687</td><td>501</td><td>277</td></tr> </table> <p>(ヒモト)</p> <p>静岡市立静岡病院、焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、島田市立総合医療センター、中東連総合医療センター、県中西部発達障害者支援センター、静岡赤十字病院に医師を派遣した。また、県の要請に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣した。</p> <p>医師派遣実績(公的病院等) (単位:機関、科、人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>医療機関等</td><td>7</td><td>5</td><td>7</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>診療科</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>延人員数</td><td>803</td><td>202</td><td>282</td><td>277</td><td>351</td><td>179</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	定数	269	271	283	314	320	317	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	医療機関等	8	8	9	9	6	8	診療科	9	9	11	11	11	13	延人員数	577	513	752	687	501	277	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	医療機関等	7	5	7	7	8	8	診療科	2	2	2	3	3	3	延人員数	803	202	282	277	351	179	<p>県立病院としての役割を果たすため、継続的に医師確保に努めている一方、医師不足が顕著な公的病院等については医師を派遣した。 令和3年4月7日、静岡県知事より、県内初の地域医療連携推進法人となる「ふじのくに社会健康医療連合」の認定を受け、当院、桜ヶ丘病院、静岡社会健康医学大学院大学の3法人が参画している。静岡市清水区の医療を支える桜ヶ丘病院を存続させるため、総合病院から桜ヶ丘病院に対して医師派遣を行った。 (総合) 医療機関等に対しては、桜ヶ丘病院、島田市立総合医療センター、富士宮市立病院、伊豆赤十字病院、佐久間病院、川根本町いやしり診療所、静岡赤十字病院、つばさ静岡の計8箇所医師派遣を行った。 県内の8医療機関等に医師を派遣し、県内各地の地域医療を支援している。公的病院だけでなく、県の要請に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣し、地域貢献を果たしている。小児科医が不足する医療機関からの派遣要請には可能な限り対応していく必要があり、働き方改革への対応とのバランスをとりながらも要請には全て応えている。</p>	24		○
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																										
定数	269	271	283	314	320	317																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																										
医療機関等	8	8	9	9	6	8																																																																										
診療科	9	9	11	11	11	13																																																																										
延人員数	577	513	752	687	501	277																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																										
医療機関等	7	5	7	7	8	8																																																																										
診療科	2	2	2	3	3	3																																																																										
延人員数	803	202	282	277	351	179																																																																										
	<p>②小児1次救急医療への応援を行う。</p>	<p>静岡県急病センター、志太棟原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣した。</p>	<p>静岡県急病センター、志太棟原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣した。</p>	<p>医師派遣実績(急病センター) (単位:機関、科、人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>医療機関</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>診療科</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>延人員数</td><td>294</td><td>218</td><td>214</td><td>197</td><td>165</td><td>88</td></tr> </table> <p>【参考】医師派遣実績計(4年度9月末時点)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>医療機関</th><th>診療科</th><th>延人員数</th></tr> <tr><td>公的病院</td><td>8</td><td>3</td><td>179</td></tr> <tr><td>急病センター</td><td>2</td><td>2</td><td>88</td></tr> <tr><td>※重複のため</td><td>10</td><td>4※</td><td>267</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	医療機関	2	2	2	2	2	2	診療科	2	2	2	2	2	2	延人員数	294	218	214	197	165	88	区分	医療機関	診療科	延人員数	公的病院	8	3	179	急病センター	2	2	88	※重複のため	10	4※	267	<p>静岡県急病センター、志太棟原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣し、地域の小児1次救急医療を支援している。各センターからの要請自体が減少しているため、派遣延べ人数は年々減少しているが小児1次救急医療の成立のため、派遣要請には可能な限り対応していく方針であり、働き方改革への対応とのバランスをとりながらも要請には全て応えている。</p>	24		○																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																										
医療機関	2	2	2	2	2	2																																																																										
診療科	2	2	2	2	2	2																																																																										
延人員数	294	218	214	197	165	88																																																																										
区分	医療機関	診療科	延人員数																																																																													
公的病院	8	3	179																																																																													
急病センター	2	2	88																																																																													
※重複のため	10	4※	267																																																																													
	<p>④静岡社会健康大学院大学と連携して、医師の配置調整など「ふじのくに地域医療支援センター」業務を支援する。</p>	<p>『ふじのくに地域医療支援センター』の機能の一部業務である「県内での勤務を希望する医師および研修医の就業・キャリア形成等の相談」、「静岡県医学修学研修資金貸与者の勤務先病院の決定支援」の業務を受託し、県内医師確保のための役割の一部を担っている。</p>	<p>配置調整医師数及び県内勤務開始者数 (単位:名)</p> <table border="1"> <tr><th>勤務開始年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>配置調整医師数</td><td>64</td><td>64</td><td>76</td><td>108</td><td>125</td><td>160</td></tr> <tr><td>うち県内勤務医師数</td><td>41</td><td>39</td><td>47</td><td>71</td><td>83</td><td>104</td></tr> </table> <p>※配置調整は各前年度となる。</p>	勤務開始年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	配置調整医師数	64	64	76	108	125	160	うち県内勤務医師数	41	39	47	71	83	104	<p>静岡県急病センター、志太棟原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣し、地域の小児1次救急医療を支援している。各センターからの要請自体が減少しているため、派遣延べ人数は年々減少しているが小児1次救急医療の成立のため、派遣要請には可能な限り対応していく方針であり、働き方改革への対応とのバランスをとりながらも要請には全て応えている。</p>	24		○																																																				
勤務開始年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																										
配置調整医師数	64	64	76	108	125	160																																																																										
うち県内勤務医師数	41	39	47	71	83	104																																																																										
	<p>⑥専攻医を受け入れる体制を整備し、専攻医の募集を行う。</p>	<p>(総合) 令和4年4月、15人が専門研修プログラムに所属し、研修を開始した。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、当院ホームページにプログラム説明動画を公開のうえ専門研修プログラムの魅力を発信した。また、オンライン会議システムを利用し、面談を行うなど専攻医確保に努めている。 (こころ) 令和4年度は、6人の専攻医を受け入れ、病院見学では20人を受け入れるなど、専攻医の確保に努めている。 平成29年度から新制度に準じて実施された小児科専門医制度の基幹研修施設として、新制度に則った研修を実施している。</p>	<p>令和4年度は、6人の専攻医を受け入れ、病院見学では20人を受け入れるなど、専攻医の確保に努めている。 (こころ) 令和4年度は、6人の専攻医を受け入れ、病院見学では20人を受け入れるなど、専攻医の確保に努めている。</p>	<p>(総合) 19領域中10領域の専攻医確保に向けてホームページにプログラム説明動画を公開し、プログラムの魅力が伝わるような募集を行っている。また、オンライン会議システムを利用し、面談を行うなど専攻医確保に努めている。 (こころ) 令和4年度は、6人の専攻医を受け入れ、病院見学では20人を受け入れるなど、専攻医の確保に努めている。 (こころ) 小児科専攻医研修の基幹研修施設として、県中東部の連携施設10病院と作成した日本小児科学会の承認を受けたプログラムをもとに指導を行っている。今後も継続してプログラムの周知等を行い、専攻医の確保に努めていく。</p>	<p>・新専門医制度の開始以降、各病院で研修プログラムを作成し受入体制を整備するとともに、院内外研修医・学生に向けたプログラム説明会の開催や、首都圏等のレジナビへの参加、PR動画の作成など、積極的なPR活動を通じて、専攻医の確保に努めている。 ・令和4年度は、総合病院は10プログラムの定員57人に対し15人の採用、こころの医療センターは1プログラムの定員6人に対し6人の採用、こども病院は1プログラムの定員8人に対し3人の採用となり、制度開始初年度以降、概ね増加傾向である。 ・各病院の研修プログラムにおいては、充実した医療施設・設備のもと、専門医・指導医による指導体制を構築するとともに、他診療科とのチーム医療も研修できるよう配慮するなど、充実を図っている。 ・大都市圏への専攻医の集中は制度的な要因も大きく、今後、シーリング(募集定員の上限)による地方への専攻医の分散等の影響も見据え、地域の連携病院との協力のもと、専攻医にとって魅力的な指導体制と研修プログラムを確保し、積極的な採用活動のもと、地域医療にも貢献する専攻医を安定的に確保できるよう努めることが期待される。</p>	25		○																																																																								
	<p>⑦地域の医療機関向けにCT・MRIの地域支援検査枠を増設し、共同利用件数の向上を図る。</p>	<p>地域における医療機器の効率的な活用のため、CT・MRIの共同利用に取り組んでおり、地域医療の支援に貢献している。市内他施設における機器整備が進められており、共同利用件数も令和2年度を底に持ち直している。</p>	<p>CT、MRI共同利用 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>CT</td><td>847</td><td>896</td><td>881</td><td>659</td><td>722</td><td>409</td></tr> <tr><td>MR I</td><td>543</td><td>586</td><td>595</td><td>472</td><td>517</td><td>263</td></tr> <tr><td>CT(撮影のみ)</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>MRI(撮影のみ)</td><td>131</td><td>24</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	CT	847	896	881	659	722	409	MR I	543	586	595	472	517	263	CT(撮影のみ)	2	1	0	0	0	0	MRI(撮影のみ)	131	24	1	0	0	0	<p>令和4年度のCT・MRI共同利用件数は、桜ヶ丘病院と今年度改めて協定を締結し、結果として、令和3年度を上回る利用実績を見込んでいる。</p>	<p>・CT・MRIの共同利用件数は市内他病院の機器整備が進んだ影響により減少していたが、令和4年度は桜ヶ丘病院との協定締結等の影響により令和3年度を上回る見込みであり、地域医療を支援する役割を果たしている。</p>																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																										
CT	847	896	881	659	722	409																																																																										
MR I	543	586	595	472	517	263																																																																										
CT(撮影のみ)	2	1	0	0	0	0																																																																										
MRI(撮影のみ)	131	24	1	0	0	0																																																																										

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																						
						説明																																																																											
			86	③ふじのくにねっとを活用し、地域の病院・診療所・調剤薬局・訪問看護ステーションとの連携を強化する。 ・ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル協議会の運営を維持する。	地域医療連携推進事業補助金を活用し、ふじのくにねっと参加施設の新規システム構築及び機器更新を実施している。 また、令和2年3月からは、地域医療情報連携ネットワークにおける同意取得方法に関する厚生労働省通知を受け、患者への参加同意取得手続等の運用の見直しを進め、令和4年度についても、ふじのくにねっと参加施設の利便性に貢献した。	総合	A	ネットワーク全体で病病・病診連携における積極開示をルール化することを理事会で方針として採択し、先進事例の共有等の取組を推進している。																																																																									
			87	③国内外の医療機関との映像情報システムを用い、カンファレンス等を実施する。	小児医療ネットワークを通じて、浜松医科大学等との合同カンファレンスやマレーシア国立循環器病センター (IJN) との接続試験を兼ねた症例検討会を実施している。また、他医療機関(4施設)と連携し、心エコー画像遠隔診断を実施している。 心エコー画像遠隔診断実績 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	症例数	7	5	3	0	2	3	こども	A	小児循環器科専門医研修施設として、浜松医科大学等との映像情報を通じたカンファレンスを実施している。また、マレーシア国立循環器病センターともカンファレンスを実施している。 沼津市立総合病院など4医療機関との心エコー画像遠隔診断を令和4年9月末時点で3件実施しており、医療機関からの相談について映像情報を活用して応じている。																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																											
症例数	7	5	3	0	2	3																																																																											
(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及	(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及	(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																						
鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に対し、県立病院が有する人材や知見を積極的に提供し、県内の医療従事者の養成に貢献すること。	公的機関からの医療に係る鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請に対し、引き続き柔軟に対応していくほか、医療従事者が他の機関・団体における研修や研究等の活動に参画しやすい体制づくりに取り組む。また、院内研修等の教育研修を県内の医療従事者へ積極的に開放していく。	①公的機関からの医療に係る鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請への対応 ②学会や研修会等へ積極的に参加できる仕組みづくり ③認定看護師等の資格保有者の活用 ④県内の医療従事者への教育研修機能の開放 ⑤県において実施する児童虐待早期発見医療体制整備事業に参画	88	①院内外の研修会等を定期的に開催し、地域の医療機関へ情報提供する。	拡大カンファレンス実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>5回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">参加人数</td> <td>院内</td> <td>153</td> <td>194</td> <td>178</td> <td>73</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>院外</td> <td>128</td> <td>162</td> <td>108</td> <td>49</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>281</td> <td>356</td> <td>286</td> <td>122</td> <td>114</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	回数	6回	6回	5回	3回	2回	2回	参加人数	院内	153	194	178	73	43	院外	128	162	108	49	36	合計	281	356	286	122	114	63	総合	A	がん診療部主催の拡大カンファレンス(多職種カンファレンス)では、がん症例の診断や治療方法等について、院内外での多職種による包括的な議論が行われている。 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症を考慮し、開催回数を制限して開催している。																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																											
回数	6回	6回	5回	3回	2回	2回																																																																											
参加人数	院内	153	194	178	73	43																																																																											
	院外	128	162	108	49	36																																																																											
合計	281	356	286	122	114	63																																																																											
			89	①他団体の講師派遣依頼に協力する。	講師派遣実績 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>51</td> <td>43</td> <td>56</td> <td>58</td> <td>43</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>31</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>34</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>82</td> <td>83</td> <td>94</td> <td>92</td> <td>64</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	医師	51	43	56	58	43	18	その他	31	40	38	34	21	20	計	82	83	94	92	64	38	総合	A	他団体等が主催する講演会の講師として、医師や認定看護師を派遣しており、令和4年度は、令和3年度実績をやや上回る見込みであり、積極的に実施している。																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																											
医師	51	43	56	58	43	18																																																																											
その他	31	40	38	34	21	20																																																																											
計	82	83	94	92	64	38																																																																											
			90	①②他団体等が主催する講習会、研究会、学会への講師派遣を推進する。	院外講演会講師派遣状況(医師) (単位: 回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> 院外講演会講師派遣状況(看護師) (単位: 回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>33</td> <td>17</td> <td>30</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	派遣回数	18	21	22	4	9	7	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	派遣回数	28	26	33	17	30	13	ひろ	A	新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、WEBを活用しつつ他団体等が主催する講演会の講師やアドバイザーとして医師や看護師を派遣する等、積極的な地域支援を行い、前年度より派遣回数が増加している。																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																											
派遣回数	18	21	22	4	9	7																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																											
派遣回数	28	26	33	17	30	13																																																																											
			91	①医療にかかる鑑定等の要請への協力など積極的に対応する。	医療観察法の鑑定医として協力するなど、積極的な対応を図っている。 医療観察法による鑑定入院受入実績 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	こころ	12	4	5	10	8	3	ひろ	A	令和4年度は医療観察法に係る鑑定について3件の受入を行っている。	26		○																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																											
こころ	12	4	5	10	8	3																																																																											
			92	①特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化するため、講座や相談会などを継続的に開催する。 ⑤児童虐待早期発見医療体制整備事業に参画し、地域医療機関の相談対応や教育研修を行う。	精神保健講座等開催実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神保健</td> <td>児童養護施設巡回講座</td> <td>児童養護施設巡回講座</td> <td>児童養護施設巡回講座</td> <td>児童養護施設巡回講座</td> <td>児童養護施設巡回講座</td> <td>児童養護施設巡回講座</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>県内小中</td> <td>こども</td> <td>県内小中</td> <td>こども</td> <td>県内小中</td> <td>こども</td> </tr> <tr> <td>参加者数等</td> <td>5回 11回</td> <td>5回 10回</td> <td>5回 11回</td> <td>2回 11回</td> <td>4回 10回</td> <td>1回 6回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>156人 11施設</td> <td>159人 10施設</td> <td>96人 11施設</td> <td>49人 11施設</td> <td>140人 10施設</td> <td>34人 6施設</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	精神保健	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	対象	県内小中	こども	県内小中	こども	県内小中	こども	参加者数等	5回 11回	5回 10回	5回 11回	2回 11回	4回 10回	1回 6回		156人 11施設	159人 10施設	96人 11施設	49人 11施設	140人 10施設	34人 6施設	こども	A	教師を対象とした精神保健講座や児童養護施設の巡回相談を継続的にを行い、学校・地域との連携強化を図っている。 令和4年度に静岡県から受託した児童虐待早期発見医療体制整備事業において、院内の児童虐待対応体制を整備するとともに、地域医療機関の相談対応や教育研修を行っている。																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																											
精神保健	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座	児童養護施設巡回講座																																																																											
対象	県内小中	こども	県内小中	こども	県内小中	こども																																																																											
参加者数等	5回 11回	5回 10回	5回 11回	2回 11回	4回 10回	1回 6回																																																																											
	156人 11施設	159人 10施設	96人 11施設	49人 11施設	140人 10施設	34人 6施設																																																																											
			93	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	公費負担患者状況 (単位: 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児慢性</td> <td>1,842</td> <td>1,837</td> <td>1,771</td> <td>1,691</td> <td>1,674</td> <td>1,446</td> </tr> <tr> <td>育成医療</td> <td>471</td> <td>114</td> <td>55</td> <td>36</td> <td>20</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>養育医療</td> <td>164</td> <td>189</td> <td>182</td> <td>190</td> <td>195</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>特定疾患</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>115</td> <td>88</td> <td>100</td> <td>92</td> <td>115</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>176</td> <td>182</td> <td>182</td> <td>181</td> <td>188</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>精神保健</td> <td>83</td> <td>89</td> <td>69</td> <td>52</td> <td>50</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>119</td> <td>143</td> <td>146</td> <td>204</td> <td>751</td> <td>771</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,975</td> <td>2,645</td> <td>2,512</td> <td>2,452</td> <td>3,002</td> <td>2,622</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	小児慢性	1,842	1,837	1,771	1,691	1,674	1,446	育成医療	471	114	55	36	20	5	養育医療	164	189	182	190	195	97	特定疾患	5	3	7	6	9	7	生活保護	115	88	100	92	115	110	生活保護	176	182	182	181	188	156	精神保健	83	89	69	52	50	30	その他	119	143	146	204	751	771	計	2,975	2,645	2,512	2,452	3,002	2,622	こども	A	公費負担医療を提供するためには、本人による申請が必要となることから、証明書・診断書の発行など公費適用患者の利便性を重視して対応している。			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																											
小児慢性	1,842	1,837	1,771	1,691	1,674	1,446																																																																											
育成医療	471	114	55	36	20	5																																																																											
養育医療	164	189	182	190	195	97																																																																											
特定疾患	5	3	7	6	9	7																																																																											
生活保護	115	88	100	92	115	110																																																																											
生活保護	176	182	182	181	188	156																																																																											
精神保健	83	89	69	52	50	30																																																																											
その他	119	143	146	204	751	771																																																																											
計	2,975	2,645	2,512	2,452	3,002	2,622																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																																																																																																																																																																									
			94	①研究雑費や研究旅費等の予算化等により学会や研修会等への参加がしやすい体制を維持する。	<p>各病院</p> <p>(総合) 海外研修の実績 (4年度9月末時点) (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">内 容</th><th>人数</th></tr> <tr><td>元年度</td><td>11th CONGRESS OF THE VASCULAR ACCESS SOCIETY</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>AATS 2019 Annual Meeting</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>米国胸病学会2019国際会議</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>Jung Conference in Wroclaw 2019</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>24th World Congress of Dermatology Milan 2019</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>SSAI 2019</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>第31回欧州病理学会</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>欧州呼吸器学会国際会議2019</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>第28回日本皮膚科学・性病学会学術大会</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>ヨーロッパ救急医学会</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>フェスト年次会議2019</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>37th WORLD CONGRESS OF ENDOUROLOGY</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>American Pancreatic Association</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>ANS Kidney Week 2019</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>アジア太平洋呼吸器学会国際会議2019</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>EuroEcho 2019</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>ASCVT2020</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>第109回 USCAP2020</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>臨床研修医UCLA研修</td><td>18</td></tr> <tr><td>2年度</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3年度</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4年度(9月末)</td><td>オーストラリア交換研修</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>34th European Congress of Pathology</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>欧州呼吸器学会国際会議2022</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>ICS 2022 VIENNA</td><td>3</td></tr> <tr><td>(総合)</td><td>計</td><td>62</td></tr> </table> <p>(こころ)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="7">学会発表実績 (国内) (単位:人)</th></tr> <tr><th>区 分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>600</td><td>596</td><td>547</td><td>51</td><td>102</td><td>151</td></tr> </table> <p>(こども)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="7">学会発表実績 (単位:件)</th></tr> <tr><th>区 分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>10</td><td>10</td><td>12</td><td>4</td><td>6</td><td>2</td></tr> </table> <p>③院内における資格取得を支援し、活用を促進する。</p> <p>本部(企画)</p> <table border="1"> <tr><th colspan="7">資格等取得助成制度利用者 (単位:人)</th></tr> <tr><th>職 種</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>総合</td><td>看護師 8</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>10</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>コメディカル 12</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>事務 0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>20</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>13</td><td>4</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>看護師 0</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>コメディカル 0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>事務 0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>こども</td><td>看護師 3</td><td>7</td><td>6</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>コメディカル 0</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>事務 1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>4</td><td>11</td><td>10</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>本部</td><td>看護師 0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>コメディカル 11</td><td>7</td><td>8</td><td>12</td><td>13</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>事務 12</td><td>4</td><td>9</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>計</td><td>14</td><td>11</td><td>18</td><td>13</td><td>14</td><td>5</td></tr> </table>	内 容		人数	元年度	11th CONGRESS OF THE VASCULAR ACCESS SOCIETY	2		AATS 2019 Annual Meeting	2		米国胸病学会2019国際会議	3		Jung Conference in Wroclaw 2019	1		24th World Congress of Dermatology Milan 2019	1		SSAI 2019	3		第31回欧州病理学会	1		欧州呼吸器学会国際会議2019	3		第28回日本皮膚科学・性病学会学術大会	2		ヨーロッパ救急医学会	1		フェスト年次会議2019	3		37th WORLD CONGRESS OF ENDOUROLOGY	2		American Pancreatic Association	3		ANS Kidney Week 2019	2		アジア太平洋呼吸器学会国際会議2019	2		EuroEcho 2019	2		ASCVT2020	1		第109回 USCAP2020	2		臨床研修医UCLA研修	18	2年度			3年度			4年度(9月末)	オーストラリア交換研修	1		34th European Congress of Pathology	1		欧州呼吸器学会国際会議2022	2		ICS 2022 VIENNA	3	(総合)	計	62	学会発表実績 (国内) (単位:人)							区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	600	596	547	51	102	151	学会発表実績 (単位:件)							区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	10	10	12	4	6	2	資格等取得助成制度利用者 (単位:人)							職 種	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	総合	看護師 8	0	0	3	10	0		コメディカル 12	0	0	1	1	4		事務 0	0	0	0	2	0	計	20	0	0	4	13	4	こころ	看護師 0	0	2	1	0	0		コメディカル 0	0	1	0	0	0		事務 0	0	0	0	0	0	計	0	0	3	1	0	0	こども	看護師 3	7	6	2	2	1		コメディカル 0	4	4	0	0	0		事務 1	0	0	0	0	0	計	4	11	10	2	2	1	本部	看護師 0	0	0	0	0	0		コメディカル 11	7	8	12	13	1		事務 12	4	9	1	1	4	計	14	11	18	13	14	5	<p>A</p> <p>医師や研修医をはじめとする医療スタッフが研究雑費や研究旅費等の予算化等により国内外の学会や研修会等へ参加できる体制を確保している。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた令和2年度及び3年度よりも学会への参加が増加している。医師や研修医などの医療スタッフが国内外の学会や研修会等へ参加できる体制を引き続き確保していく。</p> <p>A</p> <p>平成24年度以降、資格等取得助成制度により資格取得を支援している。これまで、毎年度一定数の利用者があり、令和4年度については9月末までに認定超音波検査士等で5人が利用しており、制度の利用者は前年を上回る見込みである。意欲ある職員の資質向上に資することが出来ている。</p>	<p>R4暫定県評価</p>			
内 容		人数																																																																																																																																																																																																																																																																	
元年度	11th CONGRESS OF THE VASCULAR ACCESS SOCIETY	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	AATS 2019 Annual Meeting	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	米国胸病学会2019国際会議	3																																																																																																																																																																																																																																																																	
	Jung Conference in Wroclaw 2019	1																																																																																																																																																																																																																																																																	
	24th World Congress of Dermatology Milan 2019	1																																																																																																																																																																																																																																																																	
	SSAI 2019	3																																																																																																																																																																																																																																																																	
	第31回欧州病理学会	1																																																																																																																																																																																																																																																																	
	欧州呼吸器学会国際会議2019	3																																																																																																																																																																																																																																																																	
	第28回日本皮膚科学・性病学会学術大会	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	ヨーロッパ救急医学会	1																																																																																																																																																																																																																																																																	
	フェスト年次会議2019	3																																																																																																																																																																																																																																																																	
	37th WORLD CONGRESS OF ENDOUROLOGY	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	American Pancreatic Association	3																																																																																																																																																																																																																																																																	
	ANS Kidney Week 2019	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	アジア太平洋呼吸器学会国際会議2019	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	EuroEcho 2019	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	ASCVT2020	1																																																																																																																																																																																																																																																																	
	第109回 USCAP2020	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	臨床研修医UCLA研修	18																																																																																																																																																																																																																																																																	
2年度																																																																																																																																																																																																																																																																			
3年度																																																																																																																																																																																																																																																																			
4年度(9月末)	オーストラリア交換研修	1																																																																																																																																																																																																																																																																	
	34th European Congress of Pathology	1																																																																																																																																																																																																																																																																	
	欧州呼吸器学会国際会議2022	2																																																																																																																																																																																																																																																																	
	ICS 2022 VIENNA	3																																																																																																																																																																																																																																																																	
(総合)	計	62																																																																																																																																																																																																																																																																	
学会発表実績 (国内) (単位:人)																																																																																																																																																																																																																																																																			
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																													
件数	600	596	547	51	102	151																																																																																																																																																																																																																																																													
学会発表実績 (単位:件)																																																																																																																																																																																																																																																																			
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																													
件数	10	10	12	4	6	2																																																																																																																																																																																																																																																													
資格等取得助成制度利用者 (単位:人)																																																																																																																																																																																																																																																																			
職 種	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																													
総合	看護師 8	0	0	3	10	0																																																																																																																																																																																																																																																													
	コメディカル 12	0	0	1	1	4																																																																																																																																																																																																																																																													
	事務 0	0	0	0	2	0																																																																																																																																																																																																																																																													
計	20	0	0	4	13	4																																																																																																																																																																																																																																																													
こころ	看護師 0	0	2	1	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
	コメディカル 0	0	1	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
	事務 0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
計	0	0	3	1	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
こども	看護師 3	7	6	2	2	1																																																																																																																																																																																																																																																													
	コメディカル 0	4	4	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
	事務 1	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
計	4	11	10	2	2	1																																																																																																																																																																																																																																																													
本部	看護師 0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
	コメディカル 11	7	8	12	13	1																																																																																																																																																																																																																																																													
	事務 12	4	9	1	1	4																																																																																																																																																																																																																																																													
計	14	11	18	13	14	5																																																																																																																																																																																																																																																													
(3) 県民への情報提供の充実	(3) 県民への情報提供の充実	(3) 県民への情報提供の充実	96	①県民向け・医療機関向けの公開講座等を開催する。	<p>各病院(企画)</p> <p>特色を活かした公開講座等を企画、開催している。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="8">公開講座 (単位:件、人)</th></tr> <tr><th rowspan="2">病院</th><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">29年度</th><th rowspan="2">30年度</th><th rowspan="2">元年度</th><th rowspan="2">2年度</th><th rowspan="2">3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><th>4目標</th></tr> <tr><td rowspan="3">総合</td><td>県民向け</td><td>10</td><td>6</td><td>9</td><td>3</td><td>5</td><td>10</td></tr> <tr><td>医療機関</td><td>712</td><td>524</td><td>349</td><td>125</td><td>104</td><td>10</td></tr> <tr><td>向け</td><td>27</td><td>21</td><td>27</td><td>10</td><td>9</td><td>27</td></tr> <tr><td rowspan="3">こころ</td><td>県民向け</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>医療機関</td><td>5</td><td>3</td><td>8</td><td>3</td><td>0</td><td>5</td></tr> <tr><td>向け</td><td>485</td><td>88</td><td>115</td><td>20</td><td>0</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="3">こども</td><td>県民向け</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>医療機関</td><td>149</td><td>195</td><td>188</td><td>20</td><td>127</td><td>36</td></tr> <tr><td>向け</td><td>17</td><td>13</td><td>6</td><td>10</td><td>15</td><td>3</td></tr> <tr><td>計</td><td>799</td><td>698</td><td>218</td><td>422</td><td>721</td><td>153</td></tr> </table> <p>きこえとことばのセンター主催研修会等の開催件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>区 分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>7</td><td>8</td><td>5</td><td>32</td><td>33</td><td>48</td></tr> </table>	公開講座 (単位:件、人)								病院	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	4目標	総合	県民向け	10	6	9	3	5	10	医療機関	712	524	349	125	104	10	向け	27	21	27	10	9	27	こころ	県民向け	2	2	2	0	0	2	医療機関	5	3	8	3	0	5	向け	485	88	115	20	0	—	こども	県民向け	3	3	6	1	3	5	医療機関	149	195	188	20	127	36	向け	17	13	6	10	15	3	計	799	698	218	422	721	153	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	件数	7	8	5	32	33	48	<p>A</p> <p>総合病院では、外部向け講座としてがん医療公開講座を開催している。また、きこえとことばのセンターでは難聴児の早期発見、早期介入を目的に、地域の医療従事者や行政担当者による研修会等を実施している。ただし、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、実施件数は昨年度を上回る見込みである。このころの医療においては、2年ぶりにボランティア研修会を開催し、新規ボランティアの受入を行っている。</p> <p>A</p> <p>公開講座等は、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き開催を中止したのも多いが、令和4年度上半期時点では17件と、令和3年度上半期実績12件を上回っている。きこえとことばのセンターにおいては、聴覚検査の情報集約のためのアプリ開発に向けた新生児スクリーニングアプリワーキンググループ等を立ち上げたこともあり、令和4年度上半期時点で研修会等を48件実施し、すでに令和3年度実績を上回っており、難聴児への支援が拡充されている。</p>	27	1	○																																																																																																																																																		
公開講座 (単位:件、人)																																																																																																																																																																																																																																																																			
病院	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																												
							4目標																																																																																																																																																																																																																																																												
総合	県民向け	10	6	9	3	5	10																																																																																																																																																																																																																																																												
	医療機関	712	524	349	125	104	10																																																																																																																																																																																																																																																												
	向け	27	21	27	10	9	27																																																																																																																																																																																																																																																												
こころ	県民向け	2	2	2	0	0	2																																																																																																																																																																																																																																																												
	医療機関	5	3	8	3	0	5																																																																																																																																																																																																																																																												
	向け	485	88	115	20	0	—																																																																																																																																																																																																																																																												
こども	県民向け	3	3	6	1	3	5																																																																																																																																																																																																																																																												
	医療機関	149	195	188	20	127	36																																																																																																																																																																																																																																																												
	向け	17	13	6	10	15	3																																																																																																																																																																																																																																																												
計	799	698	218	422	721	153																																																																																																																																																																																																																																																													
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																													
件数	7	8	5	32	33	48																																																																																																																																																																																																																																																													
			97	①【総/子】・県民向けイベントの開催や参加に努める。	<p>総合、こども</p> <p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、オープンホスピタルを開催中止とした。</p> <p>オープンホスピタル来場者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区 分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>来場者数</td><td>1,400</td><td>1,200</td><td>1,200</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table> <p>(こども)</p> <p>例年、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)が主催の「こどもみらいプロジェクト秋まつりinツインメッセ」に参加し、健康相談及びこどもの医師・ナース服の着用体験のブースを出展していたが、令和2年度以降はコロナ禍の状況を鑑み参加していない。</p> <p>子どもみらいプロジェクト来場者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区 分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>健康相談</td><td>22</td><td>10</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>写真撮影</td><td>957</td><td>1,064</td><td>792</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>※例年2日間開催されるが、令和元年度は台風の影響により、1日のみの開催</p>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	来場者数	1,400	1,200	1,200	—	—	—	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	健康相談	22	10	3	0	0	0	写真撮影	957	1,064	792	0	0	0	<p>A</p> <p>オープンホスピタルの開催などにより、県民の健康意識の高揚や健康に関する知識の充実につながってきたが、令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を見送っている。開催を見送っていることで、適正な評価が困難であることから、未評価とする。ただし、人数を制限した公開講座(No.96)等は、縮小して開催しており、県民への情報提供は継続している。また、「病院だより」等、健康情報が記載されている冊子をホームページに掲載しており、健康に関する知識の充実につなげている。</p>																																																																																																																																																																																																																										
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																													
来場者数	1,400	1,200	1,200	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																													
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																													
健康相談	22	10	3	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
写真撮影	957	1,064	792	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																													
			98	②県民及び他の医療機関従事者に、県立病院機構の有する医療情報等を積極的に提供するため、機構ホームページを適時、的確に更新する。	<p>各病院(企画)</p> <p>機構全体のトピックスやプレスリリース等をホームページに掲載し積極的に情報発信を行った。</p> <p>セクション別アクセス件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>区 分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>本部</td><td>218,435</td><td>226,519</td><td>232,673</td><td>246,234</td><td>234,744</td><td>129,134</td></tr> <tr><td>総合</td><td>2,017,729</td><td>2,322,348</td><td>2,902,755</td><td>2,751,715</td><td>2,542,438</td><td>1,274,900</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>275,298</td><td>376,258</td><td>662,762</td><td>659,939</td><td>674,386</td><td>327,100</td></tr> <tr><td>こども</td><td>1,551,263</td><td>1,690,943</td><td>1,772,069</td><td>1,800,380</td><td>1,810,951</td><td>834,101</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,062,725</td><td>4,616,068</td><td>5,570,259</td><td>5,458,268</td><td>5,262,519</td><td>2,565,235</td></tr> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	本部	218,435	226,519	232,673	246,234	234,744	129,134	総合	2,017,729	2,322,348	2,902,755	2,751,715	2,542,438	1,274,900	こころ	275,298	376,258	662,762	659,939	674,386	327,100	こども	1,551,263	1,690,943	1,772,069	1,800,380	1,810,951	834,101	合計	4,062,725	4,616,068	5,570,259	5,458,268	5,262,519	2,565,235	<p>A</p> <p>機構全体のトピックスやプレスリリース等をホームページに掲載し積極的に情報発信を行っている。各病院において、診療内容やイベント開催等の基本的な情報を掲載し業務活動の広報に努めているほか、感染症に係る情報等の突発的な情報についても丁寧かつ迅速に伝えるため、ホームページを積極的に活用している。</p>																																																																																																																																																																																																																			
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																													
本部	218,435	226,519	232,673	246,234	234,744	129,134																																																																																																																																																																																																																																																													
総合	2,017,729	2,322,348	2,902,755	2,751,715	2,542,438	1,274,900																																																																																																																																																																																																																																																													
こころ	275,298	376,258	662,762	659,939	674,386	327,100																																																																																																																																																																																																																																																													
こども	1,551,263	1,690,943	1,772,069	1,800,380	1,810,951	834,101																																																																																																																																																																																																																																																													
合計	4,062,725	4,616,068	5,570,259	5,458,268	5,262,519	2,565,235																																																																																																																																																																																																																																																													
			99	③県民に病院の運営にかかる情報を戦略的に広報するため、報道機関向けの情報発信の推進を図る。	<p>各病院(企画)</p> <p>最先端医療への取組や各病院で開催する県民向けの公開講座、各種イベントなどについて、積極的に情報発信を行い、情報発信の推進を図った。</p> <p>記者情報提供件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>区 分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>提供件数</td><td>47</td><td>43</td><td>36</td><td>19</td><td>29</td><td>14</td></tr> <tr><td>掲載件数</td><td>36</td><td>30</td><td>24</td><td>13</td><td>20</td><td>13</td></tr> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	提供件数	47	43	36	19	29	14	掲載件数	36	30	24	13	20	13	<p>A</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関する情報提供などを適切に行っている。令和元年前と比較すると新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントに関する情報は減少しているが、人工内耳セミナーの開催や、臓臓がんだックの開始など、適切な時期に情報発信している。</p> <p>A</p> <p>県政記者クラブへの情報提供は、イベント開催告知にとどまらず、令和4年度は抗がん剤治療に伴う脱毛抑制のための頭部冷却装置(PAXMAN)導入や、科学雑誌への研究論文の掲載など、病院機構が提供する高度・専門医療に対する県民の理解や共感を得るための効果的・効率的な発信ツールとなっている。報道機関や一般の県民にとって理解が難しい医療に関する専門用語や複雑な医療制度等については、わかりやすさに配慮した情報発信が期待される。</p>																																																																																																																																																																																																																																								
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																																																																																																																																																																													
提供件数	47	43	36	19	29	14																																																																																																																																																																																																																																																													
掲載件数	36	30	24	13	20	13																																																																																																																																																																																																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																												
						説明																																																																																	
5 災害等における医療救護	5 災害等における医療救護	5 災害等における医療救護	-	-	-	-	-																																																																																
県民の安心・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担い、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。	地震などによる大規模災害の発生が危惧される静岡県の県立病院として、災害等への日頃からの備えを進め、発生時には静岡県医療救護計画等に基づき、医療救護活動に従事する。	県立病院として、県内外の災害等の発生に対し十分な備えをするとともに、医療救護活動の拠点としての役割を果たす。																																																																																					
(1) 医療救護活動の拠点機能	(1) 医療救護活動の拠点機能	(1) 医療救護活動の拠点機能	-	-	-	-	-																																																																																
災害等における本県の医療救護活動の拠点機能を担うこと。特に、県立総合病院は、基幹災害拠点病院として、県内の災害時医療の中心的役割を果たすことができるよう機能強化を図ること。あわせて、国の原子力災害対策指針に基づく新たな原子力災害医療体制の整備に努めること。また、県立こころの医療センターは災害時における精神医療分野の、県立こころ病院は災害時における小児医療分野の、それぞれにおける基幹的役割を果たすこと、日頃から備えること。	日頃から実践的な災害医療訓練を定期的に開催するなど、医療救護活動の拠点となる病院としての機能を維持向上し、災害等の発生時には重篤患者の受入れ、県内外のDMAT(災害派遣医療チーム)・DPAT(災害派遣精神医療チーム)との連携など求められる機能を発揮する。特に、県立総合病院は基幹災害拠点病院として県内の災害医療の中心的役割を、県立こころの医療センター及び県立こころ病院は、それぞれの分野で基幹的役割を果たすことができるよう体制整備に取り組む。	①災害拠点病院(小児分野を含む)等として、災害時の医療救護活動の拠点機能を担う ②災害時における精神医療分野の拠点病院として、中心的な役割を担う ③小児専門医療機関間の災害時情報交換システムと相互協力関係の構築	100 ～ 102	総合	<p>①災害医療訓練を実施する。 ①災害対応マニュアル等の整備、見直しを行い発生時に迅速な対応ができるようにする。 ①【心】災害等に対する日頃の備えに努め、大規模災害等における本県の精神分野の災害時医療に対応する。 ①【子】災害時における小児医療の拠点としての院内体制の整備に努める。 ②【心】一時避難所機能等災害時における精神医療分野の拠点病院としての役割を担うための訓練を実施する。 ③【子】小児医療総合施設協議会において実施する小児専門医療機関間の災害時における情報交換システムに参加、協力していく。</p> <p>大規模災害等における本県の精神分野における中核的拠点として災害時医療に対応できるよう、各種訓練を実施したほか、DPAT隊を派遣した。 令和3年2月に県内初となる災害拠点精神科病院の指定を受けている。</p> <p>防災訓練(避難訓練)実績</p> <table border="1"> <tr><td>元年度</td><td>令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加</td></tr> <tr><td>2年度</td><td>令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加</td></tr> <tr><td>3年度</td><td>令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td>4年度(9月末)</td><td>令和4.7.13 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> </table> <p>DMAT派遣実績</p> <table border="1"> <tr><td>元年度</td><td>令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)</td></tr> <tr><td>2年度</td><td>令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)</td></tr> <tr><td>3年度</td><td>令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)</td></tr> <tr><td>4年度</td><td>令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)</td></tr> </table> <p>主な活動実績</p> <table border="1"> <tr><td>3年度</td><td>令和3.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)</td></tr> <tr><td>4年度(9月末)</td><td>令和3.7〜 熱海市伊豆山土砂災害救護へのDMAT派遣(県対策本部・熱海線支隊) (DMAT隊員10名)</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)</td></tr> </table>	元年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加		令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加		令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加		令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施		令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加		令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加	2年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加		令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加		令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加		令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施		令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加		令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加	3年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加		令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施		令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加	4年度(9月末)	令和4.7.13 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和4.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和4.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加		令和4.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施		令和4.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和4.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加	元年度	令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動		令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援		令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)	2年度	令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動		令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援		令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)	3年度	令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動		令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援		令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)	4年度	令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動		令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援		令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)	3年度	令和3.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)	4年度(9月末)	令和3.7〜 熱海市伊豆山土砂災害救護へのDMAT派遣(県対策本部・熱海線支隊) (DMAT隊員10名)		令和4.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)	情報伝達・避難訓練等、災害の発生を想定し、基幹災害拠点病院の役割を果たすべく各種訓練を企画、実施している。今年度、本県を対象県として行われた大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)では、DMAT隊員が企画に参加、訓練当日は院長、事務部長、看護部長も参加した。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実に努める。			
元年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加																																																																																						
	令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加																																																																																						
	令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																						
	令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施																																																																																						
	令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加																																																																																						
	令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加																																																																																						
2年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加																																																																																						
	令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加																																																																																						
	令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																						
	令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施																																																																																						
	令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加																																																																																						
	令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練に参加																																																																																						
3年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																						
	令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施																																																																																						
	令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
4年度(9月末)	令和4.7.13 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和4.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和4.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																						
	令和4.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施																																																																																						
	令和4.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和4.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
元年度	令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動																																																																																						
	令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援																																																																																						
	令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)																																																																																						
2年度	令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動																																																																																						
	令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援																																																																																						
	令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)																																																																																						
3年度	令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動																																																																																						
	令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援																																																																																						
	令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)																																																																																						
4年度	令和2.9.10-11 岩城15号で被災した宅業職に派遣(宇治市)で活動																																																																																						
	令和2.10.13 岩城15号への対応に係る県庁業務再開支援本部支援																																																																																						
	令和2.3.3-5 新型コロナウイルス対応に係る派遣(埼玉県和光市 税務大学校)																																																																																						
3年度	令和3.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)																																																																																						
4年度(9月末)	令和3.7〜 熱海市伊豆山土砂災害救護へのDMAT派遣(県対策本部・熱海線支隊) (DMAT隊員10名)																																																																																						
	令和4.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)																																																																																						
(2) 他県等の医療救護への協力	(2) 他県等の医療救護への協力	(2) 他県等の医療救護への協力	103	総合	<p>・令和4年9月に新採職員向け消火避難訓練を実施した。 ・なお、BCPに基づく院内総合防災訓練と政府訓練とを同日連動して行うことを決定し、厚生労働省DMAT事務局担当者及び静岡DMAT隊員と訓練企画の調整を行った。</p> <p>防災訓練(避難訓練)実績</p> <table border="1"> <tr><td>元年度</td><td>令和3.3.23 静岡県総合防災訓練(本部演習訓練)にDMAT隊員6名が参加した</td></tr> <tr><td></td><td>令和3.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)にDMAT隊員4名が参加した</td></tr> <tr><td></td><td>令和3.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)にDMAT隊員10人が参加した</td></tr> <tr><td></td><td>令和3.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施</td></tr> <tr><td></td><td>令和3.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和3.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td>2年度</td><td>令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td>3年度</td><td>令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td>4年度(9月末)</td><td>令和4.7.13 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加</td></tr> </table> <p>DMAT派遣実績</p> <table border="1"> <tr><td>3年度</td><td>令和3.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)</td></tr> <tr><td>4年度(9月末)</td><td>令和3.7〜 熱海市伊豆山土砂災害救護へのDMAT派遣(県対策本部・熱海線支隊) (DMAT隊員10名)</td></tr> <tr><td></td><td>令和4.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)</td></tr> </table> <p>DMAT訓練実績(単位:回)</p> <table border="1"> <tr><td>区画</td><td>消防訓練</td><td>防災訓練</td><td>消防訓練</td><td>防災訓練</td><td>消防訓練</td><td>防災訓練</td></tr> <tr><td>訓練</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>1</td><td>4</td><td>4</td></tr> </table>	元年度	令和3.3.23 静岡県総合防災訓練(本部演習訓練)にDMAT隊員6名が参加した		令和3.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)にDMAT隊員4名が参加した		令和3.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)にDMAT隊員10人が参加した		令和3.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施		令和3.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和3.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加	2年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加		令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施		令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加	3年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加		令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施		令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加	4年度(9月末)	令和4.7.13 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和4.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和4.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加		令和4.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施		令和4.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加		令和4.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加	3年度	令和3.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)	4年度(9月末)	令和3.7〜 熱海市伊豆山土砂災害救護へのDMAT派遣(県対策本部・熱海線支隊) (DMAT隊員10名)		令和4.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)	区画	消防訓練	防災訓練	消防訓練	防災訓練	消防訓練	防災訓練	訓練	8	8	8	1	4	4	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により過去2年実施されていなかった訓練が実施されるようになり、各訓練にDMAT隊員が参加している。今年度、本県を対象県として行われた大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)では、企画に係るコアメンバー会議にDMAT隊員6名が参加し、訓練企画及び事前準備を行った。訓練当日には26名のDMAT隊員が参加した。また、県からの要請に伴い、新型コロナウイルス宿泊療養施設へのDMAT隊員派遣を継続的に実施している。													
元年度	令和3.3.23 静岡県総合防災訓練(本部演習訓練)にDMAT隊員6名が参加した																																																																																						
	令和3.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)にDMAT隊員4名が参加した																																																																																						
	令和3.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)にDMAT隊員10人が参加した																																																																																						
	令和3.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施																																																																																						
	令和3.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和3.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
2年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																						
	令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施																																																																																						
	令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
3年度	令和2.7.11 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																						
	令和2.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施																																																																																						
	令和2.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和2.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
4年度(9月末)	令和4.7.13 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和4.8.26 消防防炎訓練(本部演習訓練)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和4.9.7 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																						
	令和4.11.25 院内防災訓練(初期消火・避難訓練)演習(災害対策本部設置)を実施																																																																																						
	令和4.12.18 静岡県防災訓練(県庁)におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
	令和4.12.17 県健康福祉部防災訓練におけるE.M.I.S.情報伝達訓練参加																																																																																						
3年度	令和3.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)																																																																																						
4年度(9月末)	令和3.7〜 熱海市伊豆山土砂災害救護へのDMAT派遣(県対策本部・熱海線支隊) (DMAT隊員10名)																																																																																						
	令和4.4〜 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)																																																																																						
区画	消防訓練	防災訓練	消防訓練	防災訓練	消防訓練	防災訓練																																																																																	
訓練	8	8	8	1	4	4																																																																																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価
						説明					
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項	第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置	第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療の質の向上を目指して、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かし、一層効果的・効率的な業務運営に努め、生産性の向上を図ること。	業務運営に関しては、医療の質の向上のため、適切な職員配置や組織づくりに努めるとともに、業務改善への職員の意欲を高め、効率的な業務運営の実現を図る。	業務運営に関しては、医療の質の向上のため、適切な職員配置や組織づくりに努めるとともに、業務改善への職員の意欲を高め、効率的な業務運営の実現を図る。	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 効率的な業務運営体制の強化	1 効率的な業務運営体制の強化	1 効率的な業務運営体制の強化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療を取り巻く環境の変化とそのスピードに迅速かつ的確に対応するため、医療資源の有効活用や業務の見直し、職員参加型の業務改善等を推進し、業務運営体制の強化を図ること。特に、未稼働病床については、その活用方法について検討すること。	医療環境の変化や県民の医療需要に的確に応じられるよう簡素で効果的、効率的な組織づくりを進め、適時適切な意思決定ができる組織運営に努める。 県立病院が有する人的、物的等医療資源を有効に活用するため、常に効率的な業務運営に取り組む。経営情報を共有し職員の経営意識の醸成を図る。 県立病院の病床については、未稼働病床を含め、社会経済情勢や地域医療の状況を踏まえ、最適な方法での配置や活用を図る。 業務の改善改革への取組を奨励し、その活動を積極的に評価し、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営を進めるなど、職員の意欲が高い活気に溢れた病院づくりに取り組む。	①意思決定の迅速化・情報の共有化等、機動的な法人運営 ②医療ニーズや業務量の適切な把握と組織体制等への反映 ③効率的な施設運用を行うため、県立総合病院のリニューアル工事等の計画的施工 ④県立総合病院の施設機能が継続的、最適に活用できるよう、修繕計画の策定・実施 ⑤県立こども病院のマスタープランや小児医療をめぐる環境の変化等を踏まえ、今後のあり方などについて検討 ⑥公平・公正な人事評価制度の実施 ⑦効果的な職員採用 ⑧柔軟な採用試験の実施等、業務の質と量に応じた人材の適時採用 ⑨看護師確保のため、看護師修学資金の活用推進や広報活動など多様な確保対策の実施 ⑩経営情報を把握及び適時適切な措置を講じられる体制整備 ⑪経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上 ⑫業務の改善の取組等を通じた職員の意識向上及び病院運営の活性化	104	①②組織の効率化、各種権限の病院長への委任により事務のスピード化を図る。 ③④理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を毎月開催(8月を除く)し、法人の運営情報の共有化を図るとともに、予算の補正等の緊急な課題に対する即時的対応を行う。 ⑤リニューアル工事により、病院機能の強化を図るとともに、基幹災害拠点病院としてふさわしい耐震性能を確保する。 ⑥建物劣化診断結果に基づき、改修計画を策定するための準備を行う。 ⑦病棟再編検討会(WG)を実施し、具体的な計画を立てる。 ⑧全職員を対象とした人事評価制度を円滑に実施する。	本部・各病院(総務・企画・経営)	理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を8月を除く原則毎月開催し、意思決定の迅速化に努めた。 人事評価制度については、全職員(有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)を対象に令和2年度から給与(勤労手当)への活用を開始しており、令和3年度の評価から昇給へ活用が開始されている。 リニューアル工事、大規模修繕工事の実施計画及び進捗状況(総合病院) 年度別実績 元年度 年度末における第1期リニューアル工事進捗率 91.8% 令和2年度 第2期リニューアル工事の入札実施、業者決定 令和3年度 第1期リニューアル工事完了、8月より第2期リニューアル工事着工 2年度 年度末における第2期リニューアル工事進捗率 38.7% 3年度 令和3年11月 内視鏡室改修完了 令和4年2月 劣化改修工事設計完了 令和4年2月 第2期リニューアル工事完了 4年度 令和4年7月 精神科病棟改修工事着工 令和4年8月 劣化改修工事設計完了 令和5年2月 精神科病棟改修工事完成予定 実施計画 5年度 劣化改修工事設計完了予定 病棟再編検討会(WG)開催数(こども病院) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 開催件数 - - - - 11 4 アソシエイト採用実績(各年度4月1日現在)(単位:人) 区分 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 看護師 3 - 1 2 事務 10 3 2 2 コフ/技 3 1 4 7 計 16 4 7 11 正規職員数の状況(各年度4月1日現在)(単位:人) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 本部 27 34 35 34 36 38 総合 1,224 1,242 1,271 1,317 1,331 1,359 エネエ 166 170 175 175 174 176 こども 650 642 636 648 660 650 合計 2,067 2,088 2,112 2,174 2,201 2,223 看護師修学資金の状況(単位:人) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 決定 114 55 50 36 40 39 継続 163 182 147 128 104 89 取消 ▲3 ▲8 ▲7 ▲4 ▲5 ▲2 貸与計 268 229 190 160 139 106 採用 63 62 53 46 44 42 看護学生向け就職説明会(単位:人) 区分 来場者数 訪問者数 受験者数 ナース専科(静岡) 1月開催予定 ナースナビ(浜松) 2月開催予定 マイナビ(静岡) 2月開催予定 沼津) 3月開催予定 業者計 0 静岡県立大学 PR動画の提供 常業大学 未定 馬場クリストファー大学 未定 順天堂大学 未定 静岡県立看護専門学校 12月開催予定 静岡県立看護専門学校 12月開催予定 養成校計 0 計 0 看護師募集における広報等の実施状況(4年度9月末) ・人材広告業者の求人情報ウェブサイト、雑誌への求人情報掲載 ・静岡県求人情報掲載(看護の日) ・県民だより求人情報掲載 ・県内コンビニ、ショッピングモールへの看護師募集ポスター掲示 柔軟な採用試験の実施状況(単位:件) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 件数 71 61 71 91 6 3 ホームページアクセス数 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度9月末 アクセス数 年間 69,291 88,655 104,100 107,956 96,782 57,889 ※平成27年に現システムを使用開始	令和4年度については、理事会、運営会議、総務・経営担当課長会議を原則毎月開催し、機構内での情報の共有化、緊急案件についての対応が問題なく行われた。 医師確保を図るため、令和3年4月に職務に応じた適切な給与制度を構築(級別標準職務表の見直し)した。これにより、医師の確保だけでなく、「職務の級」が役職による職責に応じて適用されることで、能力や意欲の高い職員が上位の職位に登用されることとなり、職員の能力や意欲の向上につながる事ができた。また、平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、全職員(有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)を対象に令和2年度から給与(勤労手当)に活用、令和3年度の評価から昇給に活用を開始する。(令和3年度前期、後期の評価を令和5年1月1日昇給に活用) 総合病院では、令和4年4月から「管理一体型ESCO事業」を導入している。導入に際し、本館及び北館の老朽化した熱源機器等をエネルギー効率の高い省エネ機器に更新したほか、各階中央廊下等24時間点灯箇所を中心に、LED照明器具に交換するなどの省エネ改修を行った。なお、事業費(工事費等)は、環境省補助金が活用されている。 また、施設管理は、病院で直接やらなければならない業務や病院が直接実施した方が安価な業務等を除いた31業務を当該事業者が包括的に一括運用管理する。 本事業の導入により、エネルギー使用量及び施設管理費用が削減され、経営改善に寄与している。	・医療を取り巻く環境の変化とそのスピードに迅速かつ的確に対応できるよう、毎月定期的に開催する理事会や運営会議、総務・経営担当課長会議等を通じて、各病院の月次の経営状況、各種規程の新設・改廃、予算・決算状況等について、意思決定と情報共有が図られ、効率的な組織運営が行われている。 ・公平公正な人事評価制度を導入し、職員の意欲や創意工夫が評価に反映される仕組みづくりに取り組んでおり、今後の更なる職員の意欲向上につながる事が期待される。 ・総合病院においては、令和4年度4月から、管理一体型ESCO事業を導入している。ESCO事業は、省エネを目的とした設備改修工事だけでなく、工事完了後も、想定される省エネによる費用削減効果をESCO事業者が一定程度保証するパフォーマンス契約を特徴とする。これに加えて、ESCO事業者が既存設備の管理等も包括的に運用していく「管理一体型ESCO事業」を採用することで、光熱水費だけでなく、施設管理費も削減することが可能となる。 ・一般に、エネルギー価格が上昇するほどESCO導入の効果が大きくなると考えられ、今後の経営への寄与が期待される。	29	☆	
			105	⑩月次決算の集計等により、病院の経営状況の早期把握を図る。	本部(経営)	理事会等における月次決算の報告回数(単位:回) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 実績 実績 実績 実績 実績 実績(9月末) 回数 6 6 6 10 10 5	令和4年度については、効果的な職員採用に繋げるため、看護師や事務職員に続き、コメディカルでもアソシエイト職員を採用し、優秀な人材確保を進めた。 また、看護師確保のため、就職説明会への参加や各種広報、修学資金貸与制度の拡充、養成校訪問に加えて、Web説明会など様々な確保対策を進めた。 こうした取組みの結果、採用数の増加に繋げることができた。今後も職員確保に向けた取組みを継続していく。	・看護師修学資金は、機構への就職を希望する看護学生の資質の向上に資することを目的に月5万円を貸与する制度であり、就職期間に相当する額の返還が免除される。 ・令和4年度も、安定した制度運用を継続しており、将来、地域医療を支える高い意欲を持つ看護師の継続的な確保に寄与している。 ・企業主催の看護学生向けの就職説明会参加や養成校訪問等を実施するなど、看護師確保に取り組んでおり、令和4年度も下半期に実施予定である。 ・ホームページ、広報誌、ラジオ、ポスター掲示等、各種広報媒体を通じた採用試験情報の周知にも積極的に取り組んでいる。	19	○	
			106	⑩⑪毎月の理事会や病院幹部会議において、経営状況を報告・分析するとともに、それらの経営状況の職員への周知を図る。 ⑩機構の直近の経営状況を職員(特に病院の幹部職員、県からの新しい派遣職員や新規採用職員)に認識させるため、会議や研修、広報誌等を通じて周知徹底する。	各病院(企画・経営)	理事会や運営会議において、毎月の月次決算により経営状況を分析し、報告を行っている。また、3病院合同幹部会議において各病院の幹部職員に定期的に報告し、周知を図っている。職員研修などにおいて、病院経営や効率的な業務運営に関する取組等の科目を設け、意識の醸成を図った。 院内コミュニケーションシステムや職員報(トライアングル等)を通じて、理事会資料等の経営情報を全職員に向け提供し、意識醸成を図っている。 上記取組みを継続して行い、経営情報の把握や適時適切な措置を講じられる体制整備を図っている。	令和4年度は、理事会開催の度に月次決算の報告を実施し、病院の経営状況の早期把握及び機構内の情報共有を円滑に行うことができた。	・月次決算報告により経営状況の早期把握が可能な体制を確保している。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による経営悪化や診療報酬改定等、外的要因が病院経営に及ぼす影響を迅速・的確に把握し、分析結果を業務運営に反映することが重要である。			
			107			月次決算等により、経営状況の報告・分析を著実に進めている。また、会議や職員報を通じた経営分析結果の職員への周知、理事長、副理事長自らによる研修等により、職員の経営に対する意識啓発を図っている。令和4年度は、コロナ禍による診療収益の減と、補助金の見込額を随時把握し、月次決算報告に反映させている。	・地方独立行政法人として機動的な柔軟な経営の実現に向けて、理事会・運営会議では毎月の月次決算報告として令和元～3年度実績との比較等を示して経営状況をチェックしているとともに、各職員の経営意識醸成のため、幹部職員を通じて各職員に対して経営情報を共有することで、各職員の経営意識の向上を図っている。				

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																									
			108	②院内コミュニケーションシステムを活用するなどして、職員が経営・業務改善を常時提案できる体制を整備する。	業務改善について、院内コミュニケーションシステム等を利用して、誰もが経営・業務改善を常時提案できる体制の整備に努めた。また、他職員の改善提案を確認できるよう仕組みを整備している。 業務改善運動推進制度実績件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>4目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>80</td> <td>72</td> <td>113</td> <td>27</td> <td>164</td> <td>実施中</td> <td>80件以上</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>29</td> <td>24</td> <td>32</td> <td>4</td> <td>53</td> <td></td> <td>36件以上</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>50</td> <td>34</td> <td>50</td> <td>29</td> <td>38</td> <td></td> <td>71件以上</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>19</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>21</td> <td></td> <td>19件以上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>178</td> <td>140</td> <td>203</td> <td>68</td> <td>276</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4目標	総合	80	72	113	27	164	実施中	80件以上	こころ	29	24	32	4	53		36件以上	こども	50	34	50	29	38		71件以上	本部	19	10	8	8	21		19件以上	計	178	140	203	68	276		—	令和4年度については、各病院・所属で取り組みを実施しており、優れた取組については、ホームページやマスコミを活用し、他の医療機関に広く周知を図る予定である。	・業務改善運動推進制度は、各職員が業務改善に積極的に参加できるよう、平成28年度から院内コミュニケーションシステム内のデータベースで情報共有する仕組みとして、運用している。 ・毎年、優良提案を院内・機構内で審査・表彰し、職員の業務改善に向けたモチベーションの維持・向上を図るとともに、表彰事例を県職員の庁内改善運動である「ひとり改革運動」の年間表彰に推薦している。 ・優良事例の横展開が図られるとともに、設立団体である県職員にも病院機構の取組が周知・理解される機会となっている。 ・令和4年度は現在実施中であるため、今回は未評価とする。																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	4目標																																																																																												
総合	80	72	113	27	164	実施中	80件以上																																																																																												
こころ	29	24	32	4	53		36件以上																																																																																												
こども	50	34	50	29	38		71件以上																																																																																												
本部	19	10	8	8	21		19件以上																																																																																												
計	178	140	203	68	276		—																																																																																												
2 事務部門の専門性の向上	2 事務部門の専門性の向上	2 事務部門の専門性の向上	109	①階層や職務に応じた効果的な研修の実施、学会発表等への事務職員の参加など ②異動方針の弾力的運用及び各部署におけるOJT (on-the-job training) をはじめとする人材の育成・研修の推進 ③診療情報管理機能の強化	事務職員に対する研修状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>受講時期</th> <th>研修名</th> <th colspan="2">開催状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新採用年度</td> <td>新規採用職員研修</td> <td>6月</td> <td>2日間</td> </tr> <tr> <td>係長級昇任時</td> <td>新規役付職員研修</td> <td>6月</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新任監督者研修</td> <td>5月</td> <td>1日間</td> </tr> <tr> <td>管理者</td> <td>労務管理者研修</td> <td>5月</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コーチング研修</td> <td>9月</td> <td>1日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コミュニケーション研修</td> <td>9月</td> <td>1日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファンクショナル研修</td> <td>9月</td> <td>1日間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メンタルサポート研修</td> <td>12月</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td>希望により任意参加</td> <td>事務職員基礎研修</td> <td>4月</td> <td>0.5時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内部統制講座 (会計実務編)</td> <td>4月</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内部統制講座 (税制・財政実務編)</td> <td>9月</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医療報酬制度・診療報酬基礎講座</td> <td>9月</td> <td>2.5時間</td> </tr> </tbody> </table>	受講時期	研修名	開催状況		新採用年度	新規採用職員研修	6月	2日間	係長級昇任時	新規役付職員研修	6月	3時間		新任監督者研修	5月	1日間	管理者	労務管理者研修	5月	2時間		コーチング研修	9月	1日間		コミュニケーション研修	9月	1日間		ファンクショナル研修	9月	1日間		メンタルサポート研修	12月	4時間	希望により任意参加	事務職員基礎研修	4月	0.5時間		内部統制講座 (会計実務編)	4月	2時間		内部統制講座 (税制・財政実務編)	9月	3時間		医療報酬制度・診療報酬基礎講座	9月	2.5時間	A 階層別、業務に必要なスキルを身につける専門研修を実施している。	・事務職員の定期的な必修研修以外にも、直接的な実務能力の向上に向けて、会計や簿記、財務諸表等に関する研修等を実施するなど、事務部門の専門性の向上に努めている。 ・病院特有の事務に精通した職員の確保・養成に向けて、通信教育の団体割引や診療情報管理士資格取得に向けた助成制度を設けるなど、自己啓発支援を行っている。																																								
受講時期	研修名	開催状況																																																																																																	
新採用年度	新規採用職員研修	6月	2日間																																																																																																
係長級昇任時	新規役付職員研修	6月	3時間																																																																																																
	新任監督者研修	5月	1日間																																																																																																
管理者	労務管理者研修	5月	2時間																																																																																																
	コーチング研修	9月	1日間																																																																																																
	コミュニケーション研修	9月	1日間																																																																																																
	ファンクショナル研修	9月	1日間																																																																																																
	メンタルサポート研修	12月	4時間																																																																																																
希望により任意参加	事務職員基礎研修	4月	0.5時間																																																																																																
	内部統制講座 (会計実務編)	4月	2時間																																																																																																
	内部統制講座 (税制・財政実務編)	9月	3時間																																																																																																
	医療報酬制度・診療報酬基礎講座	9月	2.5時間																																																																																																
			110	③診療情報管理業務に専門的に携わることができる知識・技能を有する職員を育成する。	診療情報管理士資格取得状況 (単位: 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">3年度</th> <th colspan="2">4年度</th> </tr> <tr> <th>資格取得者</th> <th>専門課程修了者</th> <th>資格取得者</th> <th>専門課程修了者</th> <th>資格取得者</th> <th>専門課程修了者</th> <th>資格取得者</th> <th>専門課程修了者</th> <th>資格取得者</th> <th>専門課程修了者</th> <th>資格取得者</th> <th>専門課程修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 専門課程修了者: 資格試験受験資格を有する者</p>	区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	総合	6	10	7	10	7	9	9	9	9	9	9	9	こころ	1	2	1	3	2	2	2	2	1	1	1	1	こども	3	4	3	4	3	3	5	5	5	5	5	5	本部	2	1	2	0	1	0	1	1	2	2	2	2	計	12	17	13	17	13	14	17	17	17	17	17	17	A 令和4年度については、診療情報管理機能の強化をするため、引き続き診療情報管理士資格の取得支援制度を活用するなど、必要な資格者を育成するとともに、適切な人員配置を行った。	・病院特有の事務に精通した職員の確保・養成に向けて、診療報酬の適正算定に寄与する診療情報管理士資格取得者の育成と効果的な配置に努めている。		
区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度																																																																																								
	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者																																																																																							
総合	6	10	7	10	7	9	9	9	9	9	9	9																																																																																							
こころ	1	2	1	3	2	2	2	2	1	1	1	1																																																																																							
こども	3	4	3	4	3	3	5	5	5	5	5	5																																																																																							
本部	2	1	2	0	1	0	1	1	2	2	2	2																																																																																							
計	12	17	13	17	13	14	17	17	17	17	17	17																																																																																							
3 収益の確保と費用の節減	3 収益の確保と費用の節減	3 収益の確保と費用の節減	111	①平均在院日数の短縮に向けた取り組み ②医薬品、診療材料の適正かつ計画的な購入 ③診療報酬など収入の適正な確保 ④業務の質を担保しつつ、多様な契約手法の活用や事務の効率化などによるコスト削減 ⑤未収金対策の実施	DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合 (単位: %) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>61.2</td> <td>62.0</td> <td>64.1</td> <td>66.3</td> <td>65.8</td> <td>62.9</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>59.9</td> <td>67.0</td> <td>67.8</td> <td>67.6</td> <td>68.1</td> <td>74.2</td> </tr> </tbody> </table> 長期入院患者率 (単位: %) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>40.7</td> <td>38.9</td> <td>37.5</td> <td>43.1</td> <td>44.0</td> <td>48.2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	総合	61.2	62.0	64.1	66.3	65.8	62.9	こども	59.9	67.0	67.8	67.6	68.1	74.2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	こころ	40.7	38.9	37.5	43.1	44.0	48.2	A (総合) DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合を高めるため、定例局会で月次報告を行い、入院期間Ⅱ以内の退院について協力を求めるとともに、クリニカルパス見直し等の取組を行っている。 (こころ) 令和4年度も、前年度に引き続き退院後の受入れが停滞していることもあり、長期入院患者率が増加している。 (こども) DPC部会を開催し、状況確認や課題の解決について取り組んでいる。	・DPC入院期間ⅡはDPC病院の平均在院日数を表しており、この日数内の退院割合は、診療の効率性の観点における指標となるが、DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合は、令和4年度上半期においては、令和3年度に比べ、総合病院は減少し、こども病院では増加している。 ・こころの医療センターの長期入院患者率は、新型コロナウイルス感染症の影響により地域移行が停滞していることから、令和3年度より増加している。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みつつ、引き続き、地域と連携した退院支援に取り組むことを期待する。																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度																																																																																													
総合	61.2	62.0	64.1	66.3	65.8	62.9																																																																																													
こども	59.9	67.0	67.8	67.6	68.1	74.2																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度																																																																																													
こころ	40.7	38.9	37.5	43.1	44.0	48.2																																																																																													
			112	②診療材料、薬品の廃棄状況を要因別・部門別に明らかにし、破棄・破損について、削減のための対策を講じる。	破棄・破損額(4年度9月末) (単位: 千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>診療材料費</th> <th>薬品費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>2,995</td> <td>1,854</td> <td>4,849</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>49</td> <td>98</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>2,308</td> <td>2,275</td> <td>4,583</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,352</td> <td>4,227</td> <td>9,579</td> </tr> </tbody> </table>	区分	診療材料費	薬品費	合計	総合	2,995	1,854	4,849	こころ	49	98	147	こども	2,308	2,275	4,583	合計	5,352	4,227	9,579	A (総合) 破棄・破損については、部署、原因、金額等の記録を徹底し、特に高額なものはインシデントレポートの提出を義務化している。また、委員会において事象報告を行い、対応策を議論することにより、破棄・破損の削減に努めている。予定変更や手技によるものは致し方ないが、落下や誤開封について削減に努めている。 (こころ) 破棄・破損額の発生を抑えるため、3病院間での薬品の譲受譲渡を令和4年度は98品目について実施し、不在庫の軽減に繋がった。 診療材料については、病棟の消毒薬在庫の適正化を図り、出入庫の少ないものは、極力在庫を置かず、必要時その都度発注することとして、期限切れによる廃棄の削減に努めている。 (こども) 各部署と金額等の情報共有を徹底するとともに、委員会等で破棄・破損額の情報共有、適切な在庫管理の周知を行い、破棄・破損の削減に努めている。 希少疾病用医薬品の一部を使用した結果、使用用途が限られることから他では使用できず期限切れとなった品があり、令和4年9月末時点では前年同時期の額を上回った。	・経費削減の観点のみならず、使用期限切れ材料・薬品による医療事故の予防等、医療安全上の要請からも、在庫管理の徹底が求められるが、診療材料、薬品の破棄・破損を抑制し経費削減を図るため、記録の徹底、院内の薬剤部における委員会での情報共有等を徹底し、有効な在庫管理に努めている。																																																																								
区分	診療材料費	薬品費	合計																																																																																																
総合	2,995	1,854	4,849																																																																																																
こころ	49	98	147																																																																																																
こども	2,308	2,275	4,583																																																																																																
合計	5,352	4,227	9,579																																																																																																

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価	R4暫定県評価	重点	数値	評価																																																																																																								
			113	③積極的に施設基準を取得する。 ・診療報酬の適正請求にかかる研修会等を実施する。	(総合) これまでの病院同士の連携に加えて、保健所や医師会との連携関係を構築することで、感染対策向上加算の最上位基準を維持することができた。 重症患者の初期の治療決定時に介入するメディエーターを配置することで、重症患者初期支援充実加算の届出を行うことができた。 病理検査や画像診断の結果について、主治医が見落とす事が無いようにサポート管理する体制をこれまで維持してきたところであるが、保険点数が認められたため、届出を行った。次年度以降、技師の研修が必須化される可能性があるため、今年度から計画的に研修に参加するようしている。 夜間の看護補助者を派遣契約することで、新規に急性期看護補助体制加算における夜間100対1加算の届出を行った。 (こども) 診療報酬の改定に伴い、新設・要件等変更された項目に対して院内調整等迅速に実施し、感染対策向上加算1(指導強化加算含む)、小児特定集中治療室管理料(早期離床・リハビリテーション加算)、小児入院医療管理料1(無菌治療管理加算1)総合周産期特定集中治療室管理料「母体・胎児集中治療室管理料」(成育連携支援加算)、地域医療体制確保加算、移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法、外来腫瘍化学療法診療料1(外来化学療法加算から悪性腫瘍に対する化学療法が別評価)、アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料、膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)を新規に届出し、医師事務作業補助体制加算の要件が変更されたことにより2から1へランクアップさせた。 また、人員要件、診療実績要件、他施設との連携構築などにより、がん患者指導管理料ハ、入院支援加算1(入院時支援加算含む)、精神科退院時共同指導料2の新規届出を行った。 各種職種等との連携を図り、適正な収入確保を念頭に施設基準取得に努めた。	説明 総合病院の感染対策向上加算をはじめ、各病院において、施設基準の新規及びランクアップの届出を積極的に行い、診療単価の向上に寄与している。 こども病院では、診療報酬の改定に伴い、新設・要件等変更された項目に対して院内調整等迅速に実施し、感染対策向上加算1(指導強化加算含む)等を新規に届出し、医師事務作業補助体制加算の要件が変更されたことにより2から1へランクアップさせた。 また、研修会等を通じて、病院全体として適正請求に関する意識を高めるよう努めている。	・新たに導入した医療技術にかかる施設基準の届出など、医療の提供体制や内容に応じた診療報酬を適正に請求するため、研修を通じた職員養成など体制づくりに取り組んでいる。 ・派遣会社を活用した夜間看護補助者の配置など、新たな施設基準の取得等に積極的に取り組んでいる。 ・今後も、診療報酬制度の改定に際して、早期の情報収集に基づく迅速な院内体制の確保と、診療報酬事務職員の養成、医療現場への周知徹底が期待される。	30																																																																																																										
			114	④SPD導入により、薬品・診療材料の期限切れ、病棟の在庫額減少に努める。	薬品、診療材料期限切れ廃棄額 (単位:千円) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>薬品</td><td>2,832</td><td>2,931</td><td>2,279</td><td>2,553</td><td>2,638</td><td>895</td></tr> <tr><td>診療材料</td><td>675</td><td>969</td><td>973</td><td>627</td><td>1,631</td><td>515</td></tr> </table> 薬品・診療材料在庫額 (単位:千円) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度9月末</th></tr> <tr><td>薬品</td><td>102,777</td><td>92,244</td><td>136,694</td><td>153,688</td><td>160,916</td><td>167,604</td></tr> <tr><td>診療材料</td><td>216,079</td><td>224,292</td><td>221,511</td><td>227,708</td><td>239,545</td><td>244,661</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	薬品	2,832	2,931	2,279	2,553	2,638	895	診療材料	675	969	973	627	1,631	515	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末	薬品	102,777	92,244	136,694	153,688	160,916	167,604	診療材料	216,079	224,292	221,511	227,708	239,545	244,661	説明 薬品及び診療材料については、使用期限を確認し、期限切れ迫品の表示や使用頻度の高い部署へ移管を行うことにより、多くのロスを防ぐなどSPD業務の改善を図っている。しかしながら、稀な症例に使用する物品(ただし緊急時になければ困るもの)が期限切れになっており、今後も管理方法について検討を行っている。 薬品は、SPDによる在庫管理に加え、3病院間における移管や担当職員の関与により、期限切れ廃棄額の削減と在庫額減少に努めている。 診療材料は、手術室において期限切れ品カートを設置し、使用を促している。医療の高度化により高価材料が増加したが、ピッキングリストの見直し提案を行う等、在庫の削減に努めている。 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクや手袋等、供給体制が不安定な物品について、在庫を増やすなど診療に支障がないよう取り組んでいる。	・SPD(Supply Processing Distribution)は、薬品・診療材料等の発注、調達、物流、棚卸等を一元管理する仕組みであり、在庫の適正種類・量の確保、期限切れ廃棄の削減等に寄与している。 ・薬品在庫額については、高度な手術や高額薬剤を使用する化学療法の件数増加等の要因により増加しているが、期限切れ品の可視化による周知、使用状況に応じた他部署への移管、不動在庫のリスタ化など、期限切れの抑止に努めている。	30																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																												
薬品	2,832	2,931	2,279	2,553	2,638	895																																																																																																												
診療材料	675	969	973	627	1,631	515																																																																																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度9月末																																																																																																												
薬品	102,777	92,244	136,694	153,688	160,916	167,604																																																																																																												
診療材料	216,079	224,292	221,511	227,708	239,545	244,661																																																																																																												
			115	④材料費等の節減のための対策を実施する。	診療材料コスト削減実績 (単位:千円) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th></tr> <tr><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td><td>実績</td></tr> <tr><td>総合</td><td>27,923</td><td>85,869</td><td>82,971</td><td>71,680</td><td>132,620</td><td>68,783</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>446</td><td>95</td><td>13</td><td>3</td><td>105</td><td>27</td></tr> <tr><td>こども</td><td>6,182</td><td>15,458</td><td>16,734</td><td>12,229</td><td>22,956</td><td>13,869</td></tr> <tr><td>合計</td><td>34,551</td><td>101,422</td><td>99,718</td><td>83,912</td><td>155,681</td><td>82,679</td></tr> </table> 各病院へ企画 4年度9月末 新規導入・廃止した診療材料・薬品 品目数の実績 (単位:件) <table border="1"> <tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="4">診療材料品目数</th><th colspan="4">薬品品目数</th></tr> <tr><th>4年度当初</th><th>新規採用数</th><th>廃止数</th><th>契約数</th><th>4年度当初</th><th>新規採用数</th><th>廃止数</th><th>契約数</th></tr> <tr><td></td><td>(a)</td><td>(b)</td><td>(c)</td><td>(a+b-c)</td><td>(a)</td><td>(b)</td><td>(c)</td><td>(a+b-c)</td></tr> <tr><td>総合</td><td>17,025</td><td>605</td><td>14</td><td>17,616</td><td>1,645</td><td>23</td><td>14</td><td>1,654</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>405</td><td>1</td><td>0</td><td>406</td><td>585</td><td>43</td><td>40</td><td>588</td></tr> <tr><td>こども</td><td>4,228</td><td>49</td><td>46</td><td>4,231</td><td>1,335</td><td>41</td><td>16</td><td>1,360</td></tr> <tr><td>合計</td><td>21,658</td><td>655</td><td>60</td><td>22,253</td><td>3,565</td><td>107</td><td>70</td><td>3,602</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	総合	27,923	85,869	82,971	71,680	132,620	68,783	こころ	446	95	13	3	105	27	こども	6,182	15,458	16,734	12,229	22,956	13,869	合計	34,551	101,422	99,718	83,912	155,681	82,679	区分	診療材料品目数				薬品品目数				4年度当初	新規採用数	廃止数	契約数	4年度当初	新規採用数	廃止数	契約数		(a)	(b)	(c)	(a+b-c)	(a)	(b)	(c)	(a+b-c)	総合	17,025	605	14	17,616	1,645	23	14	1,654	こころ	405	1	0	406	585	43	40	588	こども	4,228	49	46	4,231	1,335	41	16	1,360	合計	21,658	655	60	22,253	3,565	107	70	3,602	説明 診療材料は共同購入の取組を継続しており、一層の価格削減を進めているほか、令和4年度は燃料費の高騰を受け、電気料金が上昇していることから、3病院に空調・照明をはじめとした節電対策への呼びかけを行い、電気使用量について継続的に情報共有を図るなど、経費の削減に努めている。 (総合) 診療材料については年度当初の単価契約と比較し、価格交渉により約512万円削減を見込む。また共同購入の取組みによる還元額は、6,366万円還元を見込む。品目数の廃止数については、年度末に調査を行い廃止とする。 (こころ) 後発品の採用率は前年度と比較して上昇した。また、診療材料については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあって上昇していたメーカーの販売単価が下降傾向に入り、中には大きく価格が減少したものがあつた。さらに、入院患者の持参薬の臨時採用の見直しなどを進めたこともあり、コスト削減を図ることができた。 (こども) 後発医薬品への切り替えに当たっては、小児病院の特性から、先発品との同等性を十分に確認することが必要であるため、安全性・使用性・生物学的同等性の視点を重視し、他の小児専門病院の採用状況を参考にしながら代替候補品目を選定している。	・材料費の節減については、「トップダウン」としての診療材料採用の「増一、増減」方針の徹底、「ミドルマネジメント」としての診療材料委員会と中央材料室の機能向上、「ボトムアップ」としての全体的なベンチマークデータを活用した価格交渉など、一貫した節減努力の方向性のもとに取り組んでいる。 ・総合病院及びこども病院では、共同購入組織(一般社団法人日本ホスピタルアライアンス)に加盟して節減に努めており、特に総合病院では、令和4年度は約6,366万円の材料費節減を見込んでいる。 ・こころの医療センターにおいても、入院患者の持参薬への対応を見直し、臨時購入から3病院間の採用薬に切り替えるなど、在庫の削減に取り組んでいる。 ・診療報酬改定等の外的要因が病院経営に及ぼす影響を迅速・的確に把握し、分析結果を業務運営に反映することが重要である。	30		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度																																																																																																												
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績																																																																																																												
総合	27,923	85,869	82,971	71,680	132,620	68,783																																																																																																												
こころ	446	95	13	3	105	27																																																																																																												
こども	6,182	15,458	16,734	12,229	22,956	13,869																																																																																																												
合計	34,551	101,422	99,718	83,912	155,681	82,679																																																																																																												
区分	診療材料品目数				薬品品目数																																																																																																													
	4年度当初	新規採用数	廃止数	契約数	4年度当初	新規採用数	廃止数	契約数																																																																																																										
	(a)	(b)	(c)	(a+b-c)	(a)	(b)	(c)	(a+b-c)																																																																																																										
総合	17,025	605	14	17,616	1,645	23	14	1,654																																																																																																										
こころ	405	1	0	406	585	43	40	588																																																																																																										
こども	4,228	49	46	4,231	1,335	41	16	1,360																																																																																																										
合計	21,658	655	60	22,253	3,565	107	70	3,602																																																																																																										
			116	④効率的な医療機器購入及び管理のための対策を実施する。	各病院において、徹底した価格交渉や価格調査を行い、入札・見積合わせ等により競争性を確保することなどにより、効率的な購入及び管理に努めている。 価格交渉では事務と連携して医師等自らも業者と交渉するほか、スケールメリットを生かした複数台購入も行っている。 価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。 医療機器保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や不要になった保守機器の随時の見直しを行いコスト低減を図っている。	説明 総合病院において、令和4年9月に購入した国産初の手術支援ロボット(hinotori)は、メーカー・ディーラーを交えた複数回の交渉の結果、238,975千円(定価より▲30,738千円)で契約することができた。 3病院一括での契約については、保守の必要性が低下した機器につき、随時必要性の見直しを行い変更契約している。 引き続き各病院と連携し、コスト低減を図っていく。	・医療機器導入にあたっては、業者間・機種間の競争性を確保するとともに、ベンチマークの活用、保守契約の見直し等により、効率的な調達を図っている。	30																																																																																																										
			117	④複数年契約や集約化等による契約方法の見直しを継続的に実施する。	委託費の節減を図るため、契約更新時に引き続き一括化・複数年化を行うか検討している。 コスト削減による業務水準の低下を防ぐため、一部の委託については、定期的にモニタリング(委託業者の業務を評価)を行い、質の維持・向上を図っている。 4年度 委託契約等の見直し状況 (単年度ベース) (単位:千円) <table border="1"> <tr><th>業務名(連携)</th><th>連携</th><th>年数</th><th>期間</th><th>種類</th><th>令4決算額</th></tr> <tr><td>医療機器等保守点検業務委託</td><td>3病院</td><td>1年</td><td>令4.4~令5.3</td><td>定額</td><td>260,645</td></tr> <tr><td>放射線機器保守管理業務委託</td><td>3病院</td><td>1年</td><td>令4.4~令5.3</td><td>定額</td><td>200,824</td></tr> <tr><td>シーメンス社製医療機器保守業務委託</td><td>総・子</td><td>1年</td><td>令4.4~令5.3</td><td>定額</td><td>83,930</td></tr> <tr><td>建築基準法の定期報告業務委託</td><td>3病院</td><td>1年</td><td>令4.8~令5.3</td><td>定額</td><td>8,360</td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>553,759</td></tr> </table> 4年度 委託モニタリング評価結果 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>第1期</th><th>第2期</th><th>第3期</th></tr> <tr><td>給食</td><td>可</td><td>可</td><td>—</td></tr> <tr><td>清掃</td><td>可</td><td>-1%</td><td>—</td></tr> <tr><td>警備(心・子)</td><td>可</td><td>可</td><td>—</td></tr> <tr><td>医事(総・心)</td><td>可</td><td>可</td><td>—</td></tr> </table> ※業務に関するアンケートや業務提案の有無などにより業務内容を評価。 ※○%：業務実績が不良だったため、契約に基づき委託料を一部減額したものを示す。	業務名(連携)	連携	年数	期間	種類	令4決算額	医療機器等保守点検業務委託	3病院	1年	令4.4~令5.3	定額	260,645	放射線機器保守管理業務委託	3病院	1年	令4.4~令5.3	定額	200,824	シーメンス社製医療機器保守業務委託	総・子	1年	令4.4~令5.3	定額	83,930	建築基準法の定期報告業務委託	3病院	1年	令4.8~令5.3	定額	8,360	合計					553,759	区分	第1期	第2期	第3期	給食	可	可	—	清掃	可	-1%	—	警備(心・子)	可	可	—	医事(総・心)	可	可	—	説明 令和4年度は複数年契約の間に当たり、新たに複数病院契約や、複数年契約を結んだ委託事業はなかったが、複数病院で集約化した委託費等の契約は既に20件、うち複数年化を行ったものは、16件に上っており、一括化・複数年化による費用削減及び事務の簡素化につながっている。 医事や警備を始めとした一部の委託については、定期的にモニタリング(委託業者の業務を評価)を行い、質の維持・向上が図られている。	・委託業務については、複数年契約、複数病院一括契約等の工夫により、経費削減を図っている。 ・委託モニタリング制度は、成績不良の場合、契約解除や委託料の減額等の対応が取られる一方、努力すれば契約延長等のメリットが企業にあることから、緊張感を持った業務執行により、業務の質の向上が期待できる工夫である。	30																																																		
業務名(連携)	連携	年数	期間	種類	令4決算額																																																																																																													
医療機器等保守点検業務委託	3病院	1年	令4.4~令5.3	定額	260,645																																																																																																													
放射線機器保守管理業務委託	3病院	1年	令4.4~令5.3	定額	200,824																																																																																																													
シーメンス社製医療機器保守業務委託	総・子	1年	令4.4~令5.3	定額	83,930																																																																																																													
建築基準法の定期報告業務委託	3病院	1年	令4.8~令5.3	定額	8,360																																																																																																													
合計					553,759																																																																																																													
区分	第1期	第2期	第3期																																																																																																															
給食	可	可	—																																																																																																															
清掃	可	-1%	—																																																																																																															
警備(心・子)	可	可	—																																																																																																															
医事(総・心)	可	可	—																																																																																																															

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(令4)	令和4年度実績 自己評価		R4暫定県評価	重点	数値	評価																																								
						説明																																													
			118	⑤弁護士事務所への未収金回収業務委託を活用し、未収金の縮減、効率的な回収を実施する。 ⑥未収金に関する研修や、弁護士事務所への相談により、事務担当者のレベルアップを図る。	<p>平成24年度から弁護士法人へ委託先を変更。</p> <p>令和4年度 未収金回収実績(弁護士事務所委託分) 単位:百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規 委任金額</th> <th>回収額</th> <th>累計回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24～28年度</td> <td>186</td> <td>88</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>38</td> <td>17</td> <td>47.1%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>49.4%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>26</td> <td>20</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>30</td> <td>16</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>24</td> <td>12</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>51.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	新規 委任金額	回収額	累計回収率	24～28年度	186	88	47.5%	29年度	38	17	47.1%	30年度	23	16	49.4%	元年度	26	20	52.0%	2年度	30	16	52.0%	3年度	24	12	52.0%	4年度	16	6	51.4%	A	<p>累計回収率については、令和元年度以降50%を超えており、令和4年度も同水準で推移した。</p> <p>平成23年度以前に委託していたサービスの回収率が20.4%であったのに対して、高い回収率を維持している。</p>	<p>・平成24年度に未収金回収業務の委託先を債権回収会社から弁護士法人に変更して以降、回収率は高水準を維持している。</p> <p>・未収金が発生した場合の処理マニュアルから最終的な貸倒損失処理対応に至るまで、一貫して適切な手順が取れるよう体制が整備されている。</p>											
年度	新規 委任金額	回収額	累計回収率																																																
24～28年度	186	88	47.5%																																																
29年度	38	17	47.1%																																																
30年度	23	16	49.4%																																																
元年度	26	20	52.0%																																																
2年度	30	16	52.0%																																																
3年度	24	12	52.0%																																																
4年度	16	6	51.4%																																																
<p>第4 財務内容の改善に関する事項</p> <p>業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。</p> <p>業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握するとともに、社会保障制度の見直しや診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対しても適切な対応を図ること。これら取組を通じて、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図ること。</p>	<p>第4 予算、収支計画及び資金計画</p> <p>「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすることを旨とする。</p> <p>業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握し、社会保障制度の見直しや診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対しても適切な対応を図り、経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上に努める。これら取組を通じて、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図る。</p>	<p>第3 予算、収支計画、資金計画及び収支予算等</p> <p>—</p>	—	<p>・新規施設基準取得などによる増収への取組みと業務見直しによる支出削減への取組みを効率的に進めることにより、各年度での3病院黒字化を図る。</p>	<p>経常収支の状況 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5目標*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>100.4</td> <td>100.8</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>102.4</td> <td>100.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>113.3</td> <td>112.9</td> <td>103.1</td> <td>108.6</td> <td>106.8</td> <td>100.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>103.1</td> <td>103.4</td> <td>101.4</td> <td>102.3</td> <td>102.9</td> <td>104.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機構全体</td> <td>101.9</td> <td>102.2</td> <td>100.9</td> <td>101.5</td> <td>102.7</td> <td>101.6</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標：第3期目標期間を累計した損益計算において経常収支100%以上</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5目標*	総合	100.4	100.8	100.6	100.6	102.4	100.5	-	こころ	113.3	112.9	103.1	108.6	106.8	100.7	-	こども	103.1	103.4	101.4	102.3	102.9	104.9	-	機構全体	101.9	102.2	100.9	101.5	102.7	101.6	100.0	A	<p>令和4年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、医療面では充実した質の高い医療を提供し、経営面では機能的で効率的な病院経営を推進した。空床補償等の新型コロナ関連補助金が適切に交付されたこともあり、地方独立行政法人化後、14年連続で経常収支比率100%以上を達成する見込。</p>	<p>・中期目標においては、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすることを求めている。</p> <p>・令和3年度まで、平成21年度の法人移行後連続で経常収支比率100%以上を継続して達成した。</p> <p>・令和4年度上半期は、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向が見られ、上半期時点で外来患者数308,778人と、令和3年度上半期時点(3病院計302,389人)と比較して、約6,000人増加したことなどにより、医療収益が増加する一方、医療費用も増加している。また新型コロナウイルス感染症患者受入れのための病床確保に対する補助金など、各種補助金が交付されたこともあり、機構全体としては、経常収支比率101.6%、年間で約8.2億円の経常収支黒字が見込まれる。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続く見込まれるため、引き続き収益確保及び費用の削減、業務運営の改善・効率化を一層進める取組を注視していく。</p>	31	1	○
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5目標*																																												
総合	100.4	100.8	100.6	100.6	102.4	100.5	-																																												
こころ	113.3	112.9	103.1	108.6	106.8	100.7	-																																												
こども	103.1	103.4	101.4	102.3	102.9	104.9	-																																												
機構全体	101.9	102.2	100.9	101.5	102.7	101.6	100.0																																												